

てんこと大 ④子三人をよひて—こ三人をよひて大—こ三人をよひあつめて神 ⑤子なん—なん大神 御
 をとこそ—おとこそ大—御おとこそ神 ⑥この女—女の神 ⑦この—この人大 ⑧かう—なむ—かう—な
 と大 ⑨といひければ—といひけり大 あはれかりてきてねにけり—ナシ大 さてのち—さて大神 ⑩おとこ
 みえさりければ—おとこみへさりければ神 おとこの家—おとこのいゑ大神 いきて—ゆきて神 かいまみけ
 るを—かひはみけるを大—かひはみけるを神 ⑪おとこ—おとこは大 ⑫おもかけにみゆ—おもかけにみゆ大
 ⑬いてたつ—むまにくらなく大—むまにくらなせていてたつ神 ⑭家—いゑ大—いへ神 たてりてみれば—
 たてりてみて大神 ⑮女なけきて—なけき大 ⑯あはてのみねむ—あはてし(の)みねん大 ⑰おとこ—ナシ大
 神 あはれと思て—あはれとみて大神 ⑱おもはぬ物を—思はぬ物大—思はぬ物を神 ⑲おもふおもはぬを
 も—思をもはすをも大

差

①世こゝろつける—よこゝろある不群丹 心なさけあらむおとこに—このなさけある男を不群丹 あひえてし
 かな—かたらひてしかな不群丹 ②おもへと—おもへとも不群丹 いひいてむも—いひいてむにも不群丹 た
 よりなさに—たよりなければ不群丹 ③夢かたりをす—夢かたりを不群丹 子三人をよひて—むす三人をよ
 ひあつめて不群丹 ④さふらう—さふらふ群丹 御をとこそ—御おとこそ群丹 ⑤いとなさけなし—なさけな
 し不 ⑥あはせてし哉と思心あり—あはせてしかなとおもふこゝろありけり不群丹 ⑦ありきけるに—ありき
 けるみちに不群丹 いきあひてみちにて—ゆきあひにけり不群丹 かう—なむ—やう—なむ不群丹 ⑧き
 こ—ひとよ不群丹 ⑨おとこみえさりければ—をさ—こねは不群丹 おとこの家—をこの家不 かいまみ

けるを—かひまみけるを不 ⑩みて—まみて不群丹 ⑪おもかけにみゆ—おもかけにたつ不群丹 ⑫とて—と
 いひて不群丹 いてたつ—むまにくらなせていてたつ不—馬にくらおかせていてたつ群丹 むはらからたち
 にかゝりて—むはらからたちともしらすはしりまとひて不群丹 ⑬うちふせり—ふせり不群丹 おとこ—を
 こ不 かの—この不群丹 たてりてみれば—たてりてみければ不群丹 ⑭なけきて—うちなきて不群丹 ⑮あ
 はてのみねむ—あはてわかねむ不群丹 ⑯おとこ—ナシ不群丹 あはれと思て—あはれとみて不群丹 ⑰れい
 ーれひ不 おもふおもはぬおもはぬ物を—思ひ思はぬ人あるを不群丹 ⑱おもふおもはぬ
 をも—その不群丹

昔世營姫女何心情將在壯士爾會見而字哉與雖思五十將出言便無佐爾拏三人乎喚而眞
 言不成夢語乎爲二人拏無情報將停三郎有計流拏何好御壯士社將出來與合流爾此女氣
 色甚好異人者最無情如何歟此在五中將爾會而志哉與思心在而狩爲行計流路爾而馬之
 口乎取而是右何思與云計禮波恰賀利而往而寐爾計利然後壯士不來者壯士之家爾往而
 聞計流乎夫入風所道見而

百歲爾一歲不足築蛛神吾戀良志面影爾所見諾云而夫馬爾鞍置而出立氣色乎見而女
 棘枳棋爾懸而家爾來而打臥利此夫彼女之所作樣爾偲而立而見爾女打哭而眠左
 狹薙爾衣片敷小宵裳哉戀敷人爾不會鳴將寢諾讀計流乎夫天晴與思而其夜者眠爾計

利世中廻例與作而思浦姑思不念姑不念物乎此人者思面不思面其穴目不見心何在計流

眞

- ① 擊一奴子(擊朱)内一奴子桂九一子天
- ② 二人擊一二人奴子内桂九一子天
- ③ 擊一奴子(擊朱)内一奴子桂九一子天
- ④ 御壯士一壯士内桂九
- ⑤ 狩爲行計流一狩爲行返計流九
- ⑥ 路爾而一路爾往而内
- ⑦ 是右何一是在河天
- ⑧ 寐爾計利一寐計利桂
- ⑨ 吾戀良志一吾乎戀良志天
- ⑩ 不會鴨將寢一不會將寢天
- ⑪ 思浦姑思一思姑思天

昔おとこみそかにかたらふわさもせさりければいつくなりけ
 んあやしさによめる

吹風にわか身をなさは玉すたれひまもとめつゝいるへきも
 のを返し

とりとめぬ風にはありとも玉すたれたかゆるさはかひまも
 とむへき

天 ①おとこ一おとこ女重

武

- ① おとこ一おとこ女四岩宮尊高
- ② おとこ一おとこ女千七山明一陸奈片
- ③ ひまもとめつゝ一ひまもとめつゝ雅

流

- ① おとこ一おとこ女相一おとこ女爲承榮慈背一をとこ女も最
- ② かつらふ一カタラウ時
- ③ せさりければ一なかり

古

- ① おとこ一をとこ女最
- ② あやしさによめる一あやしさに最
- ③ いるへきものを一いらましものを最
- ④ 返し一返事最
- ⑤ カ

大

- ① おとこ一女おとこ大一おとこ女神
- ② せさりければ一せさければ大
- ③ いく一いつこ大神
- ④ いるへきものを
- ⑤ 一にるへきものを神
- ⑥ とりとめぬ一とりこめぬ大

差

- ① おとこ一男をむなを不群丹
- ② いく一いつこ不群丹
- ③ いるへきものを一いらましものお不一いらましものを群丹
- ④ 返し一かゑしをむな不一返し女群丹
- ⑤ ありとも一あれと不群丹
- ⑥ ひまもとむへき一ひまもとむへきとてやみにけり不群丹

昔男在計利女偷爾談行毛不爲計禮者幾所有計無恠爾讀
 吹風爾吾身乎成者玉簀垂日間求乍入倍魂乎女返

取不留風爾波雖有珠簾誰之不緩者歟日間可求

眞 ①恠爾一恠爾天

空

1 むかしおほやけおほしてつかうたまふ女の色ゆるされたるあ
 2 りけりおほみやすん所とていますかりけるいとこなりけり殿
 3 上にさふらひける在原なりけるおとこのまたいとわかゝりけ
 4 るをこの女あひしりたりけりおとこ女かたゆるされたりけれ
 5 は女のある所にきてむかひをりければ女いとかたはなり身も
 6 ほろひなんかくなせそといひければ
 7 思ふにはしのふることそまけにけるあふにしかへはさもあ
 8 らはあれといひてさうしにおりたまへればれいのこのみさう
 9 しには人のみるをもしらてのほりぬければこの女思ひわひて
 10 さとへゆくされはなにのよきことゝ思ていきかよひければみ
 11 な人きゝてわらひけりつとめてとのもつかさのみるにくつは
 12 とりておくになけいれてのほりぬかくかたはにしつゝありわ

13 たるに身もいたつらになりぬへければつるにほろひぬへしと
 14 てこのおとこいかにせんわかかゝる心やめたまへとほとけ神
 15 にも申けれといやまさりにのみおほえつゝ猶わりなくこひし
 16 うのみおほえければおむやうしかむなきよひてこひせしとい
 17 ふはらへのくしてなむいきけるはらへけるまゝにいとゝかな
 18 しきことかすまさりてありしよりけにこひしくのみおほえけ
 19 れは

20 こひせしとみたらし河にせしみそき神はうけすもなりにけ
 21 るかなといひてなんいにけるこのみかとはかほかたちよくお
 22 はしましてほとけの御名を御心にいれて御こゑはいとたうと
 23 くて申たまふをきゝて女はいたうなきけりかゝるきみにつか
 24 うまつらてすぐせつたなくかなしきことこのおとこにほたさ

れてとてなんなきけるかゝるほとにみかときこしめしつけて
25
このおとこをはなかしつかはしてければこの女のいとこのみ
26
やすところ女をはまかてさせてくらにこめてしおりたまふけ
27
れはくらにこもりてなく
28

あまのかるもにすむ、しの我からとねをこそなかめ世をは
29
うらみしとなきをれはこのおとこのくにより夜ことにきつ
30
ふえをいとおもしろくふきてこゑはおかしうてそあはれに
31
うたひけるか、れはこの女はくらにこもりなからそれにそあ
32
なるとはきけとあひみるへきにもあらてなんありける
33
さりとともと思覽こそかなしけれあるにもあらぬ身をしらす
34
してとおもひをりおとこは女しあはねはかくしありきつゝ人
35
のくにゝありきてかくうたふ
35

いたつらに行てはきぬる物ゆへにみまくほしさにいさなは
37
れつゝ水のおの御時なるへしおほみやすん所もそめとのゝ后
38
也五條の后とも
39

天

①つかうたまふ―つかふたまふ**紹色重** ②いまずかりける―いまそかりける**重** ③のほりぬかくかたはに―の
ほりぬかくかたはに**冷** ④しおりたまふければ―しほり給ふければ**紹** ⑤おとこは―おとは**冷**

武

⑥いまずかりける―いまそかりける**岩** ⑦いとこなりけり―いとこなりける**高** ⑧ある所にてむかひをりけれ
は女いとかたはなり―ある所にてむかひをりければ女いとかたはなり**宮** ⑨れいのこのみさうしには―れい
のこのみさうしに**高** ⑩かたはにしつゝ―かたはにして**四** ⑪いとゝかなしきこと―いとかなしきこと**四岩尊**

⑫いとゝかなしきこと**宮** ⑬いたう―いたふ**高** ⑭おとこをはなかし―おとこをなかし**四** この女の―この
女をば**尊** みやすところ―みやすむところ**高** ⑮しおり―しをり**尊高** ⑯このおとこ―このおとこは**四岩尊**

⑰おとこは―おとこ**四** ⑱おほみやすん所も―おほみやすん所も**尊**

流

①つかうたまふ―つかふ給**七隆片雅**―つかうたまふ飛―つかふたまふ山 ②おほみやすん所―おほむ宮すん所
奈 いまずかりける―いまそかりける**隆奈豊片** なりけり―なりける**七飛明奈片** ④たりけり―たりける**豊**

⑤ある所―ありところ**片** むかひをりければ―むかひおりければ**雅** ⑧おりたまへれば―をり給へれば**七豊**―
をり給へは**片** れいの―れいの**明奈** ⑩とのもつかさのみるに―とのもつかさみるに**七** ⑫かたはに―かたわ

に山 ⑭いかにせん—いかにせむ千 ⑮おほえつ—おほへつ、明 こひしうのみ—こひしくのみ千—戀しふのみ片 ⑯おむやうし—をむやうし千片 ⑰いきける—いきけり片 はらへける—ナシ七 いと、かなしきこと—いとかなしきこと千七飛山明一陸奈片雅 ⑱こひせしと—戀しせしと明 ⑲いたう—いたふ片 つかうまつらて—つかふまつらて山片雅 ⑳かなしきこと—かなしきこと奈 ㉑このおとこをはなかしつかはしてければ—この男をなかしつかはしてければ明 この女の—この女千 みやすところ—みやすん所豊 ㉒女—ナシ明 しおりたまふければ—しをりたまふければ千—しほりたまふければ一陸奈豊片雅 ㉓となきをれば—となきをれば片 このおとこ—この男は飛山明一奈片 ㉔ふえ—ふえ飛山奈 おかしうてそ—をかしうてそ七—いとおかしうてそ飛山—いとをかしうてそ明奈—いとをかしうてそ片 ㉕あなる—あむなる千 ㉖とおもひをり—とおもひおり千 女し—女にし千 ㉗かくうたふ—うたふ明 ㉘おほみやすん所も—おほみやす所も七飛 ㉙五條の后とも—五條のきさきとも申す—

古

①おほやけおほして—おほやけのおほして宵—ヲホヤケヲホシテ時 つかうたまふ—つかふ給爲宵時—つかうたまう最 ありけり—ありける慈 ②おほみやすん所—大みやす所最—ヲホミヤヌムトコロ時 いますかりける—いまそかりける榮宵最 なりけり—なりける榮慈宵 ③さふらひける—ありける相最—あり(さふらい)ける爲 おとこ—をとこ相 またいと—またいか承—またいと榮 わかゝりける—わかふかりける慈 ④たりけり—たりける慈 おとこ—をとこ相最 女かた—女のかた最 ⑤むかひをりければ—むかひをりければ最 かたはなり—ナシ最 ⑥かくなせそ—カクナセ(キ失)ソト時 ⑦あふにしかへは—あひにし人は宵—アツシカエハ時 ⑧おとりたまへれば—をり給へれば爲宵最—おとりたまわれは慈—ヲリ給エトハ時 ⑨このみさうしには—れいのこのみさうしには爲—この御さうしには最 ⑩のほりぬければ—のほりぬてければ慈—のほりぬければ最 思ひわひて—おもひわひ宵 ⑪さとへ—サトエ時 ゆく—ゆきけり最 なにのよきこと—中(なに)のよきことよと最 ⑫きゝてわらひけり—わらひけり最 とのもつかさのみるに—とのもつかさのみるに爲—とのもつかさみるに最 ⑬おとこ—をとこ相爲 いかにせん—いかにせんと最 わかかゝる心—わかかゝる心ぬへければ—成ぬへ最 ⑭おとこ—をとこ相爲 いかにせん—いかにせんと最 わかかゝる心—わかかゝる心承—わかかゝるころ慈 ほとけ神にも—ほとけに神にも慈—ナシ最 ⑮おほえつ—おほほえつゝ爲—おほほえつゝ承—ヲホエツ、時 わりなく—さり(はか)なく承—わりなう最 こひしうのみ—こひしくのみみ宵 ⑯おほえければ—ヲホエケレハ時 おむやうし—ヲムヤウシ時 かむなきよひて—かんなきをよひて相 ⑰はらへはらい慈—はらひ最—ハラエ時 はらへける—ナシ最—ハラエサセ(朱)ケル時 いと、かなしきこと—いとかなしき事相爲承慈宵時 ⑱こひしくのみ—戀しうのみ最 おほえければ—ヲホ(エ)ケレハ時 ⑲うけすも—うけすに(も)榮 ⑳いにける—いにけり慈—いきける最 かほかたち—かほかたち慈 おはしまして—おはしまして承—ヲハシマシテ時 ㉑申たまふ—申たまう最 つかうまつらて—ツカフマツラテ時 ㉒つたなく—つたなき最 かなしきこと—ナシ最 おとこ—をとこ相爲 ㉓とてなんなきける—とかく(て)なんなきにける承 きこしめしつけて—きこしめして慈最 ㉔このおとこをはなかしつかはしてければ—このをとこをはなかしつかはしてければ相—此ノ部分補入爲—このをとこをはなち(かし)つかはしてけり最 この女のいとこ

のみやすところ女をば—この女いとこのみやすところ女をば慈—この女のいとこのみやすん所に女をば宵—この女のいとこのみやすん所の女は最 ①女をばまかせて—女をばまかせて承—女をばまかせて—
 宵—しおりたまふければ—しをりたまふければ相—しほり給ければ爲榮宵—しほりわひたまふければ承—しほりたまふければ最—シヨリ給エレハ時 ②なく—なく—最時 ③我からと—我からに慈 ④となきをれば—となきおれば宵—となむなきければ最 このおとこ—このをとこ相最—このをとこは爲時—このおとこは承慈宵—このおとこは榮 ⑤ふえを—フエツ時 おもしろく—ヲモシロク時 おかしうてそあはれに—をかしうてそ爲—おかしうてそあわれに承—おかしうて最—ヲカシフテツ時 ⑥うたいひける—うたいける爲最—うたいひけり宵 この女は—この女最 それにそあなる—これにそあなる承—それにこそあんなれ最—ソレニソアナ(アル朱)ル時 ⑦身をしらすして—身と(を)しらすして(して)最 ⑧とおもひをり—とおもひおり宵 おとこは—をとこは相爲—をとこ最 女しあはねは—女もあわねは最 かくしありきつ—かくしあるきつ—宵—かくれ(し)ありきつ—最—カクシ(朱)アリキツ、時 ⑨かくうたふ—かふうたふ慈 ⑩きぬる—かゑる最 物ゆへに—ものゆえに爲時 ⑪水のおの—水のをの最時 おほみやすん所も—おほ宮す所も爲—おほみやすん所とは最—ヲホミヤスムトコロモ時 おほみやすん所も以下五條の后とも迄ナシ宵 それとの、后なり—それとの、后なり承 ⑫五條の后とも—五條のきさきとも申爲承—五てうのきさきとも最 ⑬おほやけおほして—おほえにて大神 つかうたまふ—つかひ給大神 ⑭おほみやすん所—おほみやすところ大神 なりけり—なりける大 ⑮さふひける—ありける大神 のまかいとおか—なりける大—ナシ大 ⑯た

大

りけり—たりける大 おとこ—こと大 ⑰女の—をうなの神 きて—ゆきて大 むかひをりければ—のへかひをりければ大 かたはなり—かたわなり神 ⑱さもあらはあれ—さもあらはあらなん(れ)大 ⑲おりたまへれば—をり給へは—おりたまへは神 れいのこのみさうしには—れいのこのさうしには大 ⑳この女思ひわひてさとへゆくされは—ナシ神 ㉑なにのよきこと—と思て—なにのよきこと—大神 いきかよひければ—ゆきかよひければ大 ㉒きよてわらひけり—きよわらひけり大—きよわらひけり神 ㉓おくに—をくに大 のほりぬ—ナシ大—のほりて神 かたはに—かたりに神 ㉔つるに—つひに大 ほろひぬへしとてこのおとこいかにせんわかかゑる心やめたまへとほとけ神にも—ほろひぬへしとておとこいかにせんわかかゑる心やめたまへとほとけ神に大—ほろひぬへしとてこのおとこいかにせんわかかゑる心やめたまへとほとけ神に神 ㉕申しければ神 いやまさりにのみおほえつ—猶わりなく—いやまさりに大—いやまさりにのみおほへて神 こひしうのみ—こひしくのみ大神 ㉖おむやうしかむなきよひて—かひなき陰陽師よひて大—おみやうしをよひて神 ㉗はらへける—さてはらへする大—さてはらへける神 いと—かなしきこと—いとかなしきことのみ大—いとかなしきことのみ神 ㉘こひしくのみ—こひしく大 ㉙御心—心大 御こゑ—をむこゑ神 ㉚いたうなきけり—いたうなきけり大—いたうなきけり神 ㉛すくせ—すくす大 この—の神 ㉜なきける—なきけり大—なきけりしつて—きこしめして大神 ㉝この女のいとこのみやすところ女をば—かの女をばいとこのみやすところ女をば大—かの女をばみやすところ神 ㉞くら—とのくら大神 しおりたまふければ—しほり給ければ大神 ㉟なく—なく—神 ㊱となきをれば—となきをりければ大神 ㊲おもしろく—おもしろう大神

差

おかしうてそあはれに―をかしくてそ大―いとをかしくてそあはれに神 ②この女は―この女大神 ③それにそあなるとはきけと―それにそあめるときは大―それにそあるときけと神 ④あひみるへきにも―あひみるへきには大 ⑤思覚こそ―たのむらんこそ大神 身をしらすして―みをはしらすて神 ⑥とおもひをり―とおもひけり神 かくしありきつゝ―かうありきつゝ大―かうしありきつゝ神 ⑦かくうたふ―うたふ大神 ⑧物ゆへに―物なれと大神 ⑨水のおの―みつのをの大―みつををの神 おほみやすん所も―おほみやすところは大神 ⑩五條の后とも―二條后とも大―ナシ神

①おほやけおほして―みかとの不群丹 つかうたまふ―ときめきつかはせたまふ不群丹 女の―をむな不群丹
 ②おほみやすん所―おほみやすところ不群丹 いますかりける―いまそかりけるか不群丹 いとこ―御いとこ不群丹 ③さふらひける―つかはせ給ける不群丹 おとこのまたいとわかしりけるをこの女あひしりたりけり―ナシ不群丹 ④おとこ―をとこ不 ⑤きて―いきて不群丹 ⑥あふにしかへは―あふにしかへは不 ⑦おりたまへれは―をりたまへは不―おりたまへは群丹 れいのこのみさうしには―いとさうしには不群丹 ⑧しらて―しのはて不群丹 ⑨ゆく―ゆきければ不群丹 されは―ナシ不群丹 いきかまひければ―ゆきかよふに不群丹 ⑩おくに―をくに不 のほりぬ―のほりぬて不群丹 ⑪つゐに―つゐに不 ⑫わかかゝる心―わかかゝる心不群―わかかゝる(朱)心丹 ⑬いやまさりにのみ―いやまさりつゝ不群丹 おほえつゝ―おほえつゝ不ひしうのみ―戀事のみ不―こひしきことのみ群丹 ⑭おほえければ―おほへければ不 おむやうしかむなきよひて―かむなき陰陽師して不群丹 ⑮はらへ―みそま不群丹 いとかなしきこと いとかなしう事のみ不

群丹 ⑯こひしくのみ―戀しく不 おほえければ―おほえければ不 ⑰なりにけるかな―なりぬ(に)けるかな不 ⑱いにける―きにける不群丹 かほかたち―御かほかたち不群丹 ⑲ほとけの御名を―曉には佛の御名を不群丹 御心―心不群丹 ⑳女は―此女は不群丹 いたうなきけり―いたうなきけり不群丹 つかうまつらて―つかまつらて不 ㉑つたなく―つたなう不群丹 ㉒とてなん―と思てなむ不群丹 ㉓このおとこをばなしつかはしてければ―此男なかしつかはしければ不群丹 この女のいとこのみやすところ女をば―あのをむなをばいとこの御息所不群丹 ㉔くら―とのく不群丹 しおりたまふければ―しをりたまひければ不―しほり給ひければ群丹 ㉕なく―なく不群丹 ㉖このおとこ―此男は不群丹 ㉗ふえを―ふえ不 おかしうてそあはれに―いとをかしくてうたをそ不―いとをかしくてうたをそ群丹 ㉘かゝれば―ナシ不群丹 この女は―此女不群丹 それにそあなるとはきけと―そこにそあなりとはきけと不群丹 ㉙あらてなんありける―あらてかくなん不群丹 ㉚身をしらすして―身をはしらすて不群丹 ㉛おとこは―ナシ不 人のくにありきてかく―ナシ不群丹 ㉜きぬる―かゝる不―かへる群丹 ㉝水のおの―みつのをの不 御時なるへし―御時事なるへし不―御時の事なるへし群丹 おほみやすん所も―おほみやすところとは不群丹 そめとのゝ后―むめのゝささき不 ㉞五條の后とも―ナシ不群丹

昔帝時目機仕瀬給女色被縦有在計利大御息所爾而在計流從父兄弟有計流殿上爾侍計 1
 流在原有計流壯士迺未最稚借計流乎此女會知有計利夫女之方緩佐禮有計禮者女之在 2
 所爾來而向居計禮波女痛醜也身毛喪何是勿爲莫與云計禮波 3

思爾波偲流事社負爾計流會似志替者然毛被有者在諾云而曹司爾居給江禮波例迺御曹司爾者人之將見面不知而昇居計禮者此女思佗而京江行然者何好事左往通計禮者皆人聞而笑計利晨而主殿司迺見流爾轄者取而奧爾拋入而社昇居計流右類爲乍在渡爾身毛徒爾可將成者終爾可將喪左此夫如何詮吾如是心乎停給江與神佛爾毛雖言彌倍爾耳所念而尙破無戀敷耳所念計禮波現陰陽師乎喚而戀不爲與云被之具左何禊計流隨爾最悲機事數增而從有異爾慕敷耳所念者

戀不爲與水垂神河爾所爲禊神者不受成爾計流哉諾云而何往計流此帝者御貌好御坐而佛之御名乎御心爾入而曉爾者御音最貴而申給乎聽而此女者痛哭計利如是王爾不祚承宿世拙悲事此夫爾被絆而與何哭計流如是程爾帝聞食付而此夫姑流師遣計利此女姑從父見妃而退出佐爲而殿倉爾籠而志保里給計禮者倉爾籠而涙々

泉郎之刈藻爾棲虫之我乍與音乎社唱目余姑浦不見諾唱居禮者此夫從他國每夜來乍笛乎最面白吹而聲者咲敷而社吟計流如是計禮者此女倉爾乍籠爾所社在鳴常聞與相可見爾毛不有何有計流

雖然與思覽社金敷計禮有爾毛不有身乎者不知而諾思居夫者同志不相者是行乍徒爾行而者還物故爾見卷欲左爾被率乍水尾御時有可大御息所與者染殿皇也五條之

掖庭輶

眞

- ① 侍計流—侍計流天
- ② 向居計禮波—面居計禮波天
- ③ 偲流事社—忍流事社天
- ④ 居給江禮波—居給天
- ⑤ 例迺御曹司爾者—例迺此御曹司爾者內桂
- ⑥ 例迺此御曹司爾者九天
- ⑦ 將見面不知而—將見面毛不知而天
- ⑧ 如是—加是天
- ⑨ 被絆而與何—被伴(絆)而何天
- ⑩ 如是程爾帝聞食付而—加是程爾帝聞食而天
- ⑪ 從父見妃而—從父兄弟妃女而九
- ⑫ 藻爾棲虫之—藻爾棲虫之天
- ⑬ 唱目—唱目九
- ⑭ 唱居禮者—唱居禮者九
- ⑮ 咲敷而社—咲敷社內桂九
- ⑯ 笑敷而社天
- ⑰ 此女—此女者九天
- ⑱ 同志不相者—女志不相者內桂九天
- ⑲ 染殿皇也—染殿皇后也內桂九天
- ⑳ 掖庭輶—掖(掖朱)庭輶內—掖庭輶桂

1 突むかしおとこつにくに、しる所ありけるにあにおと、友たち
2 ひきあてなにはの方にいきけりなきさをみればふねとものあ
3 るをみて

4 なにはつをけさこそみつのうらことにこれやこの世をうみ
5 わたるふねこれをあはれかりて人くかへりにけり

天 ① つのくに、しる所—つのくに、あ(し)る所色 ② ひきあて—ひきいて紹
流 ③ あにおと、あにをと、千障片 ④ あはれかりて—あはれに(かり)て明 かへりにけり—かへりけり—

古 ①おとこをとこ相 ありけるに有けり慈 あにおとこあにのおとこ相あにをとと爲宵時あにおと慈
 おとと最 ②ひきゐてひきゐつ承 なにはなにわ最 いきけりいきける慈最 ④なにはつなには
 ず爲なにわつ最 けきこそけふこそ宵最 これやここや宵 うみわたるうみはたる慈 ⑤かへりにけ
 リカヘ(エ)リニケリ時

大 ①ありけるにありて神 あにおととあにをとと大 ②ひきゐてひきいてきて神 なにはの方にいきけり
 ナシ大神 みれはうちみやれは大神 ④なにはつなにはへ大 ⑤かへりにけりかへりけり神
 ①ありけるにありけり不群丹 あにおととあにをとと不群丹 友たちともたちなむと不群丹 ②ひきゐ
 てひきいて不 なにはの方にいきけりナシ不 みれはうちみければ不群丹 あるをみてあるを不群丹
 ④けきこそ今日こそ不群丹 ⑤かへりにけりかへりにけり不

昔男在計利攝津國爾知所有而朋友貝連而往爾渚乎見遣者船輶之在乎見而

難波津乎今日社三津廻每浦爾是哉此世乎海渡船是乎天晴借而人々還爾計利

眞 ①知所有而知所在而内桂九天 貝連而貝連而天

空 むかしおとこせうえうしに思ふとちかいつらねていつみのく 1
 にへきさらき許にいきけり河内のくにいこまの山をみればく 2

もりみはれみたちゐるくもやますあしたよりくもりてひるは 3
 れたりゆきいとしろう木のすゑにふりたりそれをみてかのゆ 4
 く人のなかにたゝひとりよみける 5
 きつのふけふくものたちまひかくろふは花のはやしをうしと 6
 なりけり 7

天 ①かいつらねてかいつらねて紹

武 ②きさらききさら(き)岩 ④しろうしろふ高 ⑤たゝひとりひとり高

流 ①せうえうしにせうようしに かいつらねてかいつらねて飛山明奈雅 ②河内のくにいこまの山かう
 ちの國いこまの山片 ④しろうしろふ片 木のすゑに木木のすゑ七

古 ①おとこをとこ最 せうえうしにせうえうしに最 かいつらねてかいつらねて爲榮かゐつらねて最

いつみのくにへイツミノクニエ時 ②河内のくにいこまの山かうちのくにいこまやま宵かわちのくにい
 こま山最 ④やますやまつ最 ④しろうしろふ榮時 木のすゑに木すゑに最 ⑤よみけるよみけり榮

宵 ⑥たちまひたちまゐる最 うしとなりけりうしとなるへし最

大 ①せうえうしにせうしに大 かいつらねてかきつらねて大かいつらねて神 ②きさらき許にいきけり

きさらきにいきりけり大―きさききにいけり神 いかまの山―いくまの山大 ⑥ひるはれたり―ひるははれた
り神 ゆきいとしろう木のすゑに―いとしろく雪きりのうへに大―いとしろう雪きのすゑに神 ⑦うしとなり
けり―うれとなりけり大―うしとなるへし神

此段ナシ

昔男在計利道遙爲爾思共具列而和泉國江夷鐘許爾往爾計利河内國生馬山乎見遣者陰
見晴見立居留雲不息從朝陰而日流晴有六出最白木梢爾降有其乎見而行人之中爾只獨
讀計流

昨日今日雲之立舞陰呂浦者花之林乎佗與可鳴

眞 ①夷鐘許爾―夾(夷)鐘許爾天 ②只獨―獨只桂

六 昔おとこいつみのくにへいきけりすみよしのこほりすみよし
のさとすみ吉のはまをゆくにいとおもしろければおりみつゝ
ゆくある人すみよしのはまとよめといふ
鷹なきて菊の花さく秋はあれと春のうみへにすみよしのは
4 3 2 1

まとよめりければみな人―よますなりにけり

武 ①いつみのくにへ―いつみのくにへと高

流 ②おもしろければ―おもしろかりければ置 おりみつゝ―をりみつゝ豊片 ③はまと―はまを一 ④春の―春

は千 ⑤みな人―みな人明奈

古 ①おとこ―をとこ相 一つみのくにへ―イツミノクニエ時 いきけり―行けり榮―いきける慈 ②おもしろけ

れは―ヲモシロケレハ時 おりみつゝゆくある人―をりみつゝゆくある人爲榮時―をりみつゝ行かふ人最 ③

はまと―はまを最 いふ―いふに最 ④春の―春は承宵 ⑤みな人―みな人慈時―人ノ最

大 ①いきけり―ゆきけり大神 すみよしのこほり―つのくに大―つの國すみよしのほこり神 ②おもしろければ

―をもしろければ大 おりみつゝゆくある人―をりみつゝゆくある人大―おりみつゝゆくにあるひと神 ③

よめといふ―よめといふに大―いふをくはへてうみつらよめといふにみな人よまむとするに神 ④鷹なきて

―かきりなき大―かきりなく神 秋は―秋も大神 春の―はるは大神 ⑤みな人―みな人大神

差 ①いつみのくにへ―いつみの國に不群丹 すみよしのこほり―つの國住吉のこほり不群丹 すみよしのさとす

み吉のはまを―すみよしのさとのはま不群丹 ②おりみつゝゆくある人―をりみつゝある人不―おりみつゝあ

る人群丹 ③よめといふ―よめといふに不群丹 ④春の―はるは不群丹 ⑤みな人―みな人不群丹

昔男和泉國江往計利住吉郡住吉郷住吉濱乎行爾最面白計禮者下居乍或人住吉濱乎加 1

而海頭乎讀與云皆人讀與爲流爾或人讀

一七二

雁鳴而菊廼花咲秋者雖有春者海部爾住吉之濱諾讀計禮者是爾妙而人々不讀成逃利

眞 菊廼花咲—菊廼花笑天

3 2

究むかしおとこ有けりそのおとこ伊勢のくに、かりの使にいき
けるにかの伊勢の齋宮なりける人のおやつねのつかひよりは
この人よくいたはれといひやりければおやのことなりけれ
はいとねむころにいたはりけりあしたにはかりにいたしたて
、やりゆふさはかへりつゝそこにこさせけりかくてねむこ
ろにいたつきけり二日といふ夜おとこわかれてあはむといふ女
もはたいとあはしともおもへらすされと人めしけ、れはえあ
はすつかひさねとある人なれはとをくもやとさす女のねやち
かくありければ女ひとをしつめてねひとつ許におとこのもと
9 8 7 6 5 4 3 2 1

にきたりけりおとこはたねられさりければとのかたをみいた
してふせるに月のおほろなるにちひさきわらはをさきにたて
、人たてりおとこいとうれしくてわかぬる所にあていりてね
ひとつよりうしみつまであるにまたなにこともかたらはぬに
かへりにけりおとこいとかなしくてねすなりにけりつとめて
いふかしけれとわか人をやるへきにしあらねはいと心もとな
くてまぢをれはあけはなれてしはしあるに女のもとよりこと
は、なくて
10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21
きみやこし我やゆきけむおもほえす夢かうつゝかねてかさ
めてかおとこいといたうなきてよめる
かきくらす心のやみにまとひにきゆめうつゝとはこよひさ
ためよとよみてやりてかりにいてぬ野にありけと心はそらに

一七三

てこよひたに人しつめていとくあはむと思にくにのかみい 22
 つきの宮のかみかけたるかりのつかひありときて夜ひとよ 23
 さけのみしければもはらあひこともえせてあけはおはりのく 24
 にへたちなむとすれはをとこも人しれすちのなみたをなかせ 25
 とえあはす夜やうくあけなむとするほとに女かたよりいた 26
 すさかつきのさらに歌をかきていたしたりとりてみれば 27
 かち人のわたれとぬれぬえにしあれはとかきてすゑはなし 28
 そのさかつきのさらについまつのすみしてうたのすゑをかき 29
 つく 30
 又あふさかのせきはこえなんとてあくれはおはりのくにへ 31
 こえにけり齋宮は水のおの御時文徳天皇の御むすめこれたか 32
 のみこのいもうと 33

天

武

流

④いとねむころに―ねんころに色重 ①ふせるに―ふせり(ル)に色 ちひさき―ちいさき ⑤いと心もとな
 くて―いと心もなく冷―心もなくて實 ②をとこ―おとこ ⑥色 ②えあはす夜やうくあけなむとするほ
 とに女かた―えあはす夜やうくあけなむとするほとに女かた重 ③ついまつ―つひまつ東
 ⑦おやのことなりければ―ナシ高 ④こさせけり―こさせたり高 ⑥女もはたいとあはしとも―女もはたあは
 しとも四岩宮尊高 ⑧女のねやちかくありければ―女のねやちかくありければ四岩宮尊高 ①ちひさき―ち
 いさき ②いとうれしくて―うれしくて ③いたう―いたふ高 ④こよひ―よひと高 ⑤かりのつかひ―
 かりのつかい高 ⑥をとこ―おとこ ⑦四岩宮尊高
 ⑧いひやれりければ―いひやれりければ千明豊 おやのことなりければ―おやのことなれば雅 ④いたはりけり
 ―いたはれりけり明奈 あしたには―あしたには一 かりに―ナシ片 ⑥おとこ―おとこに片 女もはたいと
 あはしとも―女もはたあはしとも七飛山明一奈豊片 ⑦えあはす―あはす雅 ⑧女のねやちかくありければ―
 女のねやちかく有ければ千七飛山明一隆奈豊片雅 ⑨女ひとを―人を片 ⑩ちひさき―ちひさき千―ちいさ
 き七飛山明一隆奈豊片雅 ⑪わかぬる所に―われぬる所に明 ⑫かたらはぬ―かたらぬ七―元かたらはぬ片
 ⑬かへりにけり―かへりにけり千 ⑭やるへきにしあらねは―やるへきにしもあらねは片 ⑮いと心もなくて―
 いと心もなくて明―心もなくて一 ⑯いといたう―いたう千―いといたふ片雅 ⑰まとひにき―まよひにき
 片 ⑱こよひ―よ人七―こよみ一 ⑲とよみてやりて―とよみて豊 ⑳けと心はそらにてこよひたに人しつめて―
 ナシ明 ㉑こよひたに―こよみたに一 ㉒えせて―せて千豊 ㉓くにへたちなむ―くにたちなむ ㉔をとこ

古

おとこ千七飛山明一奈豊片雅 ちのなみたをなかせとえあはす一ナシ七 ①せきはせきも豊 おはりのくに
へをはりのくにへ豊一おはりのくに雅 ②齋宮は齋宮干
①おとこ一をとこ爲最時 有けり一ナシ承 ②おや一をや爲時 つかひ一つかる最 ③いひやれりければい
ひやりければ榮最 おやのことなりければ一おやの事なれば最一ヲヤノコトナリケレハ時 ④いたはりけり
いたはりけり爲 いたしたてゝやり一出したてゝ最 ⑤ゆふさり一よさり榮最時 かへりつゝ一カヘ(エ)リツ
ゝ時 ⑥おとこ一をとこ相一ヲ(オ)トコ時 われて一あれて慈 女もはたいとあはしとも一女もはたいとあは
しとも爲一女もはたあはしとも慈 おもへらす一おもふらす慈一おほえす宵最一ヲモエスラス時 人めしけ
れは一人めしければ慈一人めしければ宵一人しけゝれは最時 ⑦つかひ一つかい最 とをく一とほく相爲
女のねやちかくありければ 女のねやちかくありければ相爲承榮宵時一女のねやしちかくありければ慈 ⑧
ねひとつ一ねむひとつ慈 おとこの一をとこの相 ⑩おとこ一をとこ相最 ねられさりければ一ネラレサリケ
レハ時 ⑪ふせるに一ふせりに慈 おほろなるに一ヲホロナルニ時 ちひさき一ちいさき宵一ちひさき最時
さきにたてゝ一さきにたて慈 ⑫おとこ一をとこ相最 ゐていりて一ゐていりぬ(て)爲一いりて榮 ねひ
とつより一ねひとつはかりより最 ⑬うしみつまで一うしのみつまで宵 またなにも一またことも宵 ⑭
かへりにけり一かへりにけり爲一かへりけり承宵一かへりにけり最 おとこ一をとこ相 おとこいとかなしく
てねすなりにけり一ナシ最 かなしくて一かなしく宵 つとめて一ツトメテ時 ⑮いふかしければ一いといふ
かしければ相榮一いといふかしければ爲一いふかしければ最 おか人をやるへさにしあらねは一人をやるへさ

大

にしもなく最 ⑯おもほえす一ヲモホヘ(エ)ス時 ⑰おとこ一をとこ相最 いたう一いたう宵最一イトイ
タウ時 よめる一よめり慈 ⑱まとひにき一まとひにき最一マヨヒニキ時 ゆめうつゝとは一ゆめうつゝとも
爲 こよひ一よひと宵時一よひと(今夜)最 ⑲ありけと一ありければ最一アリケレト時 ⑳いとゝく一いとゝ
しく慈 ㉑かけたる一かけたりければ相最 かりのつかひ一かりのつかる最一カリノツカイ時 ㉒さけのみし
ければ一さけのみしにければ慈一さけのみければ最一サケノミシケレハ時 あひこともえせて一あひこともせ
て榮一あふこともえせてなむ宵一えあひこともせて最 おはりのくにへ一をはりの國へ爲宵最一ヲハリノクニ
エ時 ㉓たちなむとすれば一たちなんすれば榮一こえなんとすれば宵 をとこも一おとこも承榮慈宵 なかせ
と一なかせとも慈最 ㉔えあはす一えあわす最 夜やう一やう一最 女かた一女のかた承榮宵最 ㉕歌
を一うた相 ㉖えにし一えにし最 ㉗その一この承 ついまつ一つゐまつ榮最 うたの一ナシ最 かきつく一
かきつく榮 ㉘せきはこえなん一せきもこえなむ最 おはりのくにへ一をはりの國へ爲榮宵一ヲハリノクニエ
時 ㉙こえにけり一こえにけり最 齋宮は以下いもうとマデナシ最 水のおの御時一水ノヲノ御時時 文徳天
皇の一文徳天皇承 これたかのみこの一これたかの親王(みこ)の爲 ㉚いもうと一御いもうと宵
①そのおとこ一そのをとこ大 ②おや一をや三條のまちこれたかのみこのはゝたり大一みをや三條のまち惟高
のみこなり神 つかひよりは一つかひより大 ③この人一このたひ神 いひやれりければ一いるやれりければ
神 おやのことなりければ一をやの事なりければ大 ④いとねむころに一いとむねむころに神 ⑤ゆふさり一
よさり大 かへりつゝ一ナシ神 ⑥いたつきけり一いたはりけり大神 女もはたいとあはしとも一女はいとも

てはなれてしも大をむなはたいともてはなれても神 ⑦されとされとも大神 人めしけられはひとめい
としけければ大神 ⑧なればなりければ大 女のねやちかくありければ女のねやちかくありけり大 ⑨女
ナシ神 ⑩おとこおとも大神 ⑪おほろなるにをほろなるに人かけのしけるをみいたしければ大お
ほろなるに人かけのしけるをみいたしければ神 ちひさきちひさき大 ⑫うれしくてうれしうて大神 ⑬
ていりてゐてそて神 ⑭またなにもまたなにも大 ⑮かへりにけりかへりにける神 おとこいと
かなしくてねすなりにけりナシ大 ⑯とかなしくてかなしくて神 ⑰いふかしけれといふかしけれ
と大神 やるへきにあらねはやるへきにあらねは大やるへきにもあらねは神 ⑱ナシ大神 ⑲おも
ほえずおほつか大神 ⑳おとここれをみておとこ神 よめるよみけり神 ㉑こよひよ人大神 ㉒とよ
みてやりてとてやかて大 かりにかへり大神 ありけとありけとも神 心は心は大 ㉓いとよくい
としく神 ⑳いつきの宮のかみいつきのかみ大 ㉔かけたるかけたけりければ大神 ㉕あひこともえせて
あひこともせて大あひとむせて神 おはりをはり大 ㉖たちなむとすればたちぬへければ大神 をとこ
もおとも女も大おとも女神 ㉗夜やうやうやうやう大 女かた女のかた大 ㉘歌を歌大神 い
たしたりとりていたしたりけりて大 ㉙すゑすゑ大 ㉚せきはこえなんせきもこへなむ神 おはりの
くにへをはりのくにへ大 ㉛こえにけりこへけり神 齋宮は水のおの御時このさいくうはみつのをの御
時大神 これたかのみこのこれたかの大

差

①そのおとこナシ不 伊勢のくに伊勢國不 いけるにける不群丹 ②おやを不 ③い

やれりければいひやりけり不群丹 おやのことなりければをやのいふ事なりければ不おやのいふことな
りければ群丹 ④かへりつナシ不群丹 そこにこさせけりこにかゑりこさせけり不こにかへりこ
させけり群丹 かくてかく不 ⑤いたつきけりいたはりけるほにいひつきにけり不群丹 おとこナシ
不群丹 女もはたいとおはしとも女はたいとおはしとも不群丹 ⑥人めしけられは人目のしけられは不
えあはずゑあはず不 ⑦女のねやちかくありければねやちかくなんありける不群丹 ⑧おとこの男不
⑨きたりけりきにけり不群丹 おとこをとこ不 ⑩おほろなるにおもほろなるに人かけするをみれ
は不おほろなるに人かけするをみれば群丹 ちひさきちひさき群丹 ⑪ゐていりていりて不 ⑫
うしみつまであるにうしよつまで物かたらひけり不うしみつまで物かたらひけり群丹 またいまた不群
丹 かたらはぬにかたらひあぬほとに不かたらひあぬほとに群丹 ⑬かへりにけり女かゑりにけれ
は不女かへりにければ群丹 おとこをとこ不 ⑭いふかしけれとゆかしけれと不群丹 いとナシ不群
丹 ⑮まをれはまぢみれは不群まぢみ(朱)れは丹 しはしあるにしはしあるほとに不群丹 ⑯おもほ
えずおほゑす不 ⑰いといたういたう不群丹 なきてうちなきて不群丹 よめるナシ不群丹 ⑱心
のやみにこころやみに不 とひ二字分空自原本ニ蟲損アリタルナルベシ不 ⑲とよみてやりてとて不群
丹 ありけとありきけれと不群丹 ⑳こよひたに人しつめていとよくあはむと思にいつしか目もくれなむ
とおもふほとに不群丹 くにのかみ國守の不群丹 ㉑かけたるかけたけりければ不群丹 ㉒あひこともえせ
てあひ事もせて不群丹 ㉓たちなむとすればたちぬへければ不群丹 をとこも女も不男もを

んなも群丹 人しれすちのナシ不群丹 なかせと—なかせとも不群丹 ⑤えあはす—あふよしもなし不群丹
 女かた—女のかた不群丹 ⑥さらに—さらに不群丹 歌をかきていたしたりとてみれば—ナシ不群丹 ⑦わ
 たれと—波は不群丹 ⑧さらに—さらに不群丹 ついまつ—つひまつ不—うたのすゑを—ナシ不群丹 ⑨せき
 はこえなん—せきはこえなむ不—とて—ナシ不群丹 おはりのくにへ—をはりゑ不—おはりへ群丹 ⑩こえに
 けり—こえにけり不—齋宮は以下いもうと迄ナシ不群丹

昔男在計利其壯士妹背國江狩使爾往計流爾彼伊勢之齋宮有計流人之母常之從使雁此
 人能勤與云遣計禮者母之言成計禮者最鄭重爾勞計利朝爾波狩爾出立而遣夜去者爾所
 爾還來佐世計利二日與云夜夫破而會與云女毛將不會與波不思計禮與甚他目繁計禮者
 得不會使真常在人成者遠毛不宿女之寢屋毛近在計禮者女他乎如而夜半一許爾夫之許
 爾來計利夫將不被寢計禮者戶之方乎見出而臥爾明玉野隴有爾人之影迺志計流乎見計
 禮波少兒乎前爾立而人立利夫最嬉而如我寢所爾將入而從夜半一至鷄鳴在爾又何事毛
 不語還爾計利夫最悲而不寢成爾計利晨而最鬱悒計禮士吾人乎可遣爾志毛不有者最心
 本無而待居爾開分而暫在爾女之從許詞者無而
 君哉所來吾哉將往不所念努歟現歟寐而歟夫甚痛打哭而讀
 書夜須心之間爾迷爾幾努現與波夜人定余諸讀而遣而狩爾將出野爾行與心者空爾而

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

令宵田爾人閑而最速將相與思爾國守齋宮守兼有計禮者狩使在與聞而一夜酒吞志計禮
 波專會事毛得不爲明者尾張國江將去邊計禮波夫毛女毛人不被知千之涙乎流與毛得不
 會夜漸明何與爲流間爾女之從方所出坏歌乎書而出志有見者

13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

眞 ①妹背國—妹背國九 常之從使雁—常之從雁者內桂九天 ②遠毛不宿—遠毛不最天 寢屋毛近在計禮者
 —寢屋近在計禮者內桂—寢屋毛近在計禮者九 ③夫將不被寢計禮者—夫者不被寢者內桂九天 ④最鬱悒
 計禮士—最鬱悒計禮士九 ⑤寐而歟—寢而歟天 ⑥書夜須—書夜須內桂 心者空爾而—心者空爾內
 ⑦見者—取而見者天

吉 むかしおとこ狩の使よりかへりきけるにおほよとのわたりに
 やとりていつきの宮のわらはへにいひかけゝる
 みるめかる方やいつこそさほさして我にをしへよあまのつ
 り舟

武 ②わらはへ—はらはへ高 ③さほ—さお四岩宮—さを高

流 ①かへりきけるに—かへりけるに豊 ②わらはへ—はらはへ隆 いひかけゝる—いひやりける七 ③さほ—さを飛豊

古 ①かへりきけるに—かゑりきけるに最—カエリケルニ相 おほよと—ヲホヨト時 わたりにやとりて—わたりにて最 ②いつきの宮のわらはへに—いつきの宮わらはへに最 いひかけゝる—いひかける慈—ナシ最 ③方やいつこそ—方はいつくそ最—カタハイツコソ時 さほ—さお相慈—さを爲 をしへよ—ヲシエヨ時

大 ①かへりきけるに—かへりきける神 ②みるめかる—みるめなき神 方やいつこそ—かたやいつくそ大

塗 ①かへりきけるに—かゑりけるに不—かへりけるに群丹 ②わらはへ—わらゑ不群丹 ③方やいつこそ—方はいつくこそ不群丹 さほ—さを不

昔男從狩使還來計流爾大淀渡爾宿而齋宮之俵子爾云懸計流

海松荊方呼幾所社棹指而吾爾教余泉郎之釣船

眞 ②方呼幾所社—方哉幾所社天

2 1

七 昔おとこ伊勢の齋宮に内の御つかひにてまいれりければかの宮にすきこといひける女わたくしことにて

2 1

ちはやふる神のいかきもこえぬへし大宮人のみまくほしさに
おとこ

4

こひしくはきてもみよかしちはやふる神のいさむるみちな
らなくに

6 5

武 ①御つかひにて—御つかひとて四

流 ①まいれりければ—まいりければ千雅 ②いかき—むかき七明

古 ①おとこ—ナシ最 御つかひにて—いつかひにて慈 まいれりければ—まいりければ榮—まいりけるに宵—まいりければ最 ③ちはやふる—おもふには宵 こえぬへし—こゑぬへし最 大宮人—ヲホミヤ人時 ④おとこ—をとこ相—おとこ返し最

大 ①御つかひにて—御つかひに大神 まいれりければ—まいりければ大神 ③こえぬへし—こゑぬへし神 ④おとこ—をとこ大 ⑤神の—神も大

塗 ②すきこといひける—すてこといひける不群丹 ③こえぬへし—こゑぬへし不 ④おとこ—をとこかゑし不—おとこかへし群丹

小式部内侍本 ①伊勢の齋宮に—伊勢さいくうに小 まいれりければ—まいりければ小 ④おとこ—をとこ小

⑤ みちならなくに—みちならなくに女たひ人をいかし思けん神風やいせのはまをきりふせてたひねやすらむ
あきはまへに小

昔男在計利伊勢齋宮爾裏之御使爾而參計禮波彼宮爾相子與云計流女私言爾而

千盤破神五十垣毛可將越大宮人之見卷欲作爾夫返

戀布者來毛見余借茅葉屋經神之禁路不成莫

眞 ① 彼宮爾—此宮爾内柱

1
2
3

七 三 むかしおとこ伊勢のくになりける女又えあはてとなりぬくに

へいくとていみしうゝらみければ女

おほよとの松はつらくもあらなくにうらみてのみもかへる

なみ哉

武 ① 伊勢のくになりける女—伊勢のくになりける女岩

流 ① 又えあはて—えあはて片 ② いみしう—いみしふ片

古 ① おとこ—をとこ相 伊勢のくになりける女—いせのくになりける女に宵最 又えあはて—えあはて最—な

1
2
3
4

大

りのくにへ—トナリノクニニ時 ② いくとて—ゆくとて榮 女—ナシ承最 ③ おほよと—ヲホヨト時
① 伊勢のくになりける女—いせのくにゝありける女を大神 又えあはて—又もえあはて神 ② いみしう—いみ
しく神 ③ つらくも—わらくも大

塗

① 伊勢のくになりける女—伊勢國なりける女を不群丹 又えあはて—またはえあはて不—またはえあはて群丹
② いくとて—ゆくとて不 いみしう—ナシ不群丹 ③ かへる—かゑる不

昔男在計利伊勢國有計流女乎又得不會隣之國江往左忌敷嘆計禮波女

大淀之松者烈久裳莫不有浦見而耳毛還浪哉

眞 ① 伊勢國有計流女乎—伊勢國有計流女爾天 ② 烈久裳—列久裳天

1
2

七 三 むかしそこにはありときけとせうそこをたにいふへくもあら

ぬ女のあたりをおもひける

めにはみてゝにはとられぬ月のうちのかつらのこときゝみ

にそありける

天 ② おもひける—おもひけるに東

1
2
3
4

古 ①そこにはありと―男そこにはありと宵―おとこそこにありと最 せうそこをたに―せうそくをたにも爲―セ

ウツクヲタニ時 ②おもひける―思ひやる最 ③かつらのことき―かつらのことく最

大 ①そこにはありと―そこにはありとは神 いふへくも―いふへうも大神 ④めにはみて―み(め)にはみて大―め

にはみえて神 かつらのことき―かつらのことく大 きみにそありける―きみそありける大

差 ①そこにはありと―そこにはありと不群丹 きけと―ききけれと不群丹 ②おもひける―ありきて男のおもひけ

る不群丹 ④めにはみて―ありとみて不群丹 かつらのことき―かつらをとこの不―かつら男の群丹 きみに

そありける―きみにもあるかな不群丹

小式部内侍本 ①そこにはありと―そこにはありとは小 ②おもひける―ありきて思ひける小 ④かつらのことき

―かつらのことの小

昔男彼所爾波將在雖聞消息乎多爾何可云毛不有女之當乎思計流

目爾者見而手爾者不被取月廼中之楓廼如之君爾社有計流

眞 ①彼所爾波―被所爾波天 ②目爾者見而―目余者見而天 楓廼如之―楓廼加之内

七 齒 むかしおとこ女をいたうゝらみて

いはねふみかさなる山にあらねともあはぬ日おほくこひわ 2 1

たる哉

天 ②あはぬ日―あはぬは東

武 ②山にあらねとも―山はへたてねと四岩宮尊―山はへたてねは高

流 ①いたう―いたふ片 ②山にあらねとも―山はへたてねと千七飛山明一陸奈豊片雅

古 ①おとこ―をとこ相最 ②いはね―いわね最 山にあらねとも―山はへたてねと相爲良承慈育最時―山を(に)

あらねとも榮 おほく―ヲホク時

大 ①女―をうな神 ②山にあらねとも―山はへたてねと大神

差 ①おとこ―ナシ不群丹 いたう―いたく不 ②かさなる―かさぬる不 山にあらねとも―山はへたてねと不群

丹

小式部内侍本 ①いたう―ナシ小 ②山にあらねとも―山はとをけれと小 こひわたる哉―こひわたるかなあま

のすむさとのしるへにあらねともうらみむとのみ人はいふらん小

昔男女乎痛恨而

磐根踏將重山者不隔常不相日多戀渡哉

七 五 昔おとこ伊勢のくにゝゐていきてあらむといひければ女

おほよとのほまにおふてふみるからに心はなきぬかたらは 2

ねともといひてましてつれなかりければおとこ 3

袖ぬれてあまのかりほすわたつうみのみるをあふにてやま 4

むとやする女 5

いはまよりおふるみるめしつれなくはしほひしほみちかひ 6

もありなん又おとこ 7

なみたにそぬれつゝしほる世の人のつらき心はそてのしつ 8

くか世にあふことかたき女になん 9

天 ②かたらはねともかたらはぬ(ね)とも色

武 ①女ナシ高 ⑤ましてーさして尊

流 ①あらむといひければあはんといひければ豊 ②おふてふーおほてふ飛ーおひてふ明 ③ましてーさして奈

片 ④わたつうみーわたつみ奈 ⑤女ナシ豊 ⑦又おとこーナシ豊

古 ①おとこーとこ相 ②おほよと ③おほよと ④おほよと ⑤おほよと ⑥おほよと ⑦おほよと ⑧おほよと ⑨おほよと

フホヨト時 おふてふーヲフテフ時 ④おとこーとこ相ーナシ榮最 ④わたつうみーわたつうみ最 やま
むとやするーやまんとやみし最 ⑤女ーおほむな最 ⑥いはまよりーいわまより最 おふるーヲフル時 みる
めしーみるめも背ーみるめも(し)最 かひもありなんーかひもありなん最 ⑦おとこーとこ相爲最 ⑨あふ
ことーあふこと榮 女になんー女になむありける背

大

①あらむといひければあはすとわりなくいひければ大ーあはむとわりなくいひければ神 ②おふてふーをふ
てふ大ーおふてう神 みるからにーくるからに神 ③おとこーとこ大 ④わたつうみーわたつみ神 ⑥いは
まよりーいはね(ま)より大 おふるーをふる大 つれなくはーつね(れ)なら(く)は大 しほみちーしほみは
(ち)大 ⑨世にあふことかたき女になんーナシ神 女になんーことになん大

塗

①伊勢のくにゝゐていきてあらむといひければ伊勢國なりける女にまたもゑあはてうらみければ不ー伊勢の
國なりける女に又もゑあはてうらみければ群丹 ③おとこーナシ不群丹 ④みるをあふにてーみるめあふまで
不群丹 ⑤女ーをんな(いはまよりノ歌ノ上ニ書入レタリ)不 ⑥いはまよりーいわまより不 おふるーをふる
不 つれなくはーつねならは不群丹 かひもありなんーかひもありなん不群丹 ⑦又おとこーまた男(なみた
にモノ歌ノ上ニ書入レタリ)不 ⑧世の人のーあた人の不群丹 ⑨世にーとのみいひてよに不群丹 女になん
ー事になむ不群丹

昔男在計利伊勢國爾欲得行而將相與無破云計禮波女

大淀之濱爾生云乍海松爾心者奈疑寐雖不語諾云而倍而顔強借計禮者壯士

袖沾而泉郎之刈乾渡津海之海松乎相爾而將停與哉爲流女返

從磐間生海松日志顔強者鹽干鹽満貝藻有何又壯士

涙爾曾沾乍鹽流世人之烈城心者袖之四附歟余爾相事者難事爾何

眞 ①女—彼女女九 ②大淀之—大渡之天 ③女返—返内桂九

3
4
5

去

むかし二條の後のまた春宮のみやすん所と申ける時氏神にま

うて給けるにこのゑつかさにさふらひけるおきな人くのろ

くたまはるついでに御くるまよりたまはりてよみてたてまつ

りける

大原やをしほの山もけふこそは神世のことも思いつらめと

て心にもかなしと思ひけんいか、思ひけんしらすかし

天 ④ついでに—つゐてに東

武 ②さふらひける—さふらひける高

1
2
3
4
5
6

流

①みやすん所—みやす所飛隆 まうて給けるに—まうてたまふけるに千七—まうてたまふけるに雅 ②このゑ

つかさにさふらひける—このへつかさにさふらひける山明 ③ついでに—つゐてに七隆豊雅 たまはりて—給

て七

古

①二條の後のまた春宮の—二條のきさきまた春宮の良—おとこ二てうのきさき最 みやすん所—みやす所爲

まうて給けるに—まうてたまふけるに相—まうてたまふけるに爲—まふてたまひけるに最 ②このゑつかさに

さふらひける—このえつかさにさふらひける爲—このゑつかささふらひける最 おきな—をきな最—ヲキナ

時 ③ついでに—つゐてに榮最 たてまつりける—たてまつる最 ④大原—ヲホハラ時 をしほの山—をしほ

のやま爲 とて心にもかなしと思ひけん—とて心にもかなしやとおもひけん承—心にもあはれと思ひけむ

しらす最—トテ心ニモアハレトヤオモヒケム時

大

①二條の後のまた春宮の—二條のきさきまた大神 みやすん所—みやすところ大神 時—ころ大神 ②この

ゑつかさにさふらひける—つかうまつりける近衛河にさふらひける大—つかうまつりける兵衛の司にさふらひ

ける神 おきな—をきな大神 ③より—から大神 よみて—ナシ神 ④いか、思ひけん—ナシ大神

①二條の後のまた春宮の—二條のきさきまた春宮の不群丹 みやすん所—御息所不群丹 時—ころ不群丹 ②こ

のゑつかさにさふらひける—つかうまつりける近衛つかさなりける不—つかうまつりけるこのゑつかさなりけ

る群丹 おきな—をきな不 ③たまはる—たまはりける不群丹 ついでに—つひてに不—つゐてに群丹 たて

まつりける—たてまつる不群丹 ④大原—おほはら不 をしほの山—をしをのまつ不—小鹽の松群丹 とて心

昔二條後宮之未儲貢妃與申計流時氏神爾詣給計流爾親衛司爾候計流翁人々祿賜計流
次爾從御車賜而讀而奉計流

大原哉小鹽山毛今社者最事毛思出覽目諾云而心爾毛悲與哉將思如何將思不知借

眞 ③今社者—今日社者九 最事毛—最初事毛内桂九天

七 むかしたむらのみかと、申すみかとおはしましけりその時の
 女御たかきこと申すみまそかりけりそれうせたまひて安祥寺
 にてみわさしけり人くさ、けものたてまつりけりたてまつ
 りあつめたる物ちさ、け許ありそこはくのさ、けものを木の
 えたにつけてたらのまへにたてたれは山もさらにたらのまへ
 にくこきいてたるやうになんみえけるそれを右大將にいまそ
 かりけるふちはらのつねゆきと申すいまそかりてかうのをは

1
2
3
4
5
6
7

るほとにうたよむ人くをめしあつめてけふのみわさを題に
 て春の心はえあるうた、てまつらせたまふ右のむまのかみな
 りけるおきなめはたかひなからよみける
 山のみなうつりてけふにあふ事ははるのわかれをとふとな
 るへしとよみたりけるをいまみれはよくもあらさりけりその
 かみはこれやまさりけむあはれかりけり

8
9
10
11
12
13

天 ②女御—みこ紹 ⑨心はえ—心はへ重 ⑩よみける—よめる重

武 ①おはしましけり—おはしましける尊 ②みまそかりけり—いまそかりけり尊 ⑧うたよむ人く—うたよ

む人を高 ⑨心はえ—心はへ尊

流 ②みまそかりけり—みまそかりけれ七 それ—ナシ七 ④たてまつりあつめたる—あつめたる明—奉りあつめ

たる奈 ⑤たてたれは—たてたれは千 ⑥なん—ナシ明 ⑦をはる—おはる隆 ⑧めしあつめて—めしあけあつ

めて明 みわさ—みはき奈 ⑨心はえ—ころはへ千七飛明—隆奈豊片雅 なりける—なる雅

古 ①おはしましけり—をしましけり承時 ②たかきこ—たかきこの相 みまそかりけり—いまそかりけり宵最

時 うせたまひて—うせたまひてなむ最 ③しけり—しける最 たてまつりあつめたる—あつめたる宵 ④ち

さしけ許あり―ちさしけはかり最 ⑤まへにたてたれは山もさらにたうのまへにうき最―まへにたてたれは山
 もさらにたうのまへにうき爲―まゑにたてたれは山のさらにうき最―マエニウキ時 ⑥みえける―みえ
 くる慈―みえけり最 ⑦いまそかりける―いまそ最 ⑧いまそかりて―いまそかりけり(て)爲―いまそかりけり
 最 ⑨をばる―おはる最 ⑩題―たる最 ⑪心はえ―心はへ相爲良承榮慈背 ⑫たてまつらせたまふ―たてまつれ
 せ給慈―たてまつれとおほせけれは最 ⑬右のむまのかみなりけるおきな―右のむまのかみなりけるおきな慈
 ―むまのかみなりけるをきなの最 ⑭めはたかひなからよみける―たかひなからよみける慈―めはたかひなから
 よみける背―めはたかひなからよめる最 ⑮はるのわかれを―はると(の)わかれを爲 ⑯とふと―おもふと慈
 ⑰とよみたりけるをいまみれば―とよみけるをいまみて(れ)は爲 ⑱あらさきけり―あらさきける慈 ⑲まさり
 けむ―まさりたりけん相 ⑳あはれかりけり―あわれかりけり最―あはれかりける榮時

大 ①みかとし申す―みやと申ける大 ②みかとしナシ大神 ③おはしましけり―ましけり大 ④たかきこ―きかたのこ
 大―きたのこ神 ⑤みまそかりけり―みまそかり大―みまそかりけり神 ⑥それ―其女こ神 ⑦しけり―しける神
 人―さしけものたてまつりけり―人―の大神 ⑧物ちさしけ許―さしけ物にさしけはかり神 ⑨そこはく
 ―そこそはく神 ⑩木のえたに―きに大神 ⑪山もさらに―さらにやまのやうに大―さらに山も神 ⑫うきさい
 てたる―うつりたる大神 ⑬みえける―ありける大神 ⑭いまそかりける―いますかりける大神 ⑮いまそかりて
 ―います(そ)かりて大―いますかりて神 ⑯かうの―かう大神 ⑰めしあつめて―めしあつて神 ⑱けふの―けふ
 この神 ⑲心はえ―こゝろはへ大神 ⑳たてまつらせたまふ―たてまつらせ給へ大 ㉑おきたり―きたる大神 ㉒

途

はたかひなからよみける―そかひてよめる大―めはかひてよめる神 ①あふ事は―ある事は大 ②とふと―いふ
 と大 ③まさりけむ―まさりたりけん大神 ④あはれかりけり―あはれかりけりむかしの女御をはかくそ申ける
 大―あはれかりけりむかしの女御はかくそまうしける神

此段ナシ

昔田邑帝與申御門御在計利其時之女御多賀幾子與申在計利其疾給而後御行安祥寺爾 1
 而沾洗之晦爾爲計利人々之奉集多留捧物千擎計木枝爾付而堂之前爾立多禮者山師毛 2
 更爾堂前爾動出有様爾何見計流其乎右大將藤原常行與申人有計利講之終間爾歌讀人 3
 々乎食集而今日之御行乎題爾而春之心波江阿流歌奉給爾右馬頭有計流翁 4
 山皆遷而今日爾相事者春之別乎問與可成諾讀有計流乎今見者能毛不有計利最初者 5
 是乎將勝有賀利計利 6

眞 ①御在計利―在計利天 ②右馬頭有計流翁―右馬頭有翁内桂

七 ①むかしたかきこと申す女御おはしましけりうせ給てな、七日 1
 ②のみわさ安祥寺にてしけり右大將ふちはらのつねゆきといふ 2

人いまそかりけりそのみわさにまうてたまひてかへさに山し
 3 なのせんしのみこおはしますその山しなの宮にたきおとし水
 4 はしらせなとしておもしろくつくられたるにまうてたまうて
 5 としころよそにはつかうまつれとちかくはいまたつかうまつ
 6 らすこよひはこゝにさふらはむと申たまふみこよろこひたま
 7 ふてよるのおましのまうけせさせ給さるにかの大將いてゝた
 8 はかりたまふやうみやつかへのはしめにたゝなをやはあるへ
 9 き三條のおほみゆきせし時きのくにの千里のはまにありける
 10 いとおもしろきいしたてまつれりきおほみゆきのちたてま
 11 つれりしかはある人のみさうしのまへのみそにすへたりしを
 12 しまこのみ給きみ也このいしをたてまつらんとたまひてみ
 13 すいしんとねりしてとりにつかはすいくはくもなくてもてき
 14

ぬこのいしきゝしよりはみるはまされりこれをたゝにたてま
 15 つらはすゝろなるへしとて人ゝにうたよませたまふみきの
 16 むまのかみなりける人のをなむあおきこけをきさみてまき忍
 17 のかたにこのうたをつけてたてまつりける
 18 あかねともいはにそかふる色みえぬ心を見せむよしのなけ
 19 れはとなむよめりける
 20

天 ⑤まうてたまうてまうて給ふて紹東 ⑥よるのおましのよるのおましの冷 ⑦あおきあをき紹

武 ⑧みわさみはき高 まうてたまひてまうて給いて高 ⑨まうてたまうてまうてたまふて高 ⑩よろこひ

たまふてよろこひたまうて四岩宮尊 ⑪よるのおましのまうけせさせ給よるのおましのまうけさせたまふ

高 かのこの四岩宮尊 ⑫たてまつれりしかはたてまつれしかは尊 ⑬あおきあをき尊あほき高

まき忍のかたにまき忍かたに尊 ⑭このうたうた高

流

①むかしたかきこと申す女御むかしたかきのこと申す女御千 うせ給てうせたまうて千うせたまふて一
 うせ給てのち七 ②かへさにかへるさに一 山しなのせんしのみこおはしますそのナシ千 ③まうてたま
 うてまうて給ふて七奈豊片雅 ④つかうまつれとつかふまつれと山片雅 ちかくはいまたつかうまつらす

—ちかくはまたつかうまつらす千—ちかくはいまたつかふまつらす片雅 ⑦よろこひたまふて—よろこひたま
うて千飛山明一隆—よろこひ給て奈 ⑧よるのおましのまうけさせ給—よるのおましのまうけさせ給ふ飛山
片—よるのおましのまふけさせ給雅 かの—この七飛山明一 ⑩三條のおほみゆきせし時—三條のおふみゆ
きせし時雅 きのくにの—きのくにに飛 ⑪たてまつれりきおほみゆきののち—ナシ明 ⑫すへたりし—すえた
りし千 ⑬あおき—あをき千飛山明一隆奈豊片雅

古

①むかしたかきこと申す女御—むかしたかきのこと申す女御相 おはしましけり—おはしましける慈—ヲハシマ
シケリ時 うせ給て—うせたまうて相—うせ玉ひてのち榮—それうせたまふて最 ②いふ人いませかりけり以
下第八十一段たいしきのしたにはひ迄二葉落丁最 ③かへきに—カエサニ時 山しなの—山しなのの榮 ④お
はします—ヲハシマス時 ⑤おもしろく—をもしろく爲 まうてたまうて—まうてたまふて榮宵時 ⑥よそに
は—よそにては良 つかうまつれと—ツカフマツレト時 とちかくはいまたつかうまつら—ナシ榮 ちかくは
いまた—まちはちかくはまた相—ちかくはいまた爲—チカクマタ時 つかうまつらす—ツカフマツラス時 ⑦さふ
らはむ—さふらはらん良 よろこひたまふて—よろこひたまうて相良慈 ⑧よるのおましの—夜のをましの爲
時 まうけさせ給—まうけさせたまふ承 かの—か(こ)の爲—この慈 たはかりたまふやう—タハカリ給フ
ヤフ時 ⑨みやつかへ—ミヤツカエ時 ⑩三條のおほみゆきせし時—三條ノヲホミニキセシトキ時 きのくに
の—きのくに良時—紀伊國の宵 ⑪いとおもしろき—いとをもしろき爲—イトオオモシロキ時 たてまつれり
き—たてまつりけ(れ)りき爲—たてまつれるき慈 おほみゆきののち—ヲホミニキノ、キ時 たてまつれりし

大

かは—たてたてまつれりしかは爲—たてまつれりしかは良—タチマツリシカハ時 ⑭みさうしのまへの—ミサ
フジノマエノ時 すへたりしを—すえたりしを相爲良承宵時 ⑮いくはくもなく—いくはて(く)もなく承
⑯きよしよりは—きよしよりも良 これをたよに—コレヲタ、時 ⑰すゝろ—そゝろ宵 人ノ—人ノ、宵
⑱人のをなむ—人のをなむ榮—人ノナム時 あおき—あをき相爲良承榮宵時 ⑲いはにそかふる—岩にそら
(か)ふる承

①むかしたかきこと申す女御—むかしたかきのこと申す女御相 おはしましけり—をはしましけり神 うせ給て—
うせ給てのち大神 な、七日—な、ぬか大 ③いませかりけり—います(そ)かりけり大—いますかりける神
まうてたまひてかへきに—ナシ大 ④せんしのみおはします—せしのみこをはします大—せしのみこおはし
ます神 宮に—みや大 ⑤おもしろく—をもしろく大—おもしろう神 つくられたるに—つくれるに大神 ま
うてたまうて—まうて給て大神 ⑥ちかくはいまたつかうまつらす—まちはちかくはまたつかうまつらす大—ま
ちはまたつかうまつらす神 ⑦さふらはむと申たまふ—さふらはんと申給に大—御番とまうしたまふ神 よ
ろこひたまふて—よろこひ給て大神 ⑧よるのおましの—よるのおましの大神 大將—大將の大神 ⑨たよな
をやは—なをや大—なほや神 ⑩おほみゆき—みゆき大 きのくにの—きのくにに大 ⑪いとおもしろき—いと
をもしろき大 たてまつれりき—たてまつれり神 おほみゆきののち—おほみゆきののちに大神 ⑫すへた
りしを—すえたりしを神 ⑬このいし—はのいし大 たてまつらん—このおほむむろにたてまつらむ神 のた
まひて—のたまうて神 みすいしんとねりして—みすいしむとねり神 ⑭いくはくもなく—いくはくもなく

塗

して大 ⑮みるはまされり—みるは大—みるはまさる神 これをたゞにたてまつらは—ナシ大—これをたゞに
 てたてまつらは神 ⑯人のをなむ—人なん大神 あおき—あをき大神 まきゑのかたにこのうたを—まきゑの
 かたをこの歌に神 ⑰みえぬ—みへぬ神 ⑱となむよめりける—となんよみけるむかしの人のこゝろさしかや
 うになんありける大—となむよめりけるむかしの人の心さしはかやうになむありける神
 ①むかしたかきこと申す女御—昔きたのみこと申みこ不群丹 おはしましけり—いまそかりけりたむらの御門
 の御におはしますそのみこ不群丹 ③いまそかりけり—ナシ不群丹 まうてたまひて—まいり給て不群丹
 かへさに—かゑさに不 ④せんしのみこおはします—禰師みこの御もとにまいりたまふに不—せんしのみこの
 御もとにまいり給ふに群丹 宮に—みや不群丹 たきおとし—たきをとし不 ⑤おもしろく—おもしろう不
 つくられたるに—つくれり不群丹 まうてたまうて—まうて給て不—まうて給ふて群丹 ⑥つかうまつれと—
 つかふまつれと不 ちかくはいまたつかうまつらす—またかくはまいらす不群丹 ⑦さふらはむと申たまふ—
 さふらはんと申給を不群丹 よろこひたまふて—よろこひ給不—よろこひ給ひ群丹 ⑧よるのおましのまうけ
 せさせ給—よるのをましとほまうけさせ給不—よるのおまし所まうけさせ給ふ群丹 さるに—ナシ不群丹
 かの—この不群丹 たはかりたまふやう—人にたはかり給やう不群丹 ⑨たゞなをやは—たゞにやは不群丹
 ⑩三條のおほみゆきせし時—三條に御行ありしとき不群丹 きのくにの—紀伊國の不 おほみゆきののち—
 御行後に不—みゆきの後群丹 たてまつれりしかは—奉れりしかは(朱)いと丹 ⑫ある の—ある不群丹 ⑬
 しまこのみ給きみ也—このみこのかたまふものなり不群—このみこのみ給ふものなり丹 ⑭いし—かのいし

不群丹 みすいしんとねりして—ナシ不群丹 ⑮さしよりは—さくよりは不群丹 みるはまされり—みるま
 さりたり不群丹 これをたゞにたてまつらは—これをたゞにたてまつらは不 ⑯みきのむまのかみ—右馬頭
 不—むまのかみ群丹 ⑰人のをなむあおきこけをきさみてまきゑのかたにこのうたをつけてたてまつりける—
 人よめり不群丹 ⑱いは—いわ不 みえぬ—みえぬ不 ⑲となむよめりける—このいしはあをきこけをきさみ
 てまきゑをしたらんやうにそありける不群丹

昔多賀幾子與申女御御在計利疾給而七七日之御態安祥寺爾而爲計利右大將藤原常行
 與申人在計利其御態爾詣給而還樣爾人々山科禪師親王御坐爾山科宮爾瀧落志水走瀬
 何與爲而面白被造有爾詣給而年來遠者祝承與問近者未祝承今夜者此所爾將候與申給
 爾親王悅給而夜留之御坐之儲作世給彼大將出而議給樣宮仕之初爾只直哉者可有三條
 之御幸爲師時紀伊國千里濱爾在計流最面白石奉禮利機幸後奉禮利師賀波或人之御曹
 司之前迺溝爾居有師乎嶋好給君也此石乎將奉與云而御隨身舍人師而取爾遣幾毛無而
 用將來此石聞師自者見者勝有此乎直爾奉者可體與而人々歌讀給右馬頭在計流人何青
 苔乎刻而詩繪之形爾此歌乎付而奉禮利計流

雖不飽石爾曾替流色不見心乎將見由能莫者諾何讀計流

眞

①疾給而—疾給九 ②爾山科宮爾—爾宮爾内桂九 ③詣給而—詣而給而九 ④議給樣—議給天 ⑤幸後

御幸後天 ⑥幾毛無而—幾程毛無而九天 ⑦右馬頭在計流人何—右馬頭在計流人之何九天 ⑧諸何讀
計流—諸何讀利計流天

七九 むかしうちのなかにみこうまれ給へりけり御うふやにひと
く歌よみけり御おほちかたなりけるおきなよめる 1
わかゝとにちひろある影をうへつれは夏冬たれかゝくれさ 2
るへきこれはさたかすのみこ時の人中將の子となんいひける 3
あにの中納言ゆきひらのむすめのはらなり 4

武 ②よみけり—よみてけり高 5

流 ③ちひろ—ちひろ盟 ④これは—これ千 みこ—みこの片

古 ①うまれ給へりけり—むまれたまへりけり宵 御うふやにひとく歌よみけり—御うふやに人々歌よみけり承
②御おほち—御ヲホチ時 よめる—よめり慈 ③ちひろ—ちひろ宵時 影を—たけを良宵時 ④これは以下は

らなり迄ナシ宵 みこ—みこの慈 ⑤むすめ—むすめ良

大 ①うちのなかに—うちのなかにて大 うまれ給へりけり—むまれ給へりけり大 御うふやに—御うふやみ大—
おほむうふやにみ大 ②御おほちかたなりけるおきな—をんをちかたなるをきな大 おほむおほちかたなり

けるおきな神 ③わかゝとに—わかゝことに神 影を—たけを大神 ④ゆきひら—行平朝臣大 むすめのはらな
り—むすめはらなり大神

差 ①うちのなかに—うちの宮に不 うまれ給へりけり—うまれたまゑりけり不 ひとく—皆人ノ、不群丹 ②
御おほちかたなりけるおきな—御おほちのかたなりけるをきな不 御おほちのかたなりけるおきな群丹 ③わ
かゝとに—わかゝもとに不群丹 うへつれは—うゑつれは不群丹 ④時の人中將の子となんいひける—行平中納
言のむすめのはらなる清和の親王也不—中納言ゆきひらのむすめのはらなる清和の親王なり群丹 ⑤あにの中
納言ゆきひらのむすめのはらなり—時人中將のことなむいひける不群丹

昔氏中爾親王誕生給爾計利御鶉葺屋爾皆人々歌讀而奉計利御外舅有計流翁之讀 1

吾門爾千色在竹乎所殖者夏冬誰歟可不隱 2

眞 ②可不隱—可不隱是者貞數親王時人中將子與何云計流兄中納言行平女之腹也天

八〇 昔おとろへたる家にふちの花うへたる人ありけりやよひのつ 1
こもりにその日あめそほふるに人のもとへおりてたてまつら 2
すとしてよめる 3

ぬれつゝそしめておりつる年の内にはるはいくかもあらし 4

とおもへは

武 ①やよひのつこもり—やよひつこもり高

流 ①家—いゑ一 やよひのつこもり—やよひのつこもり一 ②そほふるに—そふるに七—そふるに山片雅

古 ①おとろへたる—オトロエタル時 家—いゑ爲時—いへ夏慈 ありけり—ありける慈 やよひのつこもりにそ

の目—やよひのつこもり宵 ②人のもとへ—人ノモトエ時 おりて—をりて相—ヲ(オ)リテ時 ③よめる—よ
めり宵 ④おりつる—をりつる相

大 ①家—いゑ大神 やよひのつこもりにその目—やよひのつこもりにをもしろふさきたりけり大—その花やよひ

のつこもりにおもしろうさきたりける神 ②あめ—あめの大神 おりて—をりて大—よみて神 たてまつらす

とてよめる—たてまつる大 ③しみて—しひて神 おりつる—をりつる大神 年の内に—ふちのはな神 いく

かもあらし—けふをしかり大神

塗 ①おとろへたる—をとろゑたる不 家—いゑ不 うへたる—うゑたる不 やよひのつこもりにその目—いと

もしろうさけりけりやよひのつこもり—不群丹 ②あめ—あめの不群丹 人のもとへ—人のもとに不群丹 お

りて—をりて不 たてまつらすとてよめる—たてまつるとて不群丹 ④おりつる—をりつる不 年の内に—藤

はな不—藤のはな群丹

昔男所住家爾藤花殖有人在計利彌生晦爾其日雨曾保岩爾人之許江折而奉與而讀

活乍社推而所折年中爾春者幾日毛不有與思江波

眞 ①藤花殖有人—藤花植(殖)有人天

二 むかし左のおほいまうちきみいまそかりけりかも河のほとり 1

に六條わたりに家をいとおもしろくつくりてすみたまひけり 2

神な月のつこもりかたきくの花うつろひさかりなるにもみち 3

のちくさにみゆるおりみこたちおはしまさせて夜ひとよさけ 4

のみしあそひてよあけもてゆくほとにこのとのおもしろき 5

をほむるうたよむそこにありけるかたゐをきなたいしきのし 6

たにはひありきて人にみなよませはてよめる 7

しほかまにいつかきにけむあさなきにつりするふねはこゝ 8

によらなんとなむよみけるはみちのくにいきたりけるにあ 9

やしくおもしろき所くおほかりけりわかみかと六十よこく 10
 の中にしほかまといふ所にたるところなかりけりされはな 11
 むかのおきなさらにこゝをめてしほかまにいつかきにけむ 12
 とよめりける 13

天

①かも河かもの河東 ②かたるをきなかたるおきな紹色東 たいしきのしたにはひありきていたしきのしたにはひありきて東 ③とよめりけるとよめりけり實とよめりけり(る)三

武

①左のおほいまうちきみ 左のおほいまうちきみ高 ②神な月のつこもり 神な月つこもり高 ③かたるをきなかたるおきな高 たいしきのしたにはひありきていたしきのしたにはひありきて四岩高 ④しほかまにいつかヨリとよめりけるマデナシ尊 ⑤となむよみけるはとなむよみける四岩尊高となむよみけるは宮

流

②家いゑ一 ③うつろひうつろふ七 もみちの隆 ④おはしませせておはしませせて雅 さいけのみしさいけのみして七 ⑤あそひてあひて雅 あけてゆくあけてゆく千 ⑥かたるをきなかたるおきな七隆豊かたるおきな飛山明一奈雅かたるおきな片 たいしきのしたにはひありきていたしきのしたにはひありきて千いたしきのしたにはひありきて七飛山明一隆奈豊片 ⑦となむよみけるはとなむよみける七明隆奈片 いたしきのしたにはひありけるに奈 ⑧わかみかとわかみか七

古

①左のおほいまうちきみ 左のおほいまうちきみ榮 左ノヲホイマウチキミ時 いまそかりけり いまそかりける慈 ほとりにほとり良 ②家をいゑ爲イエヲ時 すみたまひけりすみたまひける慈すみ給ふ宵 ③さくの花うつろひさかりなるに菊の花うつろひさかりなるに榮 ④みゆるおりにみゆるをり爲時 みこたちみこたちに相 おはしませせておはしませせて宵ヲハシマサセテ時 さけのみしさいけのみして宵 ⑤あけてゆくあけてゆく相 ⑥かたるをきなかたるおきな良榮時かたるおきな宵 たいしきのしたにはひありきていたしきのしたにはひありきて相 ⑦たいしきのしたにはひありきて爲 たいしきのしたにはひありきて承 たいしきのしたにはひありきて榮 いたしきのまたにさひありきて慈 イタシキノシタニハイアリキテ時 ⑧よませはてよませはて榮よませせて最よめるよめり慈 ⑨こゝによらなんこゝ(と)によらなむ榮 ⑩となむよみけるはとなむよみける慈時とよみけるは最 いきたりけるに行たりけるに榮 あやしうあやしう最 ⑪おほかりけりおほかりき慈ヲホカリケリ時 わかみかとわかみこと承 六十よこくの中に六十よしうの中最 ⑫なかりけりなかりける良慈なかりけり榮 されはなむされは宵最 ⑬おきなをきな爲最 めてめてしか慈 ⑭とよめりけるとはよめりける相と讀ける宵 ⑮むかし左のおほいまうちきみいそかりけり これもしらはのをとそむかし左のおほいまうちきみ大 これもおなしみきのおとそむかし左大ほいまうちきみ神 かも河のほとりにナシ大神 ⑯六條わたりは九條のさとに大六條のさとに神 家をいゑを大神 いとおもしろくまたく大またなく神 すみたまひけりすみけり大神 ⑰つこもりかたつこもり大神 さくの花うつろひさかりなるにさくのはなのう

大

つろへるさかりに大神 もみちのちくさにみゆるおりにナシ大神 ④おはしませせてははしませせて大 夜
 ひとよナシ大神 ⑤あけもてゆくほとに―あけもてゆくに大―あけゆくに神 おもしろきをほむるうたよむ
 ―をもしろきをほむるに歌やみなからしもよむ大 ⑥そこにありける―しかる中にそこそにありける大 ⑦かた
 めをきな―かたひをきな大神 たいしきのしたにはひありきて―いたしきのしたをひありきて大―いたしき
 のしたにはひありきて神 ⑦人に―人人神 よめる―ナシ神 ⑧あさなきに―あさなけに大 ふねはこゝによ
 ちなん―ふねの心(こゝに)よらん大―あまのこゝによらなむ神 ⑨となむよみけるは―ナシ大―とよみける
 は神 ⑩きたりけるに―ゆきたりけるに大―いまたありけるに神 ⑩所ノ―ところ大神 わかみかと―ナシ
 大 六十よこくの中に―六十箇國のなかにこの神 ⑪されはなむ―されは神 ⑫おきな―をきな大―をきなは
 神 こゝを―心を大 ⑬とよめりける―とはよめる大―とよめる神

塗

①左のおほいまうちきみ―ひたりのおほひまうちきみに不―左のおほひまうち君群丹 いまそかりけり―いま
 そかりける不群丹 ほとりに―ほとり不 ②わたりに家―ナシ不群丹 ③つこもりかた―つこもりかたに不群
 丹 きくの花うつろひさかりなるに―菊花うつろひて不群丹 もみちのちくさにみゆるおりに―本草の色ちくさ
 なるころ不群丹 ④夜ひとよ―ナシ不群丹 さけのみしあそひて―さけのみあそひて不群丹 ⑤あけもてゆく
 ほとに―あけゆくまゝに不群丹 おもしろきをほむるうたよむ―おもしろきよしほむる歌よむに不群丹 ⑥そ
 こにありける―そこなりける不群丹 かたゐをきな―かたいをきな不―かたいおきな群丹 たいしきのしたに
 はひありきて―哲人によませはてゝ不群丹 ⑦人にみなよませはてゝ、いたしきのしたをひありきて不群丹

⑧となむよみけるは―とよめるは不群丹 あやしう―あやしう群丹 ⑨かの―この丹 おきな―をきなも不―
 おきなも群丹 さらにこゝを―ナシ不群丹 しほかまにいつかきにけむとよめりける―しかはよめるなりしほ
 かまうきしまのかたをつくりけるとなむ不群丹 しほかまノか一字分空白原本ニ蟲損アリタルナルベシ不

昔左大臣在計利賀茂河邊六條渡爾家乎最面白造而住給計利應鐘之晦菊花移江流榮親
 王達令御坐而一日一夜酒飲爲遊而夜明以而行程爾此殿之面白乎譽歌上中下讀爾所爾
 在計流難叟人板敷之下爾這行而人爾皆讀世終而讀流

鹽繩爾幾時歟將來朝奈疑爾釣爲流船者此爾頼何諾何讀計流者三津國江往有計流爾
 對面白所々多借計利吾大王六十余州之中爾鹽繩與云所爾似有所無借計利然者何彼叟
 人者此所乎日出而鹽繩爾幾時將來與者讀計流

眞 ①菊花移江流榮―菊花移江流榮紅葉千種見流時九―菊花移江流榮紅葉千種見流時天 親王達―親王天 ②
 夜明以而行程爾―明以而行程爾天 ③鹽繩爾―鹽繩爾天 ④鹽繩 鹽繩天 ⑤此所乎―更此所乎天 鹽
 繩爾―鹽繩爾天 讀計流―讀計利九―讀利計流天

三 むかしこれたかのみこと申すみこおはしましけり山さきのあ 1

なたにみなせといふ所に宮ありけり年ことのさくらの花さか
 2
 りにはその宮へなむおはしましけるその時右のむまのかみな
 3
 りける人をつねにゐておはしましけり時世へてひさしくなり
 4
 にければその人の名わすれにけりかりはねむころにもせてさ
 5
 けをのみのみつゝやまとうたにかゝれりけりいまかりするか
 6
 たのゝなきさの家そのゐんのさくらことにおもしろしその木
 7
 のもとにおりゐて枝をゝりてかさしにさしてかみなかしもみ
 8
 な歌よみけりうまのかみなりける人のよめる
 9

世中にたえてさくらのなかりせははるの心はのとけからま
 10
 しとなむよみたりける又人のうた
 11

ちれはこそいとゝさくらはめてたけれうき世になにかひさ
 12
 しかるへきとてその木のもとはたちてかへるに日くれになり
 13

ぬ御ともなる人さけをもたせて野よりいてきたりこのさけを
 14
 のみてむとてよき所をもとめゆくにあまの河といふところに
 15
 いたりぬみこにむまのかみおほみきまいるみこのゝたまひけ
 16
 るかた野をかりてあまの河のほとりにいたるを題にてうたよ
 17
 みてさか月はさせとのたまうければかのむまのかみよみてた
 18
 てまつりける
 19

かりくらししたなはたつめにやとからむあまのかはらに我は
 20
 きにけりみこうたを返ゝすしたまうて返しえしたまはずきの
 21
 ありつね御ともにつかうまつれりそれか返し
 22

ひとゝせにひとたひきます君まてはやとかす人もあらしと
 23
 そ思かへりて宮にいらせ給ぬ夜ふくるまでさけのみ物かたり
 24
 してあるしのみこゑひていりたまひなむとす十一日の月もか
 25

くれなむとすれはかのむまのかみのよめる

26

あかなくにまたきも月のかくるゝか山のはにけていれすも

27

あらなんみこにかはりたてまつりてきのありつね

28

をしなへて峯もたひらになりなゝむ山のはなくは月もいら

29

しを

30

天

⑥さけをのみのみつゝさけをのみつゝ東 ⑧かゝれりけりかゝれりける東 ⑨おりゐておりて冷 ⑩あ
まの河のほとりにあまの河に(ノ)ほとりに色

武

①あなたにあなた高 ⑤さけをのみのみつゝさけをのみつゝ尊 ⑦なきさの家なきさのいへ四岩宮な
きさのいゑ高 ⑧をりておりて四岩宮高 かさしにさしてかさして高 ⑨うまのかみなりける人のよめ
るむまのかみなりける人のよめる高 ⑩うまのかみなりける人よめる尊 ⑪みこのたまひけるみこのたま
ひける尊 ⑫みこのたまふける高 ⑬のたまうければのたまふければ高 ⑭つかうまつれりつかうまつれり
けれり高 ⑮むまのかみのよめるむまのかみよめる尊 ⑯山のはにけて山のにけて四岩

流

②に宮ナシ雅 花さかりに花のさかりに一片 ③宮へなむ宮なん七 ⑦なきさの家なきさのいへ山
なきさのいへ山 ⑧おりゐてをりゐて片 ⑨おりておりて千七一隆奈豊片 ⑩歌うたを奈うまのかみ

古

なりける人のよめるむまのかみなりける人のよめる七一奈 ⑩さくらばさくらの奈 ⑪かへるにかへる
に隆 ⑮あまの河あまのかはら片 ⑯みこのたまひけるみこのたまひける千みこの給ひける片 ⑰ほ
とりにほとり雅 ⑱のたまうければのたまひければ明豊のたまふければ奈片雅 ⑳みこうたをみこ此
歌を七 返すしたまうて返々すし給て七雅 返々すしたまふて明隆片 返しえしたまはずかへしはした
まはず片 ㉑つかうまつれりつかうまつれり片 ㉒あひてえひて片 ㉓むまのかみのよめるむまのかみ
よめる豊 ㉔たひらにたいらに飛山明一奈豊片雅 いらしをいらしに隆
①おはしましけりおはしけり最ヲハツマシケリ時 あなたにあなた宵 ②ありけりありける慈 ③そ
の宮へなむおはしましけるその宮へおはしましける宵そのゐんへおはしける最ソノミヤエナムヲハシマ
シケル時 右のむまのかみなりける人をみきのむまのかみなりけるを慈むまのかみなりける人を最 ④る
ておはしましけりゐておはしましける慈キテヲハシマシケリ時 ⑤その人の名その人最 わすれにけり
かりはわすれにければ慈 さけをのみのみつゝさけののみつゝも慈さけをのみつゝ宵さけをのみ最
⑥かゝれりけりかゝりにけり最 いまいまは最 ⑦なきさの家そのゐんのさくらなきさのいゑそのゐん
のさくら爲なきさのいへそのゐんのさくら慈なきさのゐんの櫻宵なきさのゐんそのゐんの櫻最時 こと
にコトニ時 ⑧おりゐてをりゐて榮最をりておりて長承榮慈宵時 かみなかしもみなかみなりしもみ
な慈かみ中しも最 ⑨うまのかみなりける人のよめるむまのかみなりける人のよめる良宵最時 ⑩なかり
せはサカサラハ時 ⑪となむよみたりけるとなむよみたりけり榮となむよめりける最 ⑫木のもとには

木のもとに慈 かへるにカエルニ時 ⑮さけをもたせてさけを持って宵 ⑯もとめゆくにもとめてゆくに承 ⑰いたりぬゝたりぬ宵 みこにむまのかみみこむまのかみなる人に宵 おほみきツホミキ時 まいる給なとする宵 まいらせける最 みこのたまひけるみこの玉うける相良みこの玉ひける宵最 ⑱かりてかりして宵 いたるゝたる宵 題にてうたよみてたるにてうたよみ最 ⑲さか月はさかつきは承 のたまうければのたまふければ爲榮宵時のたまひける最 たてまつりけるたてまつりけり最 ⑳みこうたをみここの歌を相榮宵 すしたまうてすしたまふて爲時すしたまひて良榮宵ナシ最 返しえしたまはず返し(がへず)えすしたまはず最 ㉑御ともに御もともに承 つかうまつれりつかうまつりけり最ツカフマツレリ時 返し返事最カヘ(エ)シ時 ㉒君までは君なれ(まて)は最 やとかす人もやとかす人は最 ㉓かへりてかへりて最カエリテ時 いらせ給ぬいらせたまるぬ最 夜ふくるまで夜ふくるまでは爲榮夜ふけてまで慈 夜ふくるまでヨリいらたまひなむとす迄ナシ最 ㉔あひてエイテ時 いらたまひなむとすイリ給ヒテナムトス時 十一日の月もかくれなむとす補入承 ㉕むまのかみのむまのかみ最 ㉖またきもまたきも(早くも)最 かくるゝかかくるゝは慈 にかけて良にけは(て)榮 ㉗かはりたてまつりてカハラタテマツリテ時 ㉘をしなへておしなへて最 たひらにいたいらに承宵時 山のはなくはやまのはにけて爲山のはにけは榮 いらしをかくれし(入らしを)最

大

①これたかのみこと申すみここれたかと申みこ大 惟高のみこと申神 おはしましけりをはしましけり大 ②みなせ みな大 花さかりにははなさかりに大 ③その宮へなむおはしましけるかしこへなんかまかをはしましける大 かしこへなむおはしましける神 その時そのときの大 有のむまのかみなりける人をみきのむまのかみなりける人を神 ④ゐておはしましけりゐてをはしましけり大 ゐておはしましける神 時世へてひさしくときよいくひさしう神 ⑤かゝれりけりかゝれり大 かゝれりける神 ⑥なきさの家なきさいゑ大 なきさいゑのいへ神 おもしろしをもしろく大 その木のもとにそのき(はな)のも(した)に大 ⑦おひりてをりて大 さしてさしにさして神 かみなかしもみなかみからしも大 ⑧みなかしもに神 歌よみけり歌よむ大神 ⑨うまのかみなりける人のよめるむまのかみなる人のよめる大 ⑩むまのかみなりける人よめる神 ⑪たえてたへて神 ⑫となむよみたりけるとよめりければ大神 又人のうた又ある人大神 ⑬とてとよみて大神 木のもとにはきのもとへ大 木のもとを神 日くれになりぬ日くれにけりその神 ⑭いてナシ神 このさけをのみてむとてこのさけをのみてむせて神 ⑮よき所をさよきとを大神 ⑯みこのたまひけるみこの給ける大 ⑰あまの河あまのかはら大 ⑱のたまうければの給ければ大神 かのナシ大神 ⑲うたをこの歌を大神 ⑳つかうまつれりつかうまつりて大神 ㉑いらせ給ぬいらせたまひぬ神 さけのみさけをのみみ大 ⑳さけのみし神 ㉑あひて大 ナシ神 いらたまひなむとすいらたまひなむす神 十一日の月も十一日の月大 かくれなむとすればかくれなんとすそれに大神 ㉒むまのかみのむまのかみ大 ㉓いれすもいらすも神 ㉔たひらにいたいらに神 ①これたかのみこと申すみここれたかとさきこゆるみこ不群丹 おはしましけりおはしけり不群丹 ②花さかりには花さかりに不群丹 ③その宮へなむおはしましけるかしこへなむおはしましける不かしこへ

塗

はしましける大 かしこへなむおはしましける神 その時そのときの大 有のむまのかみなりける人をみきのむまのかみなりける人を神 ④ゐておはしましけりゐてをはしましけり大 ゐておはしましける神 時世へてひさしくときよいくひさしう神 ⑤かゝれりけりかゝれり大 かゝれりける神 ⑥なきさの家なきさいゑ大 なきさいゑのいへ神 おもしろしをもしろく大 その木のもとにそのき(はな)のも(した)に大 ⑦おひりてをりて大 さしてさしにさして神 かみなかしもみなかみからしも大 ⑧みなかしもに神 歌よみけり歌よむ大神 ⑨うまのかみなりける人のよめるむまのかみなる人のよめる大 ⑩むまのかみなりける人よめる神 ⑪たえてたへて神 ⑫となむよみたりけるとよめりければ大神 又人のうた又ある人大神 ⑬とてとよみて大神 木のもとにはきのもとへ大 木のもとを神 日くれになりぬ日くれにけりその神 ⑭いてナシ神 このさけをのみてむとてこのさけをのみてむせて神 ⑮よき所をさよきとを大神 ⑯みこのたまひけるみこの給ける大 ⑰あまの河あまのかはら大 ⑱のたまうければの給ければ大神 かのナシ大神 ⑲うたをこの歌を大神 ⑳つかうまつれりつかうまつりて大神 ㉑いらせ給ぬいらせたまひぬ神 さけのみさけをのみみ大 ⑳さけのみし神 ㉑あひて大 ナシ神 いらたまひなむとすいらたまひなむす神 十一日の月も十一日の月大 かくれなむとすればかくれなんとすそれに大神 ㉒むまのかみのむまのかみ大 ㉓いれすもいらすも神 ㉔たひらにいたいらに神 ①これたかのみこと申すみここれたかとさきこゆるみこ不群丹 おはしましけりおはしけり不群丹 ②花さかりには花さかりに不群丹 ③その宮へなむおはしましけるかしこへなむおはしましける不かしこへ

なんかよ給ひける群丹 右のむまのかみなりける人を―右馬頭なりける人まいりつかふまつりければ御とも
 にをくらかしたまはて不―むまのかみなりける人まいりつかうまつりければ御供におくらかし給はて群丹 ④
 ゐて―いて不 時世へてひさしくヨリいまかりするかたのゝマデナシ不群丹 ⑦なきさの家そのゐんのさくら
 ―なきさのゐむのさくら不群丹 おもしろし―おもしろくさけり不群丹 その木のもとに―きのもとに不群丹
 ⑧おりゐて―をりゐて不 枝―ゑた不 をりて―おりて群丹 かみなかしもみな―皆人不群丹 ⑨歌よみけり
 ―歌をよむに不群丹 うまのかみなりける人のよめる―うまのかみなりける人のよめり不群丹 ⑩たえて―た
 えて不 なかりせば―さかさらは不群丹 ⑪となむよみたりける―ナシ不群丹 又人のうた―又人(ちればこ
 そノ歌ノ上ニ書入レタリ)不―また人群丹 ⑫めてたけれ―あはれなれ不群丹 うき世になにか―なにかうきよ
 に不群丹 ⑬とてその木のもとはたちてかへるに目くれになりぬ―昔をなしみこかたのにかりしありき給ける
 に右馬頭なりける人かならず御供にゐてありき給けり不―むかしおなしみこ交野に狩しありき給けるに馬
 かみなりける人かならず御供にゐてありき給ひけり群丹 ⑭御ともなる人―れいのことありき給ふにこの人
 不群丹 さけをもたせて―かめにさけをいれて不群丹 野よりいてきたり―のにもていてたり不群丹 このさ
 けをのみてむとて―のまむとて不群丹 ⑮よき所を―きよき所不群丹 あまの河―あまのかわ不 ⑯みこにむ
 まのかみ―右馬頭不―むまのかみ群丹 おほみき―御みき不 ⑰あまの河のほとりに―あまのかはらに不群丹
 ⑱さか月は―さかつき群丹 のたまうければ―の給ければ不群丹 かのむまのかみ―ナシ不群丹 たてまつり
 ける たてまつり不群丹 ⑲みこにむまのかみ ときこえければこの歌をみこ不―ときこえければ此―をみこ群

丹 返すすしたまうて―返ノ、詠給て不―かへすノ、詠たまうて群丹 返しえしたまはず―かゑしゑしたまは
 す不 ⑳つかうまつれり、つかふまつりたりけるか不―つかうまつりたりけるか群丹 それか返し―返不群丹
 ㉑かへりて―かゑりて不 ㉒いりたまひなむとす―いりたまひなむとす不 十一日の月も―十日あまりの月
 不群丹 かくれなむとすれば―かくれなむとすそれに不群丹 ㉓むまのかみの―うまのかみなりける人の不―
 むまのかみなりける人の群丹 ㉔かはりたてまつりて―かはりて不群丹 ㉕いらしを―かくれし不群丹

昔惟高親王與申御子御坐計利山崎遠有水無瀬爾宮在計利每年之櫻花榮爾者其宮江何
 御坐計流其時右馬頭有計流人乎常爾將而御坐計利時代經而久成爾計禮波其人之名者
 摺爾計利狩者懇爾毛不爲酒乎吞乍倭歌爾懸禮利計利今狩爲流片野之奈疑佐院之櫻殊
 面白師其木之本爾下居而枝乎折而挿頭爾搓而歌讀計利彼右馬頭成計流人之讀
 世中爾不絶櫻之無爲者春之心者可乍閑諾何讀多利計流又人歌
 散者社痛櫻者目出多計禮浮世爾歎可久在諾讀而其木本者立而還爾日沒爾成怒御
 共有人酒乎持世而從野出來此酒乎將吞與而潔所乎覓行爾天河與云所爾到怒親王右馬
 頭御三寸進親王言計流片野乎駕而天河之邊爾到乎題爾而歌乎讀而蓋者指與言計禮者
 彼右馬頭讀而上計流

1 2 3 4 5 6 7 8 9

鴉夜師棚機躡爾屋戸將借漢河原爾吾者所來親王此歌乎返々頰給而返得作不給紀有
常御共爾祝承而其返

一年爾一度來坐君成者屋門借人毛不有與社思還而宮爾入世給怒至夜更酒飲談志而

主之御子醉而入給何與爲禮者十一日之月毛隱何與爲左彼右馬頭讀

莫飽未幾毛月所隱歟山未逃而不入毛有何親王爾代奉而紀有常

押並而峯毛平爾成勿何山葉無者月毛不入乎

眞

①御子ナシ天 ②面白師面白天 歌讀計利上中下皆歌讀計利天 ③諸何讀多利計流又人歌諸讀

利計禮者或人内桂九 諾何讀多利計禮者或人天 ④寛行爾寛流爾内桂九天 親王親王爾天 ⑤彼右

馬頭讀而彼右馬頭而九 ⑥祝承而祝承利而天 其返其之返内桂九天

三 むかしみなせにかよひ給しこれたかのみこれいのかりしにお
はしますともにうまのかみなるおきなつかうまつれり日ころ
へて宮にかへりたまうけり御をくりしてとくいなんとおもふ
におほみきたまひろくたまはむとてつかはさゝりけりこのむ

まのかみ心もとなかりて

まくらとて草ひきむすふこともせし秋の夜とたにたのまれ
なくにとよみける時はやよひのつこもりなりけりみこおほと
のこもらてあかし給てけりかくしつゝまうてつかうまつりけ
るをおもひのほかに御くしおろしたまうてけりむ月におかみ
たてまつらむとて小野にまうてたるにひえの山のふもとなれ
は雪いとたかししゐてみむろにまうてゝおかみたてまつるに
つれ／＼といと物かなしくておはしましければやゝひさしく
さふらひていにしへのことなと思ひいてきこえけりさてもさ
ふらひてしかなとおもへとおほやけことゝもありければえさ
ふらはてゆふくれにかへるとて
わすれては夢かと思おもひきやゆきふみわけて君をみむ

とはとてなむなくノきにける

天

③かへりたまうけりかへりたまふけり紹かへりたまふ(ヲ)けり色 ④おほやけことゝもありければおほやけこともありければ玄 ⑤とてなむなくノきにけるナシ色

武

②つかうまつれりつかふまつれり高 ③かへりたまうけりかへりたまふけり高 御をくり御おくり高 ⑦やよひのつこもりなりけりやよひつこもりなりける高 ⑧あかし給てあかしたまうて四岩宮尊あかしたまふて高 ⑨おろしたまうてけりおろしたまふてけり高 ⑩思ひいてきこえけり思ひいてきこえけり四岩宮尊高 さふらひてしかなさふらひてしかな高

流

②ともに御ともに一 うまのかみむまのかみ千七山明一隆奈豊雅 つかうまつれりつかふまつれり片雅 ③かへりたまうけりかへり給ふけり奈片雅かへり給けり豊 ④このむまのかみむまのかみ七片 ⑦おほとのこもらておほとのこもりして明 ⑧あかし給てけりあかしたまうてけり千山一あかし給ふてけり七飛隆奈豊片雅あかし給うて有けり明 つかうまつりけるをつかふまつれりけるを片 ⑨おろしたまうてけりおろし給ふてけり七奈片雅 おかみをかみ千豊 ⑩小野にをの山明豊片 まうてまで千 ⑪みむろにむろに千かのみむろに七 おかみをかみ千七豊 ⑫いにしへのことなといにしへのことなと明いにしへのことなと雅 思ひいてきこえけりおほひいてきこえけり千七飛山明一奈豊片雅 ⑬おほやけことゝもありければおほやけこと有ければ千おほやけことゝもありければ豊 ⑭きにけるきにけり千明 ①かまひ給し かまひたまひし最 れいのれいの最 かりにおほはしますかりおほはします時 ②とも

古

に御ともに宵最 うまのかみなるおきなむまのかみなるおきな相良宵時 うまのかみなりおきな慈ナシ ②つかうまつれりツカフマツレリ時 ③宮にかへりたまうけり宮にかへりたまふけり(る)爲 宮にかへりたまふてけり榮宮かへりたまうけり慈みやへかへりたまひけり宵宮にかへりたまひけり最宮ニカハリ給マケリ時 ④おほみきヲホミキ時 たまひたまる最 たまはむたまはらむ承このむまのかみこのむまの最 ⑥ことせしトコ(コト朱)モセシ時 ⑦やよひのつこもりやよひつこもり爲 なりけりなり承なりける慈 みこおほとのこもらてあかし給てけりナシ最 おほとのこもらておほとのこもりて榮ヲホトノコモラテ時 ⑧あかし給てあかしたまうて相良承慈あかし給ふて爲時 まうてつかうまつりけるをつかうまつりけるに最マウテツカフマツリケルヲ時 ⑨おろしたまうてけりをろし給てけり爲おろし給てけり良おろしたまふてけり最おろしたまふてけり榮ヲロシタマフテケリ時 おかみたてまつらむとておかみたてまつりてむとて最 ヲカミタテマツラムトテ時 ⑩小野におのに爲をのに慈時 小野といふ所に宵 まうてたるに爲まうてたるに承まふてたるに最 ⑪しるてしひて爲しむひて宵 みむろにまうてみむろにまうて良かの御むろにまうて榮みむろにまふて最 おかみたてまつるにおかみたてまつり最 ヲカミタテマツルニ時 ⑫いと物かなしくいと物かなしく最 おはしましければおはしければ最 ヲハシマシケレハ時 やよひさしくやよひさしく承ひさしく宵 ⑬いにしへのイニシエノ時 などなんと承最 思ひいてきこえけり思いてきこえけり相良承慈宵時 さてもさふらひてしかなさてしもさふらひてしかな最 ⑭おほやけことゝもありければおほやけことゝもあり

りければ最一ヲホヤケコト、モアリケレハ時 ⑤かへるとて一まかりかへるとて宵一カエルトテ時 ⑥夢かと思一夢と思ふ榮 ⑦とてなむ一とよみてなん良一となむ最一トテ時 きにける一きにけり承慈最時一かへりにけり宵

大

①かりしにおはします一かりしにをはします大 ②ともに一御供に神 うまのかみなるおきな一むまのかみなるをきな大一むまのかみなるおきな神 ③宮にかへりたまうけり一みやにかへり給ける大神 ④おほみき一御みき大神 この一ナシ大 ⑤まくら一むくら大 こともせし一事もなし大一こともおほし神 ⑥あかし給てけり一あかし給けり大神 まうてつかうまつりけるを一まいりつかうまつりけるを大一まいりつかうまつりけるを神 ⑦おろしたまうてけり一をろさせ給てけり大一おろしたまひてけり神 おかみたてまつらむとて一をかみたてまつらんとて大 ⑧小野に一をのに大神 ひえ一ひへ神 ⑨おかみたてまつるに一をかみたてまつるに大 ⑩いと物かなしくて一物かなしうて大神 おはしましければ一をしましければ大 ⑪思ひいてきこえけり一思いてきこえけり大一おもひいてきこへけり神 ⑫おほやけこと一もありければ一おほやけことのおほやけは大一おほやけこともありければ神 えさふらはて一えさふらひはて神 ⑬かへるとて一かへるとてよめる大神 ⑭とてなむ一とよみてなん大神 きにける一きにけり大神

塗

①かよひ給し一かよひ給不群丹 かりしにおはします一かりしありき給にけり不群丹 ②ともに一御共に不群丹 うまのかみなるおきな一右馬頭なりけるをきな不一うまのかみなりけるおきな群丹 ③宮にかへりたまうけり一みやにかへり給にけり不群丹 ④おほみき一御みき不一みくらたまはむとてつかはささりけり一みくらたまはむとてつかはささりけり不群丹 このむまのかみ一ナシ不群丹 ⑤心もとなかりて一こゝろもとなかりて不群丹 ⑥とよみける時は一とよみければ不群丹 おほとのこもらて一御とのこもらて不 ⑦あかし給てけり一あかし給けり不群丹 まうてつかうまつりけるを一まいりつかうまつりけるを不一まいりつかうまつりけるを群丹 ⑧おろしたまうてけり一をろさせ給てをのといふところにすみ給けり不一おろさせ給て小野といふ所にすみ給ひけり群丹 む月一二字分空白原本ニ蟲損アリタルベシ不 おかみたてまつらむとて一をかみたてまつらむとて不 ⑨小野に一ナシ不群丹 ひえ一ひえ不 ⑩おかみたてまつるに一をかみたてまつるに不 ⑪いと物かなしくて一いともかなしうて不群丹 やゝひさしく一やゝひさしう不 ⑫思ひいてきこえけり一思いてきこえさせけり不一思ひ出て聞えさせけり群丹 ⑬とおもへと一とおもへとも不群丹 おほやけこと一もありければ一おほやけ事もあれば不群丹 えさふらはて一えさふらはて不 ⑭ゆふくれに一くれに不群丹 かへるとて一かあるとてよめる不一かへるとてよめる群丹 ⑮とてなむ一とよみて不一とよみてなん群丹 きにける一かゑりにけり不一かへりにける群丹

昔水無瀬爾通給志惟高親王例之狩師爾御坐御共爾右馬頭有計流翁祝承日比没而宮爾
還給計利御逐爲而速還何與思爾御酒賜祿將賜左不遣計利此右馬頭心本無賀利而 2
枕左草彈結事毛不爲秋之夜常多爾手飲莫諾讀計流時者沾洗之晦成計利親王毛御殿 3
不籠明給而計利是爲乍參祝承計流乎思之外爾御櫛尾呂師給而計利大簇爾拜將上左小 4

野爾詣而有爾比叡山之麓成者六出最高稚而御室爾詣而拜奉爾徒然與最物金敷而御坐
計禮者良久侍而古之言何與思出而聞江計利然裳候而志哉與思與公事在計禮者得不待
日暮爾還左讀流

忘而者夢歟與社思念來哉雪踏別而君乎將見與波諾讀而何泣哭來逃流

眞

- ① 日比没而 日没而天
- ② 御逐爲而 御逐爲而内桂
- ③ 御送爲而天 御酒賜
- ④ 沽洗
- ⑤ 姑洗天
- ⑥ 尾呂師給而計利
- ⑦ 尾呂師給計利内桂
- ⑧ 尾呂師而給計利九
- ⑨ 良久侍而
- ⑩ 良久御(侍)而内桂
- ⑪ 良久御而
- ⑫ 得不待
- ⑬ 得不待内桂九
- ⑭ 讀流
- ⑮ 讀天
- ⑯ 諸讀而何泣哭來逃流
- ⑰ ナシ天

八四 むかしおとこ有けり身はいやしなからは、なん宮なりけるそ
 のは、なかをかといふ所にすみ給けりこは京に宮つかへしけ
 れはまうつとしけれとしはくえまうてすひとつにさへあ
 りけれはいとかなしうし給ひけりさるにしはすはかりにとみ
 のことゝて御ふみありおとろきてみればうたあり
 老ぬれはさらぬわかれのありといへはいよくみまくほし

6 5 4 3 2 1

きゝみかなかのこいたうゝちなきてよめる

世中にさらぬわかれのなくも哉千よもといのる人のこのた
め

7 8 9

武

- ⑧ ひとつここにさへひとつに高
- ⑨ 千よもといのる
- ⑩ ちなきてよめる

流

- ② すみ給けり
- ③ すみたまふけり
- ④ かなしう
- ⑤ かなしふ片
- ⑥ し給ひけり
- ⑦ したまうけり
- ⑧ 千
- ⑨ おとろきて
- ⑩ おとろき片
- ⑪ 老ぬれは
- ⑫ おいぬれは
- ⑬ 飛山隆
- ⑭ おひぬれは
- ⑮ 一
- ⑯ いたう
- ⑰ いたふ片

古

- ① おとこ
- ② をとこ相
- ③ 宮なりける
- ④ そのは
- ⑤ ナシ最
- ⑥ すみ給けり
- ⑦ すみ給ける
- ⑧ 慈
- ⑨ すみたまふけり
- ⑩ 最
- ⑪ 宮つ
- ⑫ かへ
- ⑬ 宮つかえ
- ⑭ 爲最時
- ⑮ まうつ
- ⑯ としけれ
- ⑰ と
- ⑱ まふつ
- ⑲ としけれ
- ⑳ も最
- ㉑ ひとつこ
- ㉒ にさへ
- ㉓ ヒトツコ
- ㉔ ニサエ時
- ㉕ し給ひけり
- ㉖ したまうけり
- ㉗ 相
- ㉘ したまひけり
- ㉙ 最
- ㉚ 御ふみあり
- ㉛ 御ふみありけ
- ㉜ り良
- ㉝ おとろきて
- ㉞ をとこ最
- ㉟ 老ぬれは
- ㊱ おいぬれは
- ㊲ 爲慈
- ㊳ をいぬれは
- ㊴ 宵時
- ㊵ わかれの
- ㊶ わかれも良
- ㊷ いへ
- ㊸ は
- ㊹ きけは
- ㊺ 承
- ㊻ イエハ時
- ㊼ いたう
- ㊽ イタフ時
- ㊾ ちなきてよめる
- ㊿ ちなきて
- 1 榮
- 2 ちなきて最

大

- ① は
- ② ちなん
- ③ 宮なりける
- ④ は
- ⑤ ちみ
- ⑥ かなりけり
- ⑦ 大
- ⑧ 母は
- ⑨ み
- ⑩ かなりけり
- ⑪ 神
- ⑫ まうつ
- ⑬ としけれ
- ⑭ と
- ⑮ まうつ
- ⑯ としけれ
- ⑰ も大
- ⑱ しは
- ⑲ しは
- ⑳ しは
- ㉑ しは
- ㉒ も神
- ㉓ おとろきて
- ㉔ をとろきて
- ㉕ 大
- ㉖ うたあり
- ㉗ うた
- ㉘ なりけり
- ㉙ 大
- ㉚ うたありけり
- ㉛ その歌は
- ㉜ 神
- ㉝ 老ぬれは
- ㉞ をひぬれは
- ㉟ 大
- ㊱ をぬれは
- ㊲ 神
- ㊳ かのこいたう
- ㊴ ちなきて
- ㊵ かのこいと
- ㊶ いたう
- ㊷ ちなきて
- ㊸ 大
- ㊹ かのこいと
- ㊺ いたう
- ㊻ ちなきて
- ㊼ 神
- ㊽ 千よもといのる
- ㊾ ちなきて
- ㊿ なくく
- 1 神

差 ①はゝなん宮なりけるゝはゝみこなりけり不群丹 ③しはゝゝしはゝゝも不群丹 えまうてすゝえまうてす
 不 ひとつここにさへゝひとりここにさへ不群丹 ④さるにゝさるほとに不群丹 ⑤おとろきてゝをとろきて不
 うたありゝこと事はなくて不群丹 ⑥老ぬれはゝをひぬれは不 わかれのゝわかれも不群丹 ⑦かのこいたう
 ゝちなきてよめるゝとなむありけるこれをみてむまにものりあゑすまいるとてみちすからおもひける不ゝとな
 ん有ける是をみて馬にものりあへすまいるとて道すからおもひける群丹 ⑧千よもといのゝちよもたとのむ
 不群丹

昔男在計利身者乍賤母何内親王有計流其母長岡與云所爾住給計利子者京爾宮仕爲計
 禮波諸與爲計禮與數毛得不詣一子爾副在計禮者最惜久爲給計利然爾大呂計爾富之言
 左御文在驚而見波

所老者不去別之在與云者彌見卷欲君哉諾在計利其乎見而馬爾毛乘不合甚痛打涙而
 道尙思計流

世中爾不去別之莫毛哉千世漢常齋人之子迺故
 眞 ②諸與爲計禮與ゝ諸與爲計禮與内桂九天 最惜久ゝ最悲久天 大呂計爾ゝ大呂許爾天 ⑥驚而見波ゝ驚
 而見波歌有天 ⑤思計流ゝ讀計流天

八五

昔おとこ有けりわらははよりつかうまつりけるきみ御くしおろ
 したまうてけりむ月にはかならすまうてけりおほやけのみや
 つかへしけれはつねにはえまうてすされともとの心うしなは
 てまうてけるになん有けるむかしつかうまつりし人そくなる
 せんしなるあまたまいりあつまりてむ月なれは事たつとてお
 ほみきたまひけりゆきこほすかことふりてひねもすにやます
 みな人ゑひて雪にふりこめられたりといふをたいにてうたあ
 りけり

おもへとも身をしわけねはめかれせぬゆきのつもるそわか
 心なるとよめりけれはみこいといたうあはれかりたまうて御
 そぬきてたまへりけり

天 ⑧えまうてすゝえまうてす冷 ⑨わけねはゝわけぬ(ね)は色 ⑩あはれかりたまうてゝあはれかりたまふ(う)

て色

武

①おろしたまうてけりーおろしたまふてけり高 ⑤まいりあつまりてーまいりあつまで四 ⑥こほすかことーこほすかことく高 ⑦ふりこめられたりといふをーふりこめられたるといふを高 ⑩みこいといたうーみこいといたう四岩 あはれかりたまうてーあはれかりたまふて高

流

①つかうまつりけるーつかふまつりける片雅 おろしたまうてけりーおろし給てけり明奈片ーおろし給ふてけり隆 ③つねにはーつねは奈 ④つかうまつりし人ーつかふまつりし人山片 ⑤せんしなるーせんしあ(な)る明 ⑥ひねもすーひめもす片 ⑦あひてーあいて千ーえひて片 ありけりーあり豊 ⑩みこいといたうーみこいたう千七ーみこいといたふ片 あはれかりたまうてーあはれかり給ふて七隆豊片雅ーあはれかり給て奈

古

①有けりー有ける慈 わらはーわらはへ宵 つかうまつりけるーツカフマツリケル時 おろしたまうてけりーおろしたまふてけり相承宵ーおろし給てけり爲良 ②おろしたまうてける慈ーおろしたまふてけり最ーツカケリ時 ②まうてけりーまふてけり最 おほやけのみやつかへしければーヲホヤケノミヤツカエシケレハ時 ③つねにはーつねにも良最 えまうてすーえまふてす最 されとーされとも宵ーサスレト時 もとの心うしなはてーもとノの心うしなはて承 ④まうてけるになん有けるーまふてけるになむ最 つかうまつりし人ーつかうまつりける最ーツカフマツラ(リ)シ人時 ⑤まいりあつまりてーまいりて最ーマイ(ヒ)リアツマリテ時 事たつとてー事たつといひて最 おほみきーヲホミキ時 ⑥たまひけりーたまふ最 こほすかことーこほすのこと爲ーこほすかことく最 ひねもすにやますーナシ最 ⑦あひてーあいて最ーアヒテ時 ありこめられたり

大

といふをーふりこめられたりといふ相 ーふりこめられたるたりといふを最 たいーたる最 ありけりーありける慈 ⑨おもへともーオモエトモ時 ⑩とよめりーとよみたり宵 みこいといたうー御いよノ最ーミコイトイタフ時 あはれかりたまうてーあはれかり給て爲良慈ーあはれかりたまふて最ーあはれかりたまふて榮宵時 ⑪たまへりけりーたまへり良ーたまへりける慈ー給けり宵ーたまふり最 ①わらはーわらわ神 おろしたまうてけりーをろし給てけり大 ②む月にはかならずまうてけりーナシ大 ③つねにはーつねにも神 されともとの心うしなはてーされともとの心をうしなはて大ーされとも事のこゝろをうしなはて神 ④まうてけるになん有けるーまうてたるになんありける大神 むかしーまたむかし神 つかうまつりし人ーつかうまつりし人の大神 ⑤せんしなるーせんしなる大神 事たつとてーことたへとて大 ⑥こほすかことーこほすこと大ーこほすこと神 ひねもすにーひめもす大ーひめもすに神 ⑦あひてーしひて神 ーふりこめられたりといふをーふりこめられたりといふ大神 ありけりーありける神 ⑨めかれせぬーめはかれぬ大神 ⑩とよめりければーとよみければ大神 みこいといたうーみこいと神 あはれかりたまうてーあはれかり給て大ーあわれかりて神 ⑪たまへりけりーかつけ給けり神

差

①つかうまつりけるーつかふまつりける不 おろしたまうてけりーをろし給てけり不 おろし給ふてけり群丹 ②む月にはーもとのこゝろうしなはしとてむ月には不群丹 おほやけのみやつかへしければーおほやけにみやつかゑしければ不 ③つねにはーしはノも不群丹 えまうてすーえまいらさりければと不 えまいらさりければと群丹 されともとの心うしなはてー心さしはかりはかはらさりければ不群丹 ④まうてけるになん有けるー

まうてたるにまた不群丹 つかうまつりし人 つかふまつりし人の不 つかうまつりし人の群丹 ⑤せんしなる 法師なる不群丹 あまたナシ不群丹 まいりあつまりてき(ま朱)いりあつまりて丹 事たつとてこ とたへとて不群丹 おほみき おほにふき不群丹 ⑥こほすかこと ⑦こほすかことく不群丹 ⑦ふりこめられ たりといふをふりこめられたるを不群丹 ありけりよまむといふに不群丹 ⑧おもへとも ⑨おもゑとも不 めかれせぬめはかれぬ不群丹 ⑩あはれかりたまうてあはれかりて不群丹 ⑪たまへりけりたまゑりけ り不

昔男在計利從童祝承君御串下給而計利大簇爾者必詣計利公之宮仕爲計禮波恒爾波得 不詣然而本之心乎不失詣計流爾昔祝承志人之俗有禪師有多參集而親月成者言立左御 神酒賜計利如是間爾塵落之如零而終日爾不停皆人醉而雪爾零被寵有與云乎題爾而歌 讀計利

雖思身乎志不別者目所離雪之積社吾情在諾讀計禮者親王最痛憐借給而御衣貫而 賜利計利

眞 ①公之宮仕爲計禮波 公之宮仕爲計禮者九 得不詣 不詣天 ②昔祝承志人之 昔祝承人々内桂九天 ③塵 玉塵内桂九天 歌讀計利 歌讀計流九 ④諾讀計禮者 諾讀利計禮者九天

1 2 3 4 5 6

六 昔いとわかきおとこわかき女をあひいへりけりをのくおや ありければつゝみていひさしてやみにけり年ころへて女のも とに猶心さしはたさむとや思けむおとこうたをよみてやれり けり 今までにわすれぬ人は世にもあらしをのかさまく年のへ ぬれはとてやみにけりおとも女もあひはなれぬ宮つかへに なんいてにける

1 2 3 4 5 6 7

天 ④やれりけりやれりける色重
武 ⑤うたをよみてうたよみて高 やれりけりやれりける四岩宮尊
流 ①あひいへりけりあひいへりけり明 ②猶ナシ豊 心さしはたさむとや思けむ心さしをはたさむとや思 けむ片 やれりけりやれりける七山一豊 ③いてにけるいてにける明
古 ①昔いとわかき昔イトワカキ時 おとこをとこ最 わかさ女を女を宵 あひいへりけりあゑりけり最 アヒイエリケリ時 をのくおのく爲 おやをや爲最時 ②ありければありけり最 女のもとに女

のもとへ承 ④おとこ—をとこ相 やれりけり—やれりける真承樂慈宵時 ⑤今までに—いままでも(に)爲—
いままでも最 世にもあらし—世もあらし宵最 をのか—おのか爲 へぬれは—いぬれは慈 ⑥おとこ—をと
こ相最 宮つかへになん—宮つかへに爲—宮つかへになむ最—宮ツカエニナム時 ⑦いてにける—いてにけり
爲最

大

①わかき女を—わかき女に大神 あひいへりけり—あひ侍りけり大—あるはへりけり神 おや—をや大 ②や
みに—ナシ大 女のもとに—女のかたより大神 ③心さしはたさむとや思けむ—この事とけんといへりけりは
大神 やれりけり—やれりけりいかとおもひけん大—やれりけりいかとおもひけむその歌に神 ④とてやみに
けり—ナシ大神 おとも女もあひはなれぬ—おとこ女はあひはなれぬ大—おとこ女はなれぬ神 ⑤いてにけ
る—いてたりける大神

差

①あひいへりけり—あひいゑりけり不 おや—をや不 ②いひさしてやみにけり—いひさしてけり不群丹 女
のもとに—女の方より不群丹 ③心さしはたさむとや思けむ—この事とけんといゑりけりは不—このこととけ
んといへりけりは群丹 やれりけり—やれりけりいかとおもひけん不群丹 ④とてやみにけり—といひてやみ
にけり不群丹 おとも女もあひはなれぬ—男女あひはなれぬ不群丹 ⑤いてにける—いてたちける不群丹

昔最若男若女乎會與云利計利各母在計禮波裏而云殘而病爾計利年來經而女之許自尙
此事終與云計禮者壯士歌乎讀而遣計流如何將思 1 2

今左右手不忘人者世爾毛不有己之様々年之所經者諾云而男尙相不分宮仕爾何出爾
計流 3 4

眞 ①女之許自—女之方自内桂九天 ②讀而遣計流—讀而遣計桂—讀而遣計流歟杯天 ③男—ナシ桂

八七 八 七 六 五 四 三 二 一
むかしおとこ津のくにむはらのこほりあしやのさとにしるよ
しゝていきすすみけりむかしのうたに
あしのやのなたのしほやきいとまなみつけのをくしもさゝ
すきにけりとよみけるそのさとをよみけるこゝをなむあし
やのなたとはいひけるこのおとこなまみやつかへしけれはそ
れをたよりにてゑうのすけともあつまりきにけりこのおとこ
のこのかみもゑふのかみなりけりその家のまへの海のほとり
にあそひありきていさこの山のかみにありといふぬのひきの

たきみにのほらんといひてのほりてみるにそのたき物よりこ
 と也なかさ二十丈ひろさ五丈許なるいしのおもてしらきぬに
 いはをつゝめらんやうになむありけるさるたきのかみにわら
 うたのおほきさしてさしいてたるいしありそのいしのうへに
 はしりかゝる水はせうかうしくりのおほきさにてこほれおつ
 そこなる人にみなたきの歌よますかのゑふのかみまつよむ
 わか世をはけふかあすかとまつかひのなみたのたきといつ
 れたかけんあるしつきによむ
 ぬきみたる人こそあるらし白玉のまなくもちるかそてのせ
 はきにとよめりけれはかたへの人わらふことにや有けんこの
 歌にめてゝやみにけりかへりくるみちとをくてうせにし宮内
 卿もちよし家のみまへくるに日くれぬやとりの方のみやれは

あまのいさり火おほくみゆるにかのあるしのおとこよむ
 はるゝ夜のほしか河邊の螢かもわかすむかたのあまのたく
 火かとよみて家にかへりきぬその夜南の風ふきて浪いとたか
 しつとめてその家のめのこともいてゝうきみるのなみによせ
 られたるひろひていゑの内にもてきぬ女かたよりそのみるを
 たかつきにもりてかしはをおほひていたしたるかしはにかけ
 り
 渡つ海のかさしにさすといはふもゝきみかためにはおしま
 さりけりゐなか人のうたにてはあまれりやたらすや

天 ⑥ ゑうのすけ—ゑふのすけ ⑦ づゝめらん—づゝめらん ⑧ 人こそあるらし—人そあるらし ⑨ 東 ⑩ みゆるに—みゆる重

武 ② うたに—うた高 ④ とよみける—とよみけるそのさとをよみける—とよみけるそのさとをなむよみける高 ⑤ いひける—いゝける高 ⑥ ゑうのすけ—ゑふのすけ ⑦ 四岩宮尊高 ⑧ おもて—おもてに ⑨ 四岩宮尊—おもてにはしりける水

流

高 ①わらうたのおほきさして—わらうたのほとして高 ②あまのいさり火—あまのいさりする火四岩宮尊—あまにいさりする火高 ③わかすむかたの—わかすむ方に四岩宮—わかすむさとの高 ④なみによせられたる—浪によせられたる高 ⑤いゑ—いへ四岩宮尊 女かた—女のかた高

⑥すみけり—すみける七 ⑦あしやのなた—あしのやのなた七 ⑧あうのすけ—あふのすけ千七飛山明—陸奈豊片 ⑨あふのかみ—あうのかみ雅 其の家—そのいゑ一片 ⑩そのたき物より—そのものより七 ⑪なかさ二十丈—なき(かさ)二十丈明 おもて—おもてに千七飛山—陸奈豊片—をもてに明 しらきぬに—しらに七 ⑫つゝめらん—つゝめらん明—つゝめしむ片 ありける—ありけり明 わらうたのおほきさして—わらうたのおほきさして明 ⑬いしありその—ナシ片 ⑭せうかうしくりのおほきさにて—せうかうしくりのおほきさにて千—せうかうしくりのおほきさして片 こほれおつ—こほれをつ千 ⑮あふのかみ—あふのかみ明 ⑯家—いゑ—まへくるに—まへにくるに七 ⑰あまのいさり火—あまのいさりする火千七飛山明—陸奈豊片雅 ⑱わかすむかたの—わかすむかたに飛山—陸奈豊片—わかすむかたに(の)明 ⑲家—いゑ—いゑ—なみによせられたる—なみによせられたるを片 ⑳いゑ—いへ飛 ㉑かしはをおほひて—かしはおほひて千片 かしはにかけり—かしはにかける豊 ㉒渡つ海—わたつみ奈

古

①おとこ—をとこ相爲—ナシ宵最 あしやのさと—あしのやのさと相時 しるよし—してしるよし—て爲 ②しほやき—しほやの良 をくし—おくし爲—をくし榮—をし(く)し最 ③とよみけるそ—とよみけるは最時 とみける—とよみけるなりける相爲—とよみけるなり最 あしやのなたとはいひける—あしのやのなたとはいひける相榮最 ④おとこ—をとこ相爲最 なまみやつかへ—なまみやつかえ爲—ナマミヤツカエ時 ⑤あふのすけ—あふのすけ爲良榮慈宵最 このおとこの—このをとこの相最 ⑦このかみも—このかみ爲 あふのかみ—あうのかみ承時 なりけり—なりける慈 其の家—そのいゑ爲時—そのいへ慈—いゑ最 まへの—まへの榮—まゑの最—マエノ時 ⑧あそひありきて—あそひて宵 ⑨たきみに—たきに良最 ⑩なかさ二十丈—たかさ二十丈相時—た(な)かさ二十丈爲—たかさ事二十丈最 ひろさ五丈許なる—ひろさ五丈はかりある相—ひろさは五ちやうはかりなる最 おもて—をもてに爲時—おもてに良承榮慈宵最 ⑪いは—いわ最 かみに—うゑに最 わらうたのおほきさして—わらうたのおほきさにして慈—わらふたのおほきさして最—ワラウタノヲホキサシテ時 ⑫さしいでたる—いてたる榮 さしいでたるヨリおほきさにて迄ナシ最 ⑬せうかうしくりのおほきさにて—せうかうしくりのおほきさにて宵—セウカウシクリノヲホキサシテ時 こほれおつ—こほれをつ爲時 ⑭あふのかみ—よふのかみ爲—エウノカミ時 ⑮まつかひの—待かゐの最 ⑯ちるか—ちれる最 ⑰かたへの人—カタエノヒト時 ⑱かへりくる—かへりてくる相最—かへりくるに承—カヘ(エ)リクル時 ⑲もちよし—もとよし最 家—いゑ爲最時 まへくるに—まへくるに最—マエヲクルニ時 ㉑あまのいさり火—あまのいさりする火相爲承榮慈宵時—あまのいさり最 おほく—ヲホク時 おとこよむ—をとこよむ相—おとこ慈—おとこよめる最 ㉒河邊—さわへ最 わかすむかたの—わかすむかたに慈 ㉓家にかへりきぬ—いゑにかへりきぬ爲—いゑにかへりきぬ最—イエニカヘリキヌ時 ㉔家—いゑ爲最時 めのことも—そのことも宵 ㉕ひろひて—ひろひて榮時 いゑの内にもてきぬ—いへのうちにもてきぬ相慈—いへのうちへもてきぬ良—家の内にもち

てきぬ宵 女かた―女のかた最 ②かしはおほひて―かしはおほひて相―かしわをほひて爲―かしわおほひて最 かしはにかけり―かしわにかけり爲―かしはにかける最 ③渡つ海―わたつみ最 いはふもゝ―いわふもゝ最 おしまさりけり―をしまさりけり相爲時 ④るなかの爲―いなかの人の最 うたにては―歌には爲 あまれりや―あまれるや慈

大

①むはらのこほり―うはらのこほり大神 あしやのさと―あしのやのさと大 ②いきて―ナシ大神 ③さゝすきにけり―さきすきにけり大 ④とよみけるそ―とよめるは大―とよみけるは神 よみける―よめるなりけり大神 あしやのなたとはいひける―あしのやのなたとはいひける大―あしやのなたといひける神 ⑤それをたよりにて―たよりにて大 ⑥えうのすけ―えふのすけ神 このおとこの―この女おとこの大―このおとこ神 このかみも―あにも大神 ⑦えふのかみ―えうのかみ大 その家―そのいゑ大―そのいへ神 海のほとりに―うみに大神 ⑧あそひありきて―あそひけりきて大 ⑨たきみに―たきに神 そのたき物よりこと也―その瀧のもとよりことなり神 ⑩なかさ二十丈―たかさ廿丈よひろはかり大神 ひろさ五丈許なる―ひろさ五丈はかりある大神 おもて―おもてに大神 ⑪いは―いし神 ⑫せうかうしくりのおほきさにて―せうかんしくりのおほきさにて大―せうかうし果のおほきさにて神 こほれおつ―こほれいつ大 ⑬えふのかみ―えふのかみ神 ⑭いつれたかけん―いつれたけん(からん)大 ⑮ぬきみたる―ぬきみたる大 白玉の―にふ(しら)たまの大 ⑯かたへの人―かたえの人大 わらふことにや―これをわらふことにて神 この歌にめてゝやみにけり―この歌をよみてやみにけり大神 ⑰とをく―とほくて神 ⑱家―いゑ大神 ⑲やれば―みれば神 ⑳あまのいさ

り火―あまのいさりする火大―あまのいさりする神 みゆるに―みゆる大 かの―この大 おとこよむ―をのこよむ大神 ⑳家にかへりきぬ―いへにかへりきぬ大―いゑにかへりきぬ神 浪いとたかし―なこりいとかたし大 ㉑家―いゑ大神 ㉒女かた―をむかた神 ㉓かしはおほひて―かしはおほいて大 かしはにかけり―かしはにきたり神 ㉔渡つ海―わたつみ大神 いはふもゝ―いふ物の大 おしまさりけり―をしまさりけり大 ㉕うたにては―うたには大 あまれりや―あまれるや神

差

①しるよし―して―しるよしありて不群丹 ②さゝすきにけり―さゝすきにけり不群丹 ③とよみけるそ―とよめるは不群丹 よみける―よめるなり不群丹 あしやのなたとはいひける―あしのやのなたとはいひけり不―あしやのなたとはいひけり群丹 ④おとこ―をとこ不 それをたよりにて―それをたより不群丹 ⑤えうのすけ―え府のすけ不群丹 このおとこの―このをとこの不 ⑦このかみも―あにも不群丹 まへの―ナシ不群丹 ⑧かみに―うゑに不―うへに群丹 ⑩なかさ二十丈―たかさ二十餘丈はかり不―たかさ廿丈はかり群丹 ひろさ五丈許なる―ひろさ五丈餘はかりある不群丹 おもて―おもてに不群丹 しらきぬ―しろききぬ不群丹 ⑪いは―いし不群丹 つゝめらん―つゝみたらん不群丹 わらうたのおほきさして―わらうたはかりにて不―わらふたはかりにて群丹 ⑫うへに―うゑに不 ⑬水は―水不群丹 せうかうしくりのおほきさにて―せうかうしはかりのおほきさにて不―せうかうしはかりのおほきさにて群丹 こほれおつ―こほれをつ不 ⑭みなたきの―ナシ不群丹 かの―この不群丹 ⑮いつれたかけん―いつれまされり不群丹 ⑯あるしつきによむ―つきにあるしよむ不群丹 ⑰人こそあるらし―人こそあるらめ不群丹 ⑱わらふことにや―わらうにや不―わらふ

にや群丹 この歌にめてゝやみにけりこのうたをよみてやみけり不群丹 ⑮かへりくるかゑりくる不
 もちよしもよし不群丹 まへくるにまへするに不群丹 ⑯あまのいさり火あまのいさりする火不群
 丹 みゆるにみるに不群丹 かのこの不群丹 おとこよむをとこよむ不 ⑰家にかへりきぬみなかゑ
 りきぬ不みなかへりきぬ群丹 浪いとたかしなこりの波いとたかし不群丹 ⑱なみよせられたるなみ
 によせられたるを不群丹 ⑲い糸の内にもてきぬい糸にもてきぬ不群丹 ⑳かしはおほひてかしはお
 るて不かしはおほひて群丹 いたしたるいたしたり不群丹 かしはかけりそのかしはかくかけり
 不群丹 ㉑おしまさりけりをしまさりけり不 ㉒あなか人のなかの人の不あなか人の群丹

昔男攝津國菟原郡葦屋郷爾所知在而往而栖計利往古之歌

葦之屋廼浪渡之鹽燒遶波黃楊小櫛毛不差所來諾讀計流者此郷乎讀計流成計利此所
 乎何葦屋浪渡與者云計流此夫生宮仕爲計禮者其乎便爾而衛府佐友雲集來爾計利此夫
 之兄毛衛府督在計利其家前之海邊爾遊行而率此山之上爾在與云布引瀧見爾將躍與云
 而井而見爾其瀧物自毛異也高二丈廣五丈計在石之面爾白絹爾石乎將裏樣爾何在計
 流然瀧之源爾茵之大佐爲而指出有石在其石爾走懸水者柑子栗大左落下爾所有人爾皆
 瀧歌令讀彼衛府督先讀

吾世姑今日歟明歟與待鹿之浪渡之瀧與何將隆主次讀

貫亂人社有羅師白玉之間無藻散歟袖之狹丹諾讀利計禮者諸之人笑言丹哉將在此歌
 爾日出乍停爾計利還來道遠而疾丹志宮内卿茂能之家廼前來爾日沒宿之方乎見遣者泉
 郎之伊佐利火多所見爾彼主之夫讀
 晴流夜之星歟河邊之螢鴨吾住方之泉郎燒火歟諾讀而家爾還所來其夜南風吹而波駟
 廬最高晨而其家之女兒友出而浮海松之浪爾被寄有乎拾而家之裏江持來女之方自其海
 松乎高坏爾盛而柏石覆而出有其石爾書
 渡津海之挿頭爾差與齋藻裳君之故爾者不惜計利田舍人之歌爾者餘禮利乎不足哉

眞 ②不差所來不差所來(寢爾計利)内桂 不差所來計利(寢爾計利)九 諾讀計流者諾讀者内桂天 ③共
 乎是乎内桂九 ④海邊爾海爾内桂 率卒天 ⑤廣五丈計在廣五丈計有天 石之面爾石之面者
 九 ⑥栗大左栗計左内桂九 ⑦令讀令讀彼歌令讀天 ⑧白玉之白寶之天 諾讀利計禮者諾讀計
 禮者内桂九 ⑨晨而其家之晨其而家之桂 ⑩齋藻裳齋裳藻天 歌爾者歌爾而者天

八 昔いとわかきにはあらぬこれかれともたちともあつまりて月

をみてそれかなかにひとり

おほかたは月をもめてしこれそのつもれは人のおいと
なる物

天 ③月をもめてし月をそめてし東

流 ①ともたちともあつまりてともたちともあつまりて明 ④おいおひ

古 ①昔むかしおとこ最 あつまりてアツマリキテ時 ②それかなかにその中に最 ③おほかたはヲホカ
タハ時 おいツイ時

大 ①わかきにはわかき人には大神 あらぬあらぬ大神 ともたちともたちとも大神 ②それかな
かにそかに大そかなかに神 ③おほかたはあちきなし大神 おいをい大おひ神

差 ①わかきにはわかき人には不群丹 ともたちともたちとも不群丹 あつまりてナシ不群丹 月を
みて月をみける不群丹 ②それかなかにそかに不 ③おいおひ不

昔最稚人爾不有是彼朋友輒雲集而夜景乎見而其中爾一人
大方之月面不日度是曾此積者人之老與成物

2 1

八九 むかしいやしからぬおとこ我よりはまさりたる人を思かけて
年へける

ひとしれす我こひしなはあちきなくいつれの神になきな
おほせん

武 ③こひしなはこいしなは高

流 ①我よりはわれより千 ②年へけるとしへにける飛山明奈 ③ひとしれす一人しれぬ(す)豊 我われ七

飛明隆奈 おほせんをふせん片

古 ①おとこをとこ相為最 我よりはわれより良最 ②年へけるナシ最 ③ひとしれす一人シレヌ(朱ス)時

我わか為良時われ背 おほせんをふせん最ヲホセム時

大 ①おとこをのこ大 我よりはわれよりも大神 ④我わか大神

差 ①おとこをとこ不 我よりはそれより不 ②年へけるとしへにけり不群丹 ③我わか不 おほせん
おほせん不

昔不賤男吾自者所勝人乎思懸而年歴計流
人不知吾戀死者味氣無何所之神爾無名將負

2 1

九〇 むかしつれなき人をいかでと思わたりければあはれとや思けん
 さらはあすものこしにてもといへりけるをかきりなくうれしく
 又うたかはしかりければおもしろかりけるさくらにつけて
 て

よのここといふ心はへもあるへし
 さくら花けふこそかくもにほふともあなたのみかたあすの
 6 5 4 3

天 ③うたかはしかりければ―うたかわしかりければ色 ⑤かくもにほふとも―かくも(は)にほふらめ(とも)重

武 ③又―又は高 おもしろかりけるさくらにつけて―ナシ尊 ⑤にほふとも―にほふらめ四岩宮尊高

流 ⑤かくも―かくは一豊 にほふとも―にほふらめ千七飛山明一陸奈置片雅

古 ①いかでと―いかでか最 思わたりければ―思ヒワヒタリケレハ時 ②うれしく―うれしなから猶榮―ウレ

シウ時 ③うたかはしかりければ―うたかはしければ爲―うたかはしかりければ最 おもしろかりける―を

もしろかりける爲最 ⑤かくも―かくは宵最 にほふとも―にほふらめ相爲良承榮慈宵最時 あすのよのこと

―人のこゝろは最 ⑥といふ心はへも以下第九十八段つかうまつるおとこなか月許にむめの迄三葉落丁最 心
 はへもあるへし―こゝろは元もあるへし承時

大 ②さらは―さは大 ものこしにても―物こしにても物いはん大―ものこしにていはむ神 うれしく―うれしか

る大神 ④おもしろかりける―をもしろかりける大 ⑤にほふとも―にほへらめ大―にほふらめ神

差 ①思わたりければ―おもひこひわたりければ不群丹 ②ものこしにても―ものほかりをいはむ不

群丹 といへりけるを―といへりけるを不 うれしく―うれしなから不群丹 ③さくらに―くさら(さくら)に

不 ⑥心はへもあるへし―こゝろは元もあるらし不―心はへあるらし群丹

昔男顔強人之如何與思計禮波何與哉將思然有明物越爾而物將云與云利計流乎無限嬉
 賀流復猶借計禮者面白借計流櫻爾付而 1 2 3

櫻花今日社右毛匂覽目穴手飲難明日之代言諾云心齒得毛可有

眞 ①顔強人之―顔強人乎九天 思計禮波―思有計禮波内桂 何與哉―憐與哉天 物越爾而―物越爾而毛天

九一 むかし月日のゆくをさへなけくおとこ三月つこもりかたに
 おしめとも春のかきりのけふの日のゆふくれにさへなりに 2 1

ける哉

流 ①三月の明座

古 ①ゆくをさへなくくゆくをななく爲ニクヲサエナケク時 三月の良宵時 ②おしめともしめとも爲良時 ゆふくれにさへニツクレニサエ時

大 ①むかし月日のむかしのつきの大 おとこおとこに大 三月の三月の大 ②おしめともしめとも大 ③ゆくをさへなくくゆくをさへなく不ゆくさへなく群丹 三月のやよひの不群丹 つこもりかたにいつこもりに不群丹 ④おしめともしめとも不 ゆふくれにさへゆくれにさへゆくれにさへ不

昔夜景火精之行乎副難心男沾洗之晦爾

雖惜春之極適今日之夕暮爾副成爾計流哉聞知人毛無乎

眞 ①難心男難(歎朱)心男内桂一歎心男九天 沾洗一姑洗天

三 むかしこひしさにきつゝかへれと女にせうそこをたにえせて

よめる

あしへこくたなゝしを舟いくそたひゆきかへるらんしる人

1 2 3

もなみ

流 ①きつゝかへれときつゝかへれとたに山

古 ①こひしさに男ありけりこひしさに宵一男コヒシサニ時 きつゝかへれとキツゝカヘ(エ)レト時 せうそこをたにえせてせうそこおたにえせて爲せうそこたにもえせて宵一セウソクヲタニエセテ時 ②ゆきかへるらんゆきかへる寛爲ユキカヘ(エ)ルラム時

大 ①せうそこをたにえせてせうそこせうそこせうそこもせて神

塗 ①きつゝかへれときつゝかへれと不 せうそこをたにえせてせうそこもたせて不群丹 ②あしへこくしるらん不群丹 ③あしへこくしるらん不群丹 ④あしへこくしるらん不群丹 ⑤あしへこくしるらん不群丹 ⑥あしへこくしるらん不群丹 ⑦あしへこくしるらん不群丹 ⑧あしへこくしるらん不群丹 ⑨あしへこくしるらん不群丹 ⑩あしへこくしるらん不群丹

昔戀佐爾來乍還與女爾消息乎多爾得不爲讀
葦部機棚無小船幾每行還覽知人藻波

1 2

三 むかしおとこ身はいやしくていとなき人を思かけたりけり
すこしたのみぬへきさまにやありけんふして思ひおきておも

1 2

ひ思わひてよめる

あふなく思ひはすへしなそへなくたかきやしきくるし
かりけりむかしもかゝることは世のことはりにやありけん

3 4 5

天 ④たかき―たかく重

武 ②おきておもひ思わひて―をきておもひ思ひわひて高 ⑤世のことはりにや―世のことはりや四岩峰高

流 ①いとになき人を―いとになき女を七 ②おきておもひ思わひて―おきておもひわひて千七 ④あふなく思

ひはすへし―あふなくおもひはすへし明 たかきやしきくるしかりけり―ナシ七 たかき―たかさ雅 ⑤
むかしもかゝることは―むかしもかゝることは片

古

①いとになき人を―いとたかき人を宵 思かけたりけり―思かけたりける慈 ②たのみぬへき―たのめぬへき
承 おきておもひ思わひて―おきておもひわひて相良承時―をきておもひわひて爲 ④思ひはすへし―おもひ
はすてし承 なそへなく―ナソエナク時

大

①いとになき人を―ひんなき人を大神 思かけたりけり―思へり大―おもへりける神 ②さまにや―かたさま
や大―さまや神 おきておもひ思わひて―ねて思ひおもひわひて大神 ④思ひはすへし―おもひはすらし神
なそへなく―なすへなく大 いやしき―くるしき大 くるしかりけり―くやしかりけり大 ⑤むかしもかゝる
ことは―むかしもかゝることもありけり大―むかしもかゝることはありけり神

差

①いやしくて―いやしなから不群丹 いとになき人を―ふたつなき人お不―ふたつなき人を群丹 思かけた
けり―おもひかけめりけり不 ②おきておもひ思わひて―をきておもひ―て不―おきて思ひ―て群丹 ④
なそへなく―なめなく不群丹 ⑤むかしもかゝることは―昔もかゝる事ありけり不群丹

昔男身者賤而最高人乎思計利少毛可所手飲様爾不有哉將有臥而思起而思侘而讀
隨分思者可爲名風無高賤苦雁計利昔毛如是言者世之理仁哉將在

1 2

眞 ①思計利―思懸多利天 ②昔毛如是言者世之理仁哉將在―ナシ内桂九

九 四 五 六 七
むかしおとこ有けりいかゝありけむそのおとこすますなりに
けりのちにをとこありけれとこあるなかなりければこまかに
こそあらねと時―ものいひをこせけり女かたに烈かく人な
りければかきにやれりけるをいまのおとこの物すとてひとひ
ふつかをこせさりけりかのおとこいとつらくをのかきこゆる
事をはいまゝてたまはねはことほりとおもへと猶人をはうら
みつへき物になんありけるとてろうしてよみてやれりける時

は秋になんありける

秋の夜は春ひわする、物なれやかすみにきりやちへまさる
らんとなんよめりける女返し

千々の秋ひとつの春にむかはめやもみちも花もともにこそ

ちれ

8 9 10 11 12

天

⑥たまはねは—のたまはねは東 おもへと猶人をは—おもへと猶人をは冷

武

②をとこ—おとこ四岩宮尊高 ③いひをこせけり—いゝをこせたりけり高 ④ひとひ—ひと高 ⑤をこせ—

おこせ尊 ⑩よめりける—よめりけり四

流

①おとこ—おとこ女明一陸奈 ②をとこ—おとこ千飛山明一奈豊雅 ⑤おとこ—をとこ雅 をのか—おのか千

⑥たまはねは—給はぬは雅 ⑨きりやちへまさるらん—かりやちまさるらん千—きりやちえまさるらん七

⑩ひとつの春に—ひとつのみ春に雅

古

①おとこ—男女相榮宵—をとこ爲 ②をとこ—おとこ爲長承榮慈宵時 ③いひをこせけり—いひおこせけり承

かたにゑかく—かたゑかく宵 ④やれりけるを—やりけるを承 おとこ—をとこ相 ひとひ—ヒトイ時 ⑤を

こせ—おこせ宵 おとこ—をとこ相 をのか—おのか榮 ⑥おもへと—オモヘ(エ)ト時 うらみつへき—うら

みつへき慈 ⑦ありける—有けり宵 ろうして—らうらうして承 やれりける—やりける長 ⑨きりや—露は

宵 ちへまさるらん—ちまさるらん爲長榮時—ちん(へ)まさるらむ承—いへまさるらん慈 ⑩返し—カエシ

時 ⑪ともに—モトニ時

大

①おとこ—おとこ女大神 そのおとこ—かのをとこ大 ②をとこ—おとこ大神 こある—ある神 ③あらねと

—あらねとも大—あらね神 いひをこせけり—いひをこせたりけり大 ④おとこ—をとこ大 ⑤をこせきりけ

り—をこせきりければ神 おとこ—をとこ大 きこゆる事をはいまて—きこゆる事をはまて大—きこゆる

をいままで神 ⑥うらみつへき物になんありけるとて—うらみつへき物なりけりと大—うらみつへきものなり

と神 ⑦ろうして—らうして大—らして神 やれりける—やりける神 ⑨ちへまさるらん—ちまさるらん大

神 ⑩となんよめりける—ナシ大神 女返し—返し女大神 ⑪千々の秋—ち々ののはる大神 ひとつの春に—ひ

とつ秋に大神 むかはめや—まさらめや大 もみちも花も—花も紅葉も神

塗

此段ナシ

昔男女在計利如何將在其夫不往成逃里後爾夫在計禮與子在中成計禮波細爾社雖不有
時々物謂遣計利女之方爾圖繪人成計禮波扇爾圖遣利計流乎今夫之物作左一日二日不
遣計利彼夫最面苦而自之記古由流言乎者至今爲而不賜者理與思與浦見津邊幾物爾何
在計流左讀而遣計流時者秋爾何在計禮波

1 2 3 4

秋夜者春日忘留物成者霞爾霧哉立勝留覽諾何讀利計禮波返女
千々之秋一之春爾向日哉黃葉毛花毛共社散

眞 ①男女—男天 不往成逃里—不住成逃里内桂九 ②時々—時之天 ③彼夫—此夫内桂九天 ④秋爾何在

計禮波—秋在計禮波内桂九—神在爾何有計禮波天 ⑤諾何讀利計禮波—諾何讀計流内桂九天

九五 むかし二條の后につかうまつるおとこ有けり女のつかうまつ
るをつねにみかはしてよはひわたりけりいかて物こしにたい
めんしておほつかなく思つめたることすこしはるかさんとい
ひければ女いとしのひてもものこしにあひにけり物かたりなと
しておとこ

ひこほしにこひはまさりぬあまの河へたつるせきをいまは
やめてよこのうたにめて、あひにけり

流 ①つかうまつる—つかふまつる山片雅 つかうまつるを—つかふまつるを片雅 ②よはひわたりけりよはひ

はたりけり陸 ②にたいめんして以下第九十六段かならずあはむといへりけり迄一葉落丁七

古

①つかうまつる—つかうまつり慈—ツカフマツル時 おとこ—をとこ相 つかうまつるを—ツカフマツルヲ時
②よはひわたりけり—ヨハヒワタリケリ時 たいめんして—たひめんして慈 ③おほつかなく—ヲホツカナク
時 思つめたること—おもふ(思)つめたること承—おもひつめたる事榮 ④物かたりなとして—モノカタリナ
ムトシテ時 ⑤おとこ—をとこ相 ⑥こひはまさりぬ—こひはまさりぬ爲 せきを—ときを良

大

①おとこ—をとこ大 つかうまつるを—つかうまつりけるを大 ②よはひわたりけり—うたてよはひわたりけ
り大 いかて—いかに大 たいめんして—たいめして大 ③おほつかなく—おほつかなう大神 ④あひにけり
—七月七日あひにけり神 ⑤おとこ—をとこ大 ⑥こひはまさりぬ—こひはまさりぬ大 いまはやめてよ—いま
はやみてか神

塗

①二條の后に—二條のきさひのみやに不—二條の后宮に群丹 つかうまつる—つかふまつる不 おとこ—をと
こ不 つかうまつるを—つかふまつれりけるを不—つかうまつれりけるを群丹 ②つねに—ナシ不群丹 たい
めんして—對面して不—たいめして群丹 ③おほつかなく—ナシ不群丹 思つめたることすこしはるかさん—
おもひつめたることはすこしはるけむ不—おもひつめたることすこしはるけん群丹 ④物かたりなとして—物
語なんとして不 ⑤おとこ—をとこ不 ⑥こひはまさりぬ—こひはまさりぬ不群丹 いまはやめてよ—いまは
とめてよ不群丹 ⑦このうたにめて、—これををかしたやおもひけん不—これををかしたやおもひけん群丹

小式部内侍本

①二條の后に—二條の中宮に小 女の—また女の小 つかうまつるを—つかまつるを小 ②つね

に―ナシ小 よはひわたりけり―ナシ小 いかて物こしに―物こしにて小 たいめんして―たいめして小 ③
 おほつかなく―いとおほく小 思つめたることすこしはるかさん―思つめたる事はるけん小 ④いとしのひて
 ものこしに―いとしのひに物こしにて小 物かたりなとして―物かたりして小 ⑤こひはまさりぬ―こひはま
 さりぬ小 せきを―はしを小 いまはやめてよ―いきはやめとよ小 ⑦このうたにめてよあひにけり―ナシ小
 昔二條後宮爾祝承男在計利女之祝承計流乎常爾見通而夜這渡計利如何而物越爾而毛 1
 對面志而鬱悒思短有言少晴借與云計禮者女最偲而物越爾相爾計利物語何與志而夫 2
 彥星爾今夜者所勝漢河隔留塞乎今者欲停此歌爾目出而會爾計利 3

眞

①如何而―如何天 物越爾而毛―物越爾而志毛九 ②相爾計利―會爾計利天 物語何與志而―物語何與
 志天

六 むかしおとこ有けり女をとかくいふこと月日へにけりいは木 1
 にしあらねは心くるしとや思けんやうくあはれと思けりそ 2
 のころみな月のもちばかりなりければ女身にかさひとつふた 3
 ついてきにけり女いひをこせたる今はなにの心もなし身にか 4

さもひとつふたついてたり時もいとあつしすこし秋風ふきた 5
 ちなん時かならすあはむといへりけり秋まつころをひにこゝ 6
 かしこよりその人のもとへいなむすなりとてくせちいてきに 7
 けりさりければ女のせうとにはかにむかへにきたりされはこ 8
 の女かえてのはつもみちをひろはせてうたをよみてかきつけ 9
 てをこせたり 10
 秋かけていひしなからもあらなくにこの葉ふりしくえにこ 11
 そありけれとかきをきてかしこより人をこせはこれをやれと 12
 ていぬさてやかてのちつゐにけふまでしらすよくてやあらむ 13
 あしくてやあらんいにし所もしらすかのおとこはあまのさか 14
 てをうちてなむのろひをるなるむくつけきこと人のゝろひこ 15
 とはおふ物にやあらむおはぬ物にやあらんいまこそはみめと 16

そいふなる

天

⑫かきをきて—かきてをきて色 ⑬のろひをるなる—のろひをる色 ⑭おふ物にやあらむ—おふ物にあらむ道
 ②そのころ—その高 ④いひをこせたる—いひおこせたる尊 ⑥秋まつころをひに—秋たつころをひに四岩宮
 尊高 ⑧女の—この女の四岩宮尊高 ⑨うたをよみて—うたをかきて高 ⑩かきつけてをこせたり—かきつけて
 おこせたり尊 ⑮のろひことは—のろひこと高

流

②そのころ—この比片 ③かき—かきも隆豊 ④いてきにけり—いてにけり明—いてきたり雅 ⑤ふきたちな
 ん時—吹たちなんと雅 ⑥秋まつころをひに—秋たつころをひに飛明—奈片—秋たつころほひに山隆豊—秋ま
 つころほひに雅 ⑧女の—この女の七飛山明—隆奈片雅 ⑨かえて—かへて飛—うたをよみて—歌をよみて奈
 ⑫かきをきて以下ヲ欠ク奈 ⑬つるに—ついに雅 ⑭のろひをるなる—のろひをる片 ⑯おふ物にやあらむ—
 おほものにやあらむ飛—をふものにやあらむ豊片 ⑰おはぬ物にやあらん—をはぬものにやあらむ千豊片—ナシ
 明 いまこそは—いまこそ一雅 みめとそ—みめと千七

古

②やう／＼—ヤフ／＼時 あはれと思けり—あはれとおもひける宵 ③女身にかさひとつふたついできにけり
 —女みにかさひとつふたついでにけり爲—ナシ宵—女ミニカサモヒトツフタツイテキネケリ時 ④いひをこせ
 たる—いひをこせたり宵 ⑤なにの心も—何の心宵 ⑥かさも—かさ宵 ⑦いてたり—いてきたり宵 ⑧いへりけ
 り—いへりける宵—イエリケリ時 ⑨秋まつころをひに—あきま(た)つころをひに爲—秋まつころほひに良宵—
 秋たつころをひに慈—アキマツコロイニ時 ⑩その人のもとへいなむすなりとて—その人のもとへいなむすなりと

大

すなりとて宵—ツノ人ノモトエイナムトエナリトテ時 ⑪女の—この女の相爲良承慈宵時 ⑫かへにきたり—
 ムカエニキタリ時 ⑬うたをよみて—うたをよて良 ⑭かきつけてをこせたり—かきつけておこせたり爲—かさ
 付てをく宵 ⑮いひしなからも—いひしなかに承 ⑯かきをきて—かきおきて相爲 ⑰人をこせは—人おこせ
 は宵 ⑱さてやかてのち—さてのち相—さて女をとませすのち宵 ⑲つるに—ついに爲 ⑳あしくてや—アシク
 テヤ時 いにし所もしらす—いにしへところもしらす良 ⑳かのおとこは—かのをとこは相 ㉑のろひをるなる
 —のろひをるなり宵 ㉒のろひことは—のろひことは承 ㉓おふ物にやあらむ—おふものにやあらんと良—ヲフ
 モノニヤアラム時 おはぬ物にやあらん—をはぬものにやあらん爲時—おはぬものにやあらん承 いまこそは
 —いまこそ宵 みめとそ—みめと良時 ㉔いふなる—いふなり宵
 ①女をとかくいふこと—女とかういふ事大—女をとかくいふほとに神 いは木にしあらねは—女いはきにしあ
 らねは大神 ②あはれと思けり—思ひつきにけり大神 ③女身にかさひとつふたついできにけり—かさひとつ
 ふたつみにいてきたりければ大神 ④女—女の大 神 いひをこせたる—いひをこせたりける大 ⑤なにの心も—
 なにこゝろも大神 ⑥いてたり—いてきたり大神 ⑦いとあつしすこし—あつし大 ⑧ふきたちなん時—たちなん
 ととき大神 ⑨秋まつころをひに—あきまつころをひ神 ⑩その人のもとへいなむすなりとて—その人はその
 人のもとへなんいなんとするとして大神 ⑪女の—この女の大 神 むかへにきたりされは—きたりければ大神
 ⑫かえて—かへて大神 ⑬いひしなからも—いひしなかにも大神 ⑭これを—ナシ大神 ⑮さてやかてのち—
 —女またをとこもせすなりにけりきてやかて大—女又おともせすなりにけりきてやかてのち神 ⑯つるに—つひ

に大 あらむ―あるらん大 ⑮あしくてや―あしくや神 あらん―あるらん大 おとこ―をとこ大 ⑯のろひ
をるなる―のろひける大神 のろひことは―のろひとは大 ⑰おふ物にやあらむ―思ふにやあらむ大 おはぬ
物にやあらん―おもはぬにやあらん大 みめとそ―みめと大神

塗

①女をとかくいふこと―女をとかふこと不―女をとかういふこと群丹 いは木にしあらねは―女石木なら
ねは不群丹 ②心くるしとや思けん―いとをしうやおもひけむ不―いとほしうやおもひけん群丹 あはれと思
けり―思つきにけり不群丹 ③もちばかりなりければ―つこもりはかりなり不―つこもりはかりなりければ群
丹 女身にかさひとつふたついできにけり―女かさもひとつふたつみにおいてたりければ不群丹 ④女―ナシ不
群丹 ⑤いてたり―いてきにけり不群丹 ふきたちなん時―たて不群丹 ⑥かならず―ナシ不群丹 いへり
けり―いゑりけり不 秋まつころをひに―さてあきまつほとに不群丹 こゝかしこより―ナシ不群丹 ⑦その
人のもとへいなむすなりとて―女のちよそのひとのもとにいくへかなりときよていひひのしりて不群丹 くせ
ちいてきにけり―くせてきにけり不群丹 ⑧女の―このをむなの不群丹 むかへにきたり―むかへにきたりけれ
は不群丹 されはこの―ナシ不群丹 ⑨かえて―かえて不 ひろはせて―ひろひて不群丹 うたをよみて―ナ
シ不群丹 かきつけてをこせたり―かきをく不群丹 ⑩いひしなからも―いひしなかなには不群丹 えにこそあ
りけれ―名にこそありけれ不 ⑪とかきをきて―とみせて不群丹 人をこせは―人をこせたらは不群丹 やれ
とて―やれといひをきて不群丹 ⑫さてやかてのち―さてのち不群丹 つるに―つひに不 けふまでしらす―
けふ不群丹 あらむ―あるらん不群丹 ⑬あくん―あるらん不群丹 ⑭しし所もしらす―いくところもしらす

やみぬ不群丹 かのおとこは―このをとこはいみしう不―此おとこいみしう群丹 ⑮のろひことは―おもひは
不群丹 ⑯おふ物にやあらむ―おふものにやある置不―をふ物にやあらん群丹 おはぬ物にやあらん―ナシ不
群丹 いまこそは―今こそ群丹 ⑰いふなる―いひける不群丹

昔男在計利女乎左右云事恒娥火精經爾計利石木爾師不有者心苦與哉將思漸思付爾計
利其近林鐘之望計成計禮者女之身爾風袍毛一二出有計禮波女之云遣有計流今者何心
毛無身爾瘡毛一二出有辰毛最日赤少飽風吹立何後爾必將會與云利計利飽待近爾此所
彼所自口舌出來爾人者其人許江往何與云旬旬計利然計禮波此女之背人卒爾迎爾來
計禮波此女萱手之初黃葉乎拾世而歌乎讀而書付而遣多利
飽懸而乍云毛莫有木葉零敷緣爾社在計禮與書置而彼所自人遣者是乎被遣左去然而
遂爾至今不知善哉在覽惡哉在覽往志所毛不知彼夫者天之逆手打而何咒居計流成無苦
津氣幾言人之咀詞者負物似哉在覽不負物似哉在覽今社者見日與社云成

眞 ①恒娥火精 恒娥火精天 漸思付爾計利 漸哀與思計利天 ②口舌出來爾人者 口舌出來爾計利天 其
人之許江―其人許江天 往何―行何九 ③歌乎讀而書付而遣多利 歌乎書付置內桂九 ④與書置而彼所
自人遣者是乎被遣左去―ナシ內桂九 然而遂爾―然而後遂天 ⑤人之逆手―天之逆手內桂九 天之逆手乎
九天 咒居計流成―咒成內桂九 咒居計流九天 ⑥咀詞者―咀詞天

七 むかしほり河のおほいまうちきみと申すいまそかりけり四十

の賀九條の家にてせられける日中將なりけるおきな 2

さくら花ちりかひくもれおいらくのこむといふなるみちま 3

かふかに 4

武 ①ほり河のおほいまうちきみ—堀河おほひまうちきみ高 ②おいらくの—おひらくの高

流 ①いまそかりけり—いまそかりける明 ②家—いゑ一 ③おいらくの—おひらくの隆 ④みちまかふかに—道ま

とふかに千七

古 ①おほいまうちきみ—ヲホイマウチキミ時 ②いまそかりけり—いまそかりける承 ③家—いゑ爲時 ④ちりか

ひくもれ—ちりかひくもり爲 おいらくの—おひらくの榮—ヲイラクノ時

大 ①おほいまうちきみ—まうちきみ大神 ②いまそかりけり—いますかりけり大神 ③九條の家にてせられける日

—九條殿せられけるときに大—九條殿にてせられけるに神 中將なりけるおきな—中將なるをきな大—中將な

りけるをきな神 ④おいらくの—をひらくの大—おひらくの神 ⑤みちまかふかに—みちまよふへく(まで)大—

みちまよふへく神

差

①おほいまうちきみ—おほるまうちきみ不 ②九條の家にてせられける日—九條家にてせられける屏風に不群

丹 中將なりけるおきな—中將なりけるをきな不 ③ちりかひくもれ—ちりかひまかゑ不—散かひまかへ群丹

おいらくの—をひらくの不 ④みちまかふかに—道まとうまで不—みちまよふへく(まで)群丹

菅堀河太政大臣與申在計利四十賀九條殿爾而被爲計流爾中將在計流翁

櫻花散峽陰老々之將來與云成路迷賀爾

眞 ①被爲計流爾—彼爲計流爾九

八 昔おほきおほいまうちきみときこゆるおはしけりつかうまつ 1

るおとこなか月許にむめのつくりえたにきしをつけてたてま 2

つるとて 3

わかたのむ君かためにとおる花はときしもわかぬ物にそ有 4

けるとよみてたてまつりたりけれはいとかしこくおかしかり 5

しるしらぬなにかあやなくわきていはんおもひのみこそし
るへなりけれのちはたれとしりにけり 6

武 ⑥しるしらぬしるしらすぬ高 ⑦のちはしるしに高
①むかしむかしおとこ山片 ②中將なりけるおとこの中將なりけるおとこ千明 ③わきていはんわきいはん雅 ④しりにけりしりにけり七

古 ①ひをりの目ひおりのひ榮宵ヒヲオリノヒ時 ②むかひにたてたりけるむかひにたてたりける承むかひにたてりける最ムカイニタテタルケル時 くるまに女車に最 中將なりけるおとこの中將なりけるをとこの相中將なりけるおとこ爲長承最 中將なりけるおとこの榮 ④こひしくはコヒシクキハ時 ⑤返し返事承女返事最カヘエシ時 ⑥しるしらぬしるしらす榮最 ⑦のちはしるしに高 ⑧しりにけりしりにけり最

大 ①右近左近大さこ神 たてたりけるたてりける神 くるまにナシ大神 ②女のかほのしたすたれより女のかほすたれより神 中將なりけるおとこの中將なりけるをとこの大 中將なりける男神 ③よみてやりけるよみてやりける神 ④返しナシ神 ⑤しるしらぬしるしらす大 ⑦のちはしるしに高 ⑧のちはたれとしりにけり

逢 ①女のかほのしたすたれより女のかほのしたすたれより不 みえければみゆれば不群丹 中將なりけるおとこの中將なる人不 中將なる人の群丹 ②よみてやりけるよみてやる不群丹 ③こひしくはこひしくは不群丹 ④返しかえしをむな不かへしをんな群丹 ⑤しるしらぬしるしらす不 ⑦のちはたれとしりにけりナシ不群丹

昔右近馬場之射禮日向爾立爲計流車爾女之顔廻帷裳自側爾見計禮波中將成計流翁
見爲毛不有見裳不爲人之戀敷者文無今日哉長目將沒女返 3 2 1
知不知何歎文無別而將云思耳社南指成計禮後者誰與知爾計利
眞 ①側爾側爾天

二〇〇 むかしおとこ後涼殿のはさまをわたりけれはあるやむことなき人の御つほねよりわすれくさをしのふくさとやいふとていたさせたまへりけれはたまはりて
忘草おふるのへとはみるらめとこはしのふなりのちもたの
まん 5 4 3 2 1

武 ①はさまをはさま高
古 ①おとこををとこ相 後涼殿せりりやうてん最 後清涼殿時 やむことなき人の御つほねヤムコトナキ

人ノ御ツホネ時 ② わすれくさしのふ草宵 しのふくさしわすれくさ宵 しのふ最 いたさせたまへりけれ
は―出させたまひければ最 ④ おふる―をふる最時 みるらめと―しるらめと爲

大

① 後涼殿―こうらう殿大 やむことなき人の―やうことなき人の大―やむことなき神 ② いたさせたまへりけ
れは―いたさせ給ければ神 ③ たまはりて―給はりて(コノ次ニ二條后とそト註記アリ)大 ④ おふる―をふる
大 みるらめと―みゆらめと神 たのまん―たのまむ(コノ次ニ二條のきさきとそト註記アリ)神

差

① 後涼殿―弘徽殿不群丹 わたりければ―わたりたりければ不群丹 ② いたさせたまへりければ―さしいたさ
せたまへりければ不群丹 ④ おふる―をふる不

昔男後涼殿之追乎渡計禮者或貴人之御局從萱草乎忍草及哉云與而出佐世給計禮波賜
而

忘草生野邊與波見覽目與是者忍也後毛將手飲

眞 ⑥ 後毛將手飲―後毛將手飲内

二〇二 むかし左兵衛督なりける在原のゆきひらといふありけりその
人の家によきさけありとき、てうへにありける左中辨ふちは

3 らのまさちかといふをなむまらうとさねにてその日はあるし
4 まうけしたりけるなさけある人にてかめに花をさせりその花
5 のなかにあやしきふちの花ありけり花のしなひ三尺六寸はか
6 りなむありけるそれをたいにてよむよみはてかたにあるしの
7 はらからなるあるし、たまふとき、てきたりければとらへて
8 よませけるもとよりうたのことはしらすりければすまひけれ
9 としゐてよませければかくなん
10 さく花のしたにかくる、人をほみありしにまさるふちのか
11 けかもなとかくしもよむといひければおほきおとゝのゑい花
12 のさかりにみまそかりて藤氏のことにかかゆるをおもひてよ
13 めるとなんいひけるみなひとそしらすなりにけり

天 ⑨ しゐて―ナシ紹 ⑩ 人をほみ―人をほみ冷玄色重―人おほみ紹

武

②ありときよてうへにありとてうへに四ありときよてうへに岩宮 ④したりけるしたりけり高 ⑥よみはてかたによみはてかたき到高 ⑦とらへてよませけるとらえてよませける高 ⑩人をほみ一人をおほみ四岩宮尊高 ⑫おもひて思いて高

流

①むかし左兵衛督なりけるむかし右兵衛督なりける七 在原の在原千 といふありけりといふ人ありけり明 ②家いへ飛いゑ一 ありときよてうへにありとてうへにありときよてうへに隆 ありときよてうへにありける以下ひとそしらすなりにけり途一葉落丁片 ④させりさせりけり雅 ⑤はかりなむナシ雅 ⑥よむうたよむ明 よみはてかたによみはてかたに置 ⑦したまふとしたまうと飛 ⑧よませけるよませけり明隆 ⑩人をほみ一人をおほみ千雅一人をおほみ七飛山一隆置片雅 ありしにありにし千 ⑪などいなんと七 ゑい花のゑいくわの明 ⑬いひけるみなひといひけるみな人隆

古

①むかし左兵衛督なりけるむかし左兵衛督長むかし左ひやうへのかみなりける最 在原の在原長 といふありけりといふ人ありけり宵最時 ②家いゑ最時 ありときよてうへにありときよてうへに最 ③といふをなむまらうとさねにてといふをまふけて最トイフヲナムマラウトサネニテ時 あるしまうけしたりけるあるしまうけしたりけり宵あるしまふけしたりける最 ④なさけあるナシ最 花をさせり時の花をさせたり宵 花のなかに花のなかき(に)榮 ⑤あやしきあやあやしき榮 しなひしなひ最 ⑥たいしたぬ最 よむそこなる人々歌よむ宵ナシ最歌ヨム時 ⑦あるしまふあるしまうけしたまふ宵あるしまふけしたぬ最アルシマウケシ給時 きよてきたりきよいそき來り宵 とらへてトラニテ時 ⑧

大

①といふありけりといふ人ありけり大神 その人のその人神 ②家いゑ大神 よきむまき神 ふちはらのまさちかまちか大 ③といふをなむまらうとさねにてといふなんまらうとさねにて大神 あるしまうけしたりけるあるしまうけたりける大神 ④花をさせり花をさしたりける神 その花のなかにあやしきふちの花ありけりナシ神 ⑤三尺六寸はかりなむありける三尺あまりむきありけり大三尺あまりむきありける神 ⑥よみはてかたよみはてつかた神 ⑦はらからなるはらから大神 あるしまふあるしまふたう大あるししたふ神 とらへてよませけるとらへてよませたる大とくよませけり神 ⑧よませければよませは神 ⑩さく花のしたにさくらはなしたに大さく花のかけに神 人をほみひとおほみ神 ⑪かくしもかうしも大神 おほきおととおほきをとと大 ゑい花のゑえはの大 ⑫みまそかりてみまそかりて大 ⑬みなひとそしらすなりにけりみな人しらすなりにけりおほきをととは忠仁公藤原のさかゆるとはこのおとこのことなり神

蓋 此段ナシ

昔左兵衛督在計流在原行平與云人在計利其人家爾美旨酒在與聞而上爾在計流左中
辨藤原良近與云人乎何其日客真爾而其日者主儲爲多利情在人爾而瓶爾花乎撻多利其
花之中爾文敷藤花在計利花幾三尺餘何在計流其乎題爾而歌讀々終方爾主之朋比有主
之儲爲給與聞而來計禮波捕而讀世計流自本歌之詞不知計禮者撰計禮與推而讀世計禮
波是何

咲花之下爾所隱人多在志爾增藤之影鴨何是志毛讀與云計禮者太政大臣之蜻蛉榮爾
御在而藤氏之殊爾榮乎思而讀與何云計流皆人不鳴成爾計流

眞 ①左兵衛督—左衛督内—左衛門督桂九 在原行平與云人—在原行平與與云人九 ②歌讀々終方爾—歌讀
終方爾内天 ③咲花之—笑花之天 ④御在而—御坐而天

二三 むかしおとこ有けりうたはよまさりけれと世中を思しりたり 1
けりあてなる女のあまになりて世中を思うんして京にもあら 2
すはるかなる山さとにすみけりもとしそくなりければよみて 3

やりける

そむくとて雲にはのらぬ物なれと世のうきことそよそにな 5
るてふとなんいひやりける齋宮の宮也 6

天 ③もとしそくなりければ—もよりしそくなりければ重

流 ①うたはよまさりけれと世中を思しりたりけり—ナシ七 ②世中を—ナシ千 ③もとしそくなりければ—もと
のしそくなりければ雅 ④やりける—やれりける飛—やりけり—やれりけり片 ⑤物なれと—物なれや片

古 ①思しりたりけり—おもひしりたりける宵—思ひしりけり最 ②思うんして—おもひうつして慈 ③もとしそ
くなりければ—もともそくなりければ最 ④物なれと—物なれは宵 ⑤となんいひやりける齋宮の宮也—とな
むいひやりける宵—となむいひける最

大 ①世中を—世中をは大 ②女の—女大 思うんして—思ひにして大—思にうして神 ③しそくなりければ—し
ふらなりければ大 ④やりける—やれりける神 ⑤うきことそ—うき事の大 よそになるてふ—よそになるら
ん大 ⑥となんいひやりける齋宮の宮也—といひやりける齋宮なり大—となむいひやれりける神

蓋 ①うたはよまさりけれと—うたはたよまさりけれと不群丹 思しりたりけり—おもひしりたりける不群丹 ②
思うんして—おもひくわんして不群丹 ③もとしそくなりければ—もとしたしかりければ不群丹 ④よそにな
るてふ—よそになるてう不 ⑤となんいひやりける齋宮の宮也—ナシ不群丹

昔男在計利歌者得不讀計禮與世乎少思知多利計流高貴在女之尼爾成而世中乎思入禮
而花城爾毛不有遙在山家爾住計利木氏族成計禮波讀而遣計流

倭左雲爾者不乘魂在常世之浮事社空爾成云

眞

①世乎—世中乎内桂九 思入禮而—思入禮與九 ②讀而遣計流—讀遣計流内桂九天 ③倭左—倭左天
世之浮事社—世乎浮事社内桂九

103

むかしおとこ有けりいとまめにしちようにてあたなる心なか
りけりふか草のみかとなむつかうまつりける心あやまりや
したりけむみこたちのつかひたまひける人をあひいへりけり
さて

ねぬる夜の夢をはかなみまとろめはいやはかなにもなりま
さる哉となんよみてやりけるさるうたのきたなけさよ

天

①あたなる—あてなる色
②みかとなむ—みかとも(に)なむ四 ③さる—ナシ高

流

①いとまめにしちようにて—いとまめししちやうにて七 ②つかうまつりける—つかふまつりける片推 ③あ
ひいへりけり—あひいへりける量 ④さて—さてよめる明 ⑤となんよみて—なんよみて明

古

①おとこ—をとこ最 ②いとまめにしちようにてあたなる心なかりけり—いとまめにしちや(よ)うにてあたなる
心なかりけり榮—その男いとまめにしちようにてあたなる心なかりけり宵—いとまめにしちや(よ)うにてあたなる
り最 ③みかとなむ—みかとに良最 つかうまつりける—ツカフマツリケル時 心あやまりや—あやまりや
爲—心のあやまりや最 ④みこたちのつかひたまひける人—みこたちのつかうたまひける女を宵—みこたち
つかいたまるける女を最 ⑤さて—さてあしたによみてやる宵 ⑥きたなけさよ—きたなけさよ爲

大

①いとまめにしちようにて—いとまめにしちよふにて大—そのおとこいとまめにしちや(よ)うにて神 ②みかとなむ—み
かとなむ 心あやまりや—ころあやまりや大—さのことくしてつかうたまひけるころ心あやまりや神 ③みこ
たちのつかひたまひける人—みこたちのつかひける人を大—みこたちのつかひたまひけるを神 あひいへ
りけり—あひ侍りけり大神 ④さて—さてあしたによみてやりける神 ⑤ねぬる夜の—ねたるよの大 ⑥と
なんよみてやりけるさるうたのきたなけさよ—五條后とそ大—ナシ神

塗

①いとまめにしちようにてあたなる心なかりけり—ナシ不群丹 ②みかとなむ—御門に不群丹 つかうまつ
りける—つかふまつりけりその男あたなるころなかりけり不—つかうまつりけりそのおとこあたなる心なか
りけり群丹 ③みこたちのつかひたまひける人—みこたちのめしつかひ給ける人を不群丹 あひいへりけり
—あひしりにけり不群丹 ④さて—さて朝にいひやる不群丹 ⑤いやはかなにも—いやはかなくも不群丹 ⑥

となんよみてやりけるさるうたのきたなけさよーナシ不群丹

昔男在計利最儼爾實用爾而化在心無計利深草帝爾何祝承計流心愆哉將爲親王達之仕
給計流人乎會云利計利然

寢宿夜之努乎慕無見覽者彌墓無毛成勝哉諾何讀而遣計流然歌之穢無氣佐余

眞 ①深草帝爾何—深草帝何天 親王達之—親王達三九

一〇四 むかしことなることなくてあまになれる人有けりかたちをや
つしたれと物やゆかしかりけむかものまつりみにいたりけ
るをおとこうたよみてやる

世をうみのあまとし人を見るからにめくはせよともたのま
る、哉これは齋宮の物みたまひけるくるまにかくきこえたり
ければみさしてかへり給にけりとなん

武 ①あまに—あまもに(四)

1 2 3 4 5 6

流 ④めくはせよとも—めくわせよとも隆 ⑤きこえたりければみさしてかへり給にけり—ナシ片 ⑥かへり給に
けりとなん—かへり給にけるとなむ雅

古 ①ことなる—おとことなる最 なれる—なれりける良最 有けり—有ける慈 かたちを—かたちをは背 ②
いたりけるを—いたりける承 ③おとこうたよみて—をとこうたよみて相—みてをとこうたよみて最

④めくはせよとも—めくわせよとも背最 ⑤物みたまひけるるまに—物みたまひけるに最 ⑥きこえたりけれ
は—きこえければ背最 ⑦かへり給にけりとなん—かへりたまひにけるとなむ慈—かゑりたまひけりとなむ最
—カエリ給ニケリトナム時

大 ②まつりみに—まつりにみに神 いたりける—いたりたる大—いたりたつ神 ③おとこ—をとこ大 やる—やれ
りけり神 ④みるからに—みなからに神 ⑤これは以下第五段白露はノ歌迄ナシ原本ニ一葉落丁アリタルナ
ルベシ神 ⑥これは—かへしいとおもしろくてやらむとするに物みやあはてけんいはすなりにけりこれは大 ⑦

かへり給にけりとなん—かへり給にけりとなん大

塗 ①やつしたれと—やつしたれとも不群丹 ②物やゆかしかりけむ—ものゆかしかりけん不群—物ゆかしかり丹
いたりけるを—いたりたるを不群丹 ③おとこうたよみて—をとこよみて不—男よみて群丹 ④めくはせよと
も—めくわせよとも不 たのまら、哉—おもほゆる哉不群丹 ⑤これは齋宮の以下かへり給にけりとなん迄ナ
シ不群丹

昔異在事無而尼爾成計流人在計利貌乎志有望物哉由賀志借計無賀茂祭見爾出有乎夫

1

歌讀而遣

世乎海之泉郎與志人乎乍見爾胸世余毛所手飲哉是者齋宮之物見給計流車爾是聞多
利計禮波殘而返給爾計利與何

眞 ①昔異在事無而—昔異在事無而内 成計流—成禮利内桂九 出有乎—出有乎(計流)内 ②所手飲哉—所
念哉内桂九天 是者齋宮之物見給計流車爾是聞多利計禮波殘而返給爾計利與何—ナシ内桂九—是者齋宮
之物見給計流車爾是聞多利計禮波殘而返給爾計利與何天

一〇五 むかしおとこかくてはしぬへしといひやりたりければ女
白露はけなはけなゝんきえすとてたまにぬくへき人もあら
しをといへりければいとなめしと思けれと心さしはいやまさ
りけり

武 ②白露は—白露の尊
流 ②けなはけなゝんきえすとて—けなはけなゝんきえすとも明 ③いとなめしと—いとらめしと七 いやまさ
りけり—いやまさりける片

古 ①おとこ—をとこ相 といひやりたりければ—といひやりければ慈—トイヒヤリケレハ時 女—おんな爲
②白露は—しら玉は最 けなはけなゝんきえすとて—けなはけなゝんきえすとて最 ③いとなめしと—いと
めしう最 心さしは—心さし最
大 ①かくては—かうては大 ④いやまさりけり—いやまさりなりけり神
塗 ②けなはけなゝんきえすとて—けなはけなゝんきえすとも不—けなは消なんきえすとも群丹 ⑤といへりけ
は—といへりければ不 いとなめしと—ねたしと不群丹

昔男右而者可死與云遣多利計禮波女

金露者消勿者消勿何不消與而玉爾可貫人毛不有乎

眞 ①右而者—在而者天

一〇六 昔おとこみこたちのせうえうし給所にまうて、たつた河のほ
とりにて
ちはやふる神世もきかすたつた河からくれなゐに水くゝる
とは

天 ①せうえう―せうより色重
 流 ①ほとりにて―ほとりに片
 古 ①おとこ―をとこ相 ②神世もきかす―神代もきかす良
 大 ③神世もきかす―神よもしらす大 からくれなるに―からくれなひに神
 塗 ①せうえう―せうえう不 ③神世もきかす―神よもしらすぬ不群丹 からくれなるに―からくれなひに不

昔男親王達之逍遙爲給所爾參而龍田河之頭爾而

千磐破神代毛不聞龍田河唐紅爾水通與波

眞 ①親王達之―親王達天

2 1

107 むかしあてなるおとこありけりそのおとこのもとなりける人
 を内記に有けるふちはらのとしゆきといふ人よはひけりされ
 とわかければふみもおさくしからすことはもいひしらすい
 はむやうたはよまさりければかのあるしなる人あんをかきて

4 3 2 1

かゝせてやりけりめてまとひにけりさておとこのよめる
 つれくのなかめにまさる涙河そてのみひちてあふよしも
 なし返しれいのおとこ女にかはりて
 あさみこそ、てはひつらめ涙河身さへなかるるときかはたの
 まむといへりければおとこいといたうめて、いま、てまきて
 ふはこにいれてありとなんいふなるおとこふみをこせたりえ
 てのちの事なりけりあめのふりぬへきになんみわつらひ侍み
 さいはひあらはこのあめはふらしといへりければれいのおと
 こ女にかはりてよみてやらす
 かすく、に思ひおもはずとひかたみ身をしる雨はふりそま
 されるとよみてやれりければみのもかさもとりあへてしと、
 にぬれてまとひきにけり

5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

天

④うたはよまさりければ―うたは元よまさりければ色―うたは元よまさりければ重 あんをかきてかゝせてやりけり―あんをかきてやりけり玄 ⑤さておとこのよめる―さておとこよめる東 ⑩をこせたりえてのちの事なりけり―おこせたりえてのちの事なりけり東 ⑮とりあへて―とりあへず東

武

②されとわかければ―されとまたわかければ四岩宮尊高 ④かの―この四岩宮尊高 ⑤さておとこのよめる―さておとこのよめる宮 ⑩をこせたりえてのちの事なりけり―をこせたりえてのちの事なり高 ⑪みわつらひ侍―みわつらい侍高 ⑮とりあへて―とりあへず尊

流

②内記に有ける―なひきに有ける飛 されとわかければ―されとまたわかければ千七飛山明一豊片雅―されとまたわかければ隆 ③おさ／＼しからす―をさ／＼しからす千 ④うたはよまさりければ―うたは元よまさりければ千七 かの―この飛山明一隆豊片 あんをかきてかゝせてやりけり―あんをかきてやりけり飛 ⑥ひちて―ぬれて― ⑧ひつらめ―ひつらめ明 ⑨いといたう―いといたふ片 ⑩をこせたりえてのちの事なりけり―をこせたるえてのちの事なりけり七―おこせたりえてのちのことも也けり山 ⑫さいはひ―さいはい明豊雅

古

①おとこ―をとこ相 ありけり―有ける宵 そのおとこ―そのをとこ相最 ②内記に有ける―うちにありける最 としゆきといふ人―としゆきの(と)いふ人最 よはひけり―よはひける慈 されとわかければ―されとまたわかければ相爲良承骨最時―されとまたわかければ榮 ③おさ／＼しからす―をさ／＼しからす爲良榮最時 ④うたはよまさりければ―歌は元よまさりければ相爲良承骨時―うたは元よまさり最 ⑤うたはよまさりければ―歌は元よまさりければ相爲良承骨時―うたは元よまさり最

大

かめ―この慈 あるしなる人―あるしなるおとこなむ最 ⑤やりけり―やりければ最 めてまどひにけり―それをめてまどひにけり宵―めてまどひにけり最 さておとこのよめる―さてをとこのよめる相最―さておとこのよめる榮 ⑥ひちて―ぬれて(ひちて)最 ⑦返し―返事最―カヘ(エ)シ時 れいのおとこ女にかはりて―れいのをとこ女にかはりて相爲―れるのおとこ(女)はりて最 ⑧身さへ―ミサエ時 ⑨おとこ―をとこ相 ⑩いまてまきて―マキテ時 ⑩おとこ―をとこ相 をこせたりえてのちの事なりけり―をこせたりえてのちの事なりける慈―おこせたりえてのちの事なり宵―をこせたりえてのちの事なりけり最 ⑪みわつらひ侍―みわつらひ侍榮―みわつらひ侍宵―わつらひはんへる最―ミワツラヒ侍時 ⑫さいはひ―さいはい良―さいはひ榮―さいわひ慈―さいはる最 このあめは―このあめ相良最 といへりければ―といえりければ爲時 れいのおとこ―れいのをとこ相爲―れるのをとこ最 ⑭あもはす―をもはす爲 ⑮とよみてやりければ―とよみてやりければ爲最 ⑯とりあへて―とりあへて爲時―とりあへず宵最 ⑰まどひきにけり―まどひにけり良 ⑱されとわかければ―されとまたわかければ大神 ⑲おさ／＼しからす―をさ／＼しからす大神 ことはもいひしらす ナシ大 ⑳うたはよまさりければ―歌も元よまさりければ大―うたは元よまさりけりされは神 ㉑やりけり―やりけり神 さておとこのよめる―さてをとこのよめる大 ㉒ひつらめ―ひつてへ神 きかはたのまむ―いはたのまんだ ㉓いまてまきて―いままきて神 ㉔ふはこにいてありとなん―ふはこにいてありとなん大―ふはこにいてあるくとなむ神 ふみ―女のもとにふみ神 をこせたりえてのちの事なりけり―をこせたりえてのちの事なり大 ㉕あめの―あめ大 みわつらひ侍―みわらひ侍大 ㉖このあめは―こ

のあめ神 といへりければ—といひければ大 れいのおとこ—れいのをとこ大 ⑤よみてやらす—ナシ大 ⑤
みのかさも—みのかさも神

塗

①あてなる—なまあてなる不群丹 おとこ—男のもとにこたち不群丹 ありけり—ありける不 そのおとこの
もとなりける人を—それを不群丹 ②内記に有ける—内記なる不群丹 されとわかれば—このをむなかほか
たちはよけれといまたわかかりければにや不群丹 ③おさ／＼しからす—をさ／＼しからす不 ④かの—この
不群丹 あるしなる人—あるしなりける人不群丹 あんをかきてか／＼せてやりけり—文案をかきて女にかきう
つさすてかゑりことはしけり不—ふみのあむをかきて女にかきうつさすてかへりことはしけり群丹 ⑤め
てまとひにけり—ことはいかゝありけんめてまとひて不群丹 きておとこのよめる—をとこよめりける不—男
のよめりける群丹 ⑥あふよしもなし—逢よしもしし不 ⑦返し—かゑし不 れいのおとこ女にかはりて—れ
ひのをむなにかはりて不 ⑧身さへ—身さゑ不 ⑨といへりければ—といゑりければ不 いと—ナシ不群丹
いまよてまきて—ナシ不群丹 ⑩ふはこにいれてありとなん—ふみはこにいれてもてありくとそ不群丹 おと
こ—をなしをとこあひてのち不—おなし男あひてのち群丹 をこせたりえてのちの事なりけり—をこせたりま
うてこんとするに不群丹 ⑪ふりぬへきになん—ふるになむ不群丹 みわつらひ侍—みわつらひぬる不—みわ
つらひぬ群丹 ⑫このあめは—この雨不群丹 といへりければ—といゑりければ不 れいのおとこ—れひのを
とこ不 ⑬よみてやらす—ナシ不群丹 ⑭おもはず—おもはぬ不群丹 ⑮とよみてやれりければ—とてやりた
りければ不群丹 とりあへて—とりあえて不 ⑯にぬれてまどひきにはけり—ナシ丹 まどひきにはけり—まどひ

きけり不群

昔高貴成男在計利其夫之許有計流人乎裏爾有計流内記有計流藤原敏行與云人夜這計
利然與未稚計禮者文毛不斡況哉歌者獲不讀計禮者此主有人案乎書而書世而遣計利可
愛迷計利然男讀

徒然之長雨爾倍淚河袖耳沾而會夜志毛無返例男女爾代而

淺水社袖者漬覽目淚河身副流與聞者將特諾云計禮者壯士最痛可愛而文宮爾入而用

行而何云有夫文乎遣多利得而後之事成計利雨零怒可爾何身佗侍怒流身有德者此雨者

不零與云計禮波例之夫女爾代而讀而遣

數々爾思不念問難美身乎知雨者零社所倍諾讀而遣利計禮者蓑笠毛不取敢志士々爾

沾而迷來爾計利

1 2 3 4 5 6 7 8 9

眞

①裏爾有計流—内裏爾有計流九—ナシ天 ②此主有人—彼主有人天 案乎書而書世而—案乎書而書世而内—案
乎書世而天 ③聞者將特—聞者將特天 用行而何—用行與何天 ④雨零怒可爾—雨零怒可爾九 身佗侍—身佗
侍天 ⑤諾讀而遣利計禮者蓑笠毛不取敢志士々爾沾而迷來爾計利—ナシ内桂九—諾讀而遣利計禮者蓑笠毛不取
志士々爾沾而迷來爾計利天

二只 むかし女ひとの心をうらみて

風ふけはとはに浪こすいはなれやわか衣手のかはく時なき

とつねのことくさいいひけるをきゝおひけるおとこ

夜ることにかはつなあまたなくたには水こそまされ雨はふ

らねと

天 ④夜むことによひことに紹

流 ②とはに―とは(に)飛 衣手の―ころもては片 ③きゝおひける―きゝをひける千豊片 ④夜むことに―よひ

ことに千七飛山明雅

古 ①むかし女ひとの心をうらみて―ナシ最 女ひとの―女の爲 ③とつねの―つねの最 きゝおひける―きゝを

ひける爲良―おひける慈―きゝおひける宵―きゝをりける最―キ、ライケル時 おとこ―をとこ相最 ④夜

むことに―よひことに榮宵―ヨヒ(半朱)コトニ時

大 ①心―事大 ③きゝおひける―きゝをりける大―きゝおもひける神 ④夜むことに―よひことに大神

②いはなれや―いはなれや不群丹 ③きゝおひける―きゝをよひける不群丹 ④夜むことに―よひことに不

あまたなくたには―いたくなくなるは不群丹

昔女人之心乎怒而

風吹者不止爾浪越磐成哉吾衣手之乾辰無諾常之言種爾云計流乎聞居計流壯士

每宵蝦蟇津數唱谷者水社倍雨者雖不零

二只 むかしおとこともたちの人をうしなへるかもとにやりける 1

花よりも人こそあたになりにつれをさきにこひんと 2

かみし 3

流 ①人を―人をし飛

古 ①うしなへるかもとに―うしなへるもとに慈―ウシナエルカモトニ時 ②こひんとかみし―こひとかみし慈―

コヒムトカセシ時

大 ①此段歌ノミアリ神 うしなへる―うしなへりける大 やりける―やれりける大

②うしなへるかもとに―うしなへるかもとに不 やりける―いひやりけり不群丹 ②なりにつれ―成にける不

群丹

小式部内侍本 ①うしなへるかもとにうしなへるに小 やりけるいひやりける小

昔男朋友之人乎所疾之許江遣計流

從花毛人社化爾成爾計禮幾乎前爾戀與歟所見

2 1

二〇 むかしおとこみそかにかよふ女ありけりそれかもとよりこよ
 ひゆめになんみえたまひつるといへりければおとこ
 おもひあまりいてにしたまのあるならん夜ふかくみえはた
 まむすひせよ

4 3 2 1

流 ①こよひゆめになんこよゆめになむ ②たまむすひせよたの(ま)むすひせよ明

古 ①おとこをとこ相最 ②みえたまひつるみえたまる最 おとこをとこ相ナシ爲 ③おもひあまり

大 ②みえたまひつるみへたまひつる神 ③みえはみへは神

塗 ①みそかに忍て不群丹 こよひゆめになんこよひなむゆめに不群丹 ②みえたまひつるみえつる不み

えつる群丹 といへりければといえりければ不 おとこをとこ不 ③おもひあまり一懸わひて不群丹

えはみえは不

昔男潛爾通所在計利爾之許從今宵努爾何見給津流與云計禮者夫

思余出爾志魂之將在夜深見者玉結作余

2 1

眞 ①通所在計利通所女在計利天 云ナシ天

二三 昔おとこやむことなき女のもとになくなりけるをとふらふ
 やうにていひやりける
 いにしへはありもやしけん今そしるまたみぬ人をこふるも
 のとは返し
 したひものしるしとするもとけなくにかたるかことはこひ
 すそあるへき又返し
 こひしとはさらにもいはし、たひものつけむを人はそれと
 しらなん

8 7 6 5 4 3 2 1

武 ①とふらふやうにて—とふらうやうにて高 ③いにしへは—いにしへや四—いにしへや(は)岩宮

流 ③ありもやしけん—ありもやすらむ片

古 ①おとこ—をとこ相—ナシ最 なくなりにけるを—人のなくなりけるを良—なくなりける人を育時 とふ

らふやうにて—トフラウヤフニテ時 ②いひやりける—いひやれる相 ③いにしへは—いにしへや慈—イニシ

エハ時 こふるものとは—こふるものは爲最 ④返し—返事承—また返事最 ⑤かたるかことは—かゝるか

ことは良宵時—かたることも最 こひすそあるへき—こひすそ在ける最 ⑥返し—カエシ時 ⑦さらにもいは

し—さらにもいわし最 したひもの—したひもの慈 それとしらなん—我ししらなん最

大 ①やむことなき女のもとに—ナシ大神 なくなりにけるを—なくなりける女を大神 とふらふ—とふらう大

②いひやりける—いひやる大神 ③しけん—すらむ大 ④返し—女かへし大 ⑤しるしと—しるしに神 こひ

すそあるへき—こひすもあらなむ神 ⑥又返し以下それとしらなん迄細字書入レ大—ナシ神

差 ①やむことなき女のもとに—やむことなき女に不群丹 なくなりにけるを—なくなれりける人を不群丹 ②い

ひやりける—いひやれる不群丹 ③ありもやしけん—ありもやすらん不 ④返し—をむなかゑし不—をんな返

し群丹 ⑥又返し以下それとしらなん迄ナシ不群丹

小式部内侍本 ①やむことなき女のもとに—ナシ小 なくなりにけるを—なくなりける女を小 とふらふやう

にて—とふらうやうにて小 ②いひやりける—いひやれる小 ③ありもやしけん—ありもやすらむ小 ④返し

—女小 ⑤かたるかことは—かたるかことは小 こひすそあるへき—こひすそありける小 ⑥又返し以下それ

としらなん迄ナシ小

昔男貴人之許爾無成多流女乎詢様爾而云遣

古者有毛哉將爲今社知又不見人乎戀物與波

眞 ①貴人之許爾—男貴人(女)之許爾九

昔男顔強借計流人之許爾

戀與者更爾毛不謂下紐之將解乎人者其與知何返

下紐之指南與爲流毛解莫爾如是鹿言者不懸社可有

二三 むかしおとこねむころにいひちきりける女のことさまになり

にければ 2

すまのあまのしほやく煙風をいたみおもはぬ方にたなひき 3

にけり 4

天 ①いひちきれ(りけ)る—いひちきれ(りけ)る冷—いひちきれる東

武 ① いひちきりける―いひちきれる四岩宮尊高 ② たなひきにけり―たなひきけり高

流 ① いひちきりける―いひちきれる千七飛山明一豊片

古 ① おとこ―をとこ相 いひちきりける―いひちきれる相爲良承慈最時 女のことさまになりければ―女こと
さまになりければ承

大 ① いひちきりける―いひちきれる大神

塗 ① いひちきりける―いひちきれる不群丹 なりにければ―なりにけるを不群丹

昔男鄭重爾云契女之異様爾成爾計禮者

阪磨之泉郎之鹽燒煙風乎痛不念方爾棚引逃利

眞 ① 成爾計禮者―成計禮者天

二三 昔おとこやもめにてゐて

な ① なかゝらぬいのちのほとにわするゝはいかにみしかき心な
るらん

流 ① やもめにてゐて―やもめにて明 ② なかゝらぬ―なかゝらむ干

古 ① おとこ―をとこ相 ② なかゝらぬ―なかゝらむ相―なかにぬ慈

塗 ① おとこ―をとこ不

昔男在計利鰥爾而居而

不永命之間爾所忘者如何短心在覽

二四 むかし仁和のみかとせり河に行幸したまひける時いまはさる

こと ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
かゝひにてさふらはせたまひけるすりかりきぬのたもとにか
きつけゝる
おきなさひ人なとかめそかり衣けふはかりとそたつもなく
なるおほやけの御けしきあしかりけりをのかよはひを思けれ
とわかゝらぬ人はきゝおひけりとや

天 ① せり河に行幸したまひける時―せり河の(に)行幸したまひける時重

武 ① せり河に行幸したまひける時―せり河に行かうしたまふける時高 ② すりかりきぬの―すりかりきぬすりか

りきぬの宮

流

②おほたかのたかゝひ―大かたのたかゝひ七 ⑦きゝおひけりとや―きゝゝをひけりとや千豊片―きゝおひけりとそ七

古

①せり河に行幸したまひける時―せり河に行幸したまひける時榮―せり河に行かう給ける時慈―せり河に行かうしたまひける時は最―セリカハニキヤフカウシ給ケル時時 いまはさることになく―さることになく ②おほたかのたかゝひ―おほかたのたかかひ承―大かたのたかゝり最―ヲホタカノタカ、イ時 ③さふらはせたまひける―さふらはせたまひけり相―さふらはせたまひける最 ④けふはかりとそ―今日はかりこそ承 ⑤おほやけ―ヲホヤケ時 御けしき―御きそく最 あしかりけり―あしかりける榮―あたりける慈 をのかよはひを―おのかよはひを相―をのかよはひを背―をのかよわひを最―ヲノカヨハイヲ時 思けれと―思ひやりけれと最 ⑦きゝおひけりとや―きゝゝをひけりとや爲―きゝおひしけりとか背―きゝゝをひけりとやいかに最―キ、ツイケリトヤ時

大

①仁和のみかと―仁和寺のみかと大 せり河に行幸したまひける時―せりかはにみゆきしたまひけるときに神いまはさることになく―なまをきなのさるにけなく大―なまおきなのいまはさることはけなく神 ②もとつきにける事なれば―ことつきにければ大 おほたかのたかゝひ―おほかたのたかゝひ大 ③さふらはせたまひける―さふらはせ給けり大神 かきつけゝる―かきつけたりける神 ④おきなさひ―をきなさひ大 けふはかりとそ―けふはかりとそ大 ⑦きゝおひけりとや―きゝゝをひけり大―きゝゝをひけり神

釜

①仁和のみかと―ふかくさの御門の不群丹 せり河に行幸したまひける時―せりかはにみゆきしたまひけるに不群丹 いまはさることにけなく―なまをきなのいまはさることにけなく不―なまおきなのいまはさることにけなく群丹 ②おほたかのたかゝひ―おゝかたのたかゝひ不―おほかたのたかゝひ群丹 ③さふらはせたまひける―さふらひ給けるを不群丹 かきつけゝる―つるのかたをつくりてかきつけゝる不群丹 ④おきなさひ―をきなさひ不 ⑥御けしき―御きそくも不群丹 をのかよはひを―をのかよはひお不―をのかよはひ群丹 ⑦わかゝらぬ人は―わかゝらぬ人不群丹 きゝおひけりとや―きゝゝとかめけり不群丹

皇太后宮越後本

①せり河に行幸したまひける時―せりかはにみゆきし給けるに越 いまはさることにけなく―なまをきなのいまはさる事になく―越 ②思けれと―思ひけれとも越 もとつきにける事なれば―本さうつきにけることなれば越 おほたかのたかゝひ―おほかたのたかゝひ越 ③さふらはせたまひける―さふらはせ給けり越 かきつけゝる―かきつけたりける越 ④けふはかりとそ―けふはかりとそ越 たつもなくなる―かりもなくなる越 ⑦きゝおひけりとや―きゝゝをひけり越

1 普仁和帝芹河爾行幸爲給計流時生翁之今者然事爾計無思計禮與毛本付爾計流事奈禮
2 者大方之應飼爾而候波世給計流摺狩衣之袂爾鶴乎綴而書付計流中將成計流翁
3 翁佐備人勿科日莫借衣今日者狩與社田津毛鳴成公之御氣色惡借計利己之齡乎思計
4 禮與和歌不知人者聞及計流與賀哉

眞 ①爾計無思計禮與毛―爾計無思計禮與毛天 ②候波世給計流―候波世給計利内桂九 ④聞及計流與賀哉
―聞居計流事也内桂九天

一五 むかしみちのくに、ておとこ女すみけりおとこ宮こへいなん 1
といふこの女いとかなしうてうまのはなむけをたにせむとて 2
おきのゐてみやこしまといふ所にてさけのませてよめる 3
をきのゐて身をやくよりもかなしきは宮こしまへのわかれ 4
なりけり 5

天 ④をきのゐて―おきのゐて紹
武 ②うまのはなむけをたに―むまのはなむけをたに高 ③おきのゐてみやこしま―おきのゐる宮こしま四岩尊高
④をきのゐて―おきのゐて尊高
流 ②いとかなしうて―いとかなしうて片 うまのはなむけをたに―むまのはなむけをたに千飛山明一豊片雅 ③
おきのゐてみやこしま―をきのゐてみやこしま千―をきのゐるみやこしま七―おきのゐるみやこしま飛山明一片
④をきのゐて―おきのゐて飛明豊片雅

古 ①おとこ女―をとこ女相爲最 すみけり―すみける慈 おとこ―をとこ相爲 宮こへ―ミヤコニ時 ②この―
ナシ承最 いとかなしうて―いとかなしくて良慈最 うまのはなむけをたに―むまのはなむけをたに爲良宵時
―むまのはなむけをたにも榮―むまのはなむけを最 ③おきのゐてみやこしま―をきのゐてみやこしま爲―お
きのゐる宮こしま慈 さけのませて―さけのませて榮 ④をきのゐて―おきのゐて爲榮慈宵最時 身をやくより
も―みおやくよりも爲 わかれなりけり―ナシ最
大 ①此段ナシ大 ②いとかなしうて―いとかなし神 うまのはなむけをたに―むまのはなむけをたに神 ③おき
のゐてみやこしま―おきなゐるゐてみやこしま神 ④をきのゐて―をきなゐるゐて神 身をやくよりも―身をやく
よりは神 かなしきは―わひしきは神 宮こしまへの―みやこへしまの神
塗 ①みちのくに―て―みちのくに―不群丹 おとこ女―男不群丹 おとこ―ナシ不群丹 宮こへいなんといふ―
京へいなんとするに不―みやこへいなんとするに群丹 ②この―ナシ不群丹 いとかなしうて―いとかなしと
思て不群丹 うまのはなむけをたに―むまのはなむけをたに不―むまのはなむけをたに群丹 ③おきのゐてみ
やこしま―をきのゐるみやこつしま不―おきのゐるみやこつしま群丹 さけのませて―さけのませんとして不群丹
④をきのゐて―をきのゐて不―おきのゐて群丹 身をやくよりも―身おやくよりも不 かなしきは―わひしき
は不群丹 宮こしまへの―みやこつしまの不群丹 わかれなりけり―わかれなりけりとよめりけるにめて―と
まりにけり不群丹

皇太后宮越後本 ①みちのくに―て―みちのくに―越 おとこ女―をとこ女越 おとこ―をとこ越 ②いとかな
二九五

しうて—いとかなしむ越 うまのはなむけをたに—むまのはなむけをたに越 ⑤おきのゐてみやこしま—をきのゐてみやこしま越 ④身をやくよりも—みのやくよりも越

小式部内侍本

①みちのくに—て—みちのくに—小 ②いとかなしうて—いとかなし小 うまのはなむけをたに—むまのはなむけをたに小 せむとて—せん小 ③おきのゐてみやこしま—をきのゐてみやこしま小 といふ所にて—となんそにて小 ④わかれなりけり—わかれなりけりとよめるにめて—とまりにけり小

眞

此段ナシ

二六 むかしおとこすゝろにみちのくにまてまどひいにけり京にお

もふ人にいひやる 2

浪まよりみゆるこしまのはまひさしひさしくなりぬきみに 3

あひみてなにもみなよくなりけりとなんいひやりける

流

④となんいひやりける—といひやりける干

古

①おとこ—をとこ相 すゝろに—すゝろに最 まどひいにけり—まどひにけり最 ②いひやる—いひやりける最 ③みゆる—みゆる榮 ④なにことも—なにことも最 よくなりけり—よくなりけりかはりぬらむ胃—よくなりけり

大

り最時 となんいひやりける—といひやりける胃—といひやりけり最
①此段ナシ大 おとこ—ナシ神 すゝろに—すゝろにて神 まどひいにけり—まどひありきける神 京におもふ人に—おとこ京に思ふ人のもとへ神 ②いひやる—いひやりける神 ③はまひさし—はまひさき神 ④よくなりけり—よくなりけり神

塗

此段ナシ

皇太后宮越後本

①おとこ—ナシ越 すゝろに—すゝろにて越 まどひいにけり—まどひありきける越 京におもふ人に—おとこ京に思ふ人のもとへ越 ②いひやる—いひやりける越 ③はまひさし—はまひさき越 ④あひみて—あはすて越 よくなりけり—よくなりけり越 となんいひやりける—となんいひやりける小 京におもふ人に—おとこ京に思ふ人のもとに小 ②いひやる—いひやりける小 ④なにことも以下ナシ小

小式部内侍本

①おとこ—ナシ小 すゝろに—すゝろにて小 まどひいにけり—まどひありきける小 京におもふ人に—おとこ京に思ふ人のもとに小 ②いひやる—いひやりける小 ④なにことも以下ナシ小

昔男蕭爾三津國至而迷往計利夫京爾思人爾是云遣計流

從浪間所見兒嶋之濱久久成怒君爾不會而何事毛皆能名遠離爾計流與何云遣計流

二七 むかしみかと住吉に行幸したまひけり 1

我みてもひさしくなりぬ住吉のきしのひめ松いくよへぬら 2

んおほん神けきやうし給て
むつましと君は白浪みつかきのひさしき世よりいはひそめ
てき

武

① 行幸したまひけり 行幸したまひける高 ② おほん神けきやうし給て ③ おん神けきやうし給て 尊

流

① 行幸したまひけり 行幸したまひける豊 ② おほん神けきやうし給て ③ おほん神けきやうしたまふて 一

古

① みかと 大上天皇 行幸したまひけり ナシ 眞 行幸したまひける 慈 行幸し給とき最 ② おほん神けきやうし給て 御神けきやうしたまふて 最 御カミケキヤフシ給テ時 ④ 君は白浪 君はしらしな最 いはひそめてき いはるそめてき宵

大

① 此段ナシ 大 行幸したまひけり ② みゆきしたまひけるにやみてたてまつらせ給ける神 ③ おほん神けきやうし給て 御神あらはれたまひて神 ④ 君は白浪 君はしらすや神 いはひそめてき ⑤ いはひそめてき 此事をき ⑥ 在原の業平すみよしにまうてたりけるつゐてよみたりけるすみよしのきしのひめまつひとならはいくよかへしとはましものをとよめるにおきななりあしきいてゐてよかへしころもたにふたつありせはあかはたの山にひとつはかさましものを神

塗

此段ナシ

皇太后宮越後本

① 行幸したまひけり 行幸し給けるにやみてたてまつりたまひける越 ② おほん神けきやうし

給てむつましと君は白浪みつかきのひさしき世よりいはひそめてき 御神あらはれ給て仕言のきしのひめまつ人ならはいくよかへしとはまし物をとよめりけるにをきななりあやしきいてゐてよかへしころもたにふたつありせはあかはたの山にひとつはかさまし物をとよみてきえうせにけりのちに思へは御神になんをはしましける越

小式部内侍本

① むかし以下いはひそめてきマデナクこのことをきとてありはらのなりひらすみよしにまうてたりけるつひてにすみよしのきしのひめまつ人ならはいくよかへしとはまし物をとよめりけるにをきななりあしきいてゐてよかへしつころもたにふたつありせはあかはたの山にひとつはかさまし物をとよみてきえうせにけりのちに思へは御神になんをはしましけるトアリ小

昔帝住吉爾行幸爲給多利計流爾

吾見手毛久成怒墨古之岸廻姫松幾代歴寢覽御神現形爲給而

昵與君者白奈美瑞離之久代余利齋始而義

眞 ① 幾代 幾世天 現形爲給而 現禮給而内柱九天 ② 瑞離之 瑞離之天

二六 昔おとこひさしくをともせてわする、心もなしまいりこむと
いへりければ

玉かつらはふ木あまたになりぬれはたえぬ心のうれしけもなし 4 3

武 ①おとこ—をとこ四岩宮—ナシ高

流 ①をともせて—おともせて干

古 ①おとこ—をとこ慈 をともせて—おともせて爲時—をとつれもせて最 ④あまたに—アマタニ時

大 此段「或本有之」トシテ載セタリ大 此段ナシ神 ①をともせて—をとせて大 といへりければ—といひければ

大 ③たえぬ心の—たえぬことのは大

塗 ①ひさしく—ひさしう不 わするゝ心もなし—わするゝこゝろなし不 まいりこむ—まいらむ不群丹 といへ

りければ—といふりければ女不—といへりければ女群丹 ③たえぬ心の—たえぬこゝろの不

昔男久音毛不爲忘留心毛無參與云利計禮波女

玉葛這木多爾所成者不絶言葉嬉計毛無

二九 むかし女のあたなるおとこのかたみとてをきたる物ともをみて 2 1

かたみこそ今はあたなれこれなくはわするゝ時もあらまし 4 3
ものを

流 ③わするゝ時も—わするゝひまも飛

古 ①女の—女最 おとこ—をとこ相 かたみとて—かたみにとて最 をきたる—おきたる相

大 此段「或本有之」トシテノセタリ大 ①女の—女神 ④わするゝ時も—わするゝことも神

塗 ①女の—をむな不群丹 ⑤あらましものを—あらましものお不

昔化成男之念記與而置多流物友乎見而

信社今者怨將有是無者忘留時毛可有魂乎

三〇 昔おとこ女のまた世へすとおほえたるか人の御もとにしひ 1
てもものきこえてのちほとへて 2
近江なるつくまのまつりとくせなんつれなき人のなへのか 3
すみむ 4

流 ①おほえたるか―おほえたる七―おほえたるかの明の御もとに以下第百廿三段かゝるうたをよみけり迄一葉

落丁飛 ②てのちほとへて以下第百廿三段深草にすみける迄一葉落丁七ほとへて―ほとへてとへは千

古 ①おとこ―をとこ相 おほえたるか―おほえたる慈―おもへる最―ヲホエタルカ時 人の御もとに―人のもとに爲最 ③とくせなん―はやせなん相爲榮最―とくせなん良

大 ①おとこ―をとこ大 おほえたるか―おほへたるか神 ②ものきこえて―ものきこへて神 ③とくせなん―はやせなん大神

差 ①また世へす―いまたよにへす不群丹 人の御もとに―人のもとに不群丹 ②ものきこえて―ものきこえて不―ものきえて丹

眞 此段ナシ

二三 むかしおとこ梅壺より雨にぬれて人のまかりいつるをみて 1

うくひすの花をぬふてふかさも哉ぬるめる人にきせてかへさん返し 2

うくひすの花をぬふてふかさはいなおもひをつけよほして 3

かへさん

古 ①おとこ―をとこ最 梅壺―ムメツホ時 まかりいつるをみて―まかつるをみて殿上にさふらひけるおりにて

相―まかりいつるをみて殿上にさふらひけるをりにて爲―まかりいつるをみて殿上にさふらひけるおりにて良承―まかる(り)いつるをみて殿上にさふらひけるおりにて榮―まかりいつるをみててむしやうにありけるおりにや背―まかるをみててんしやうにさふらひけるをりにて最 ②かへさん―カヘ(エ)サム時 ③返し―返事最―カヘ(エ)シ時 ④つけよ―つけて最

大 ①人の―ひとと大 まかりいつるをみて―まかりつるをみて殿上にさふらひけるをりに大―まかるをみて殿上にさふらひけるおりに神 ②花をぬふてふ―はなをぬふてう大―はなにぬふてふ神 ぬるめる人に―ぬるる人

差 ①雨にぬれて―雨につれて不群丹 まかりいつるをみて―まかつるをみて不群丹 ②花をぬふてふ―はなをぬふてう不 ぬるめる人に―ぬるめる人不 ③返し以下ほしてかへさん返

ナシ不群丹

昔男凝華舎從雨爾沾而人之往乎見而

卯來日過之花乎縫云笠毛哉沾日流人爾着而將還返

鶯之花乎縫云笠者不知念乎付余乾而將還

眞 ①見而―見内天

3 2 1

二三 むかしおとこちきれることあやまれる人に

山しろのゐてのたま水てにむすひたのみしかひもなきよな
りけりといひやれといらへもせず

武 ①おとこ—をとこ四岩宮高

古 ①おとこ—をとこ相慈 ②ゐてのたま水—ゐてたま水承 てにむすひ—てにむすひ(くみて)爲—てにくみて良
宵最 かひもなきよなりけり—かひもなく/そふる最 ③といひやれと—といひけれと最 いらへもせず—
イラエモセス時

大 ②てにむすひ—てにくみて大神 たのみし—たのめし大 ③といひやれと—といひやりけれと大—といひやれ
けれとも神 いらへもせず—いらへせず神

差 ①ちきれることあやまれる人に—契事あやまてる人に不 ②ゐてのたま水—い手のたま水不 てにむすひ—て
にくみて不群丹 ③といひやれと—かういふと不—かういへと群丹 いらへもせず—いらへす不群丹

昔男契禮流言詭禮流人爾

山代之堰堤廻玉水手爾酌而手飲志鹿毛鳴代成計利諾云遣與報毛不爲何

二三 むかしおとこありけり深草にすみける女をやうくあきかた

にや思けんかゝるうたをよみけり
年をへてすみこしさとをいて、いなはいと、深草野とやな
りなん女返し
野とならほうつらとなりてなきをらんかりにたにやは君は
こさらむとよめりけるにめて、ゆかむと思ふ心なくなりけ
り

天 ⑤なきをらん—なきおらん色

武 ②かゝるうたをよみけり—かゝるうたをよみける四岩宮尊高 ⑤君はこさらむ—きみかこさ覽岩

流 ②かゝるうたをよみけり—かゝるうたをよみける山明一隆—かゝるうたをなんよみける置—かゝるうたをよめ
る片 ⑤なきをらん—鳴おらん明 君はこさらむ—君かこさらむ七明置

古 ①おとこ—をとこ相 深草にすみける女を—ふかくさのみにすみける女を爲 ②思けん—ありけん最 かゝる
うたをよみけり—かゝるうたをよみてけり承—かゝる歌をよみけり榮—かゝるうたをよみける慈宵最時 うた
をよみけり以下第百廿五段終迄缺相 ③すみこしさとを—すみけむさとを爲—すみこしやとを良 ④女—ナシ
承 返し—返事最—カ(エ)シ時 ⑤なきをらん—なきおらん爲 君はこさらむ—君かこさらむ宵最 ⑥なく

なりにけり―なぐりにける意

大

①深草にすみける女を―ふかくさにすみけり女を大神 ヤうく―ナシ神 ⑤君はこさらむ―きみかこさらん
大―人のこさらむ神 ⑥とよめりけるに―とよみけるに大―とよみてけるに神

塗

⑦深草にすみける女を―深草にすみけり女不 ②かゝるうたをよみけり―ものへいてたちてゆくとして不―もの
へいてたちて群丹 ③すみこしさとを―すみこしやとを不群丹 ④返し―かゑし不 ⑤君はこさらむ―君かこ
さらん不 ⑥めて―ナシ不群丹 ゆかむと思ふ心―いて、ゆかんとおもふ心不群丹 なくなりにけり―うせ
にけり不群丹

昔男在計利深草爾住計流女乎漸飽方爾哉將思如是歌乎讀計流

年乎歴而棲來志郷乎出而去者最深草野與乎成何女返

野與成者鶉與成而鳴將居假爾多爾矢者人之將不來諾讀利計流爾日出而將往與思心

無成爾計利

眞 ①將思―將念内桂九 ②棲來志―栖來志天

一四

むかしおとこいかなりける事を思ひけるおりにかよめる

おもふこといはてそたゝにやみぬへき我とひとしき人しな 2 1

ければ

流

②いはてそたゝにやみぬへき―いはてたゝにそやみぬへき千―いはてそたゝにややみぬへき山

古

①おとこ―をとこ最 いかなりける事を―いかなる事を爲良承最―いかなる事を榮 思ひけるおりにかよめ
る―思ひけるにかよめる最―オモヒケルヲリニカヨメル時 ②いはてそたゝにやみぬへき―いはてそたゝにや
ゝみぬへき榮―いわてたゝにやゝみぬへき最

大

①むかしおとこ―ナシ大 いかなりける事を―いかなることを大―いかなること神 思ひけるおりにかよめる
―思けるをりにかよめるといひてこの歌あり大―おもふおりにかよめる神 ②人し―人の神

塗

①いかなりける事を―いかなる事を不群丹 思ひけるおりにかよめる―おもひけるをりにやありけむ不―思ひ
けるおりにやありけん群丹

昔男如何有事乎思計流時爾歎讀

思言不言莫直可止吾及人敷人志無計禮波

一五

むかしおとこわつらひて心地しぬへくおほえければ

つゐにゆくみちとはかねてきゝしかときのふけふとはおも 2 1

はさりしを

古 ①心地しぬへくしぬへく背 おほえければ―おもひければ最―ヲホエケレハ時 ②かねてきしかと―キ、

シ物ナレト時

大 ①おほえければ―おほへければ神 ②つゐにゆく―つひにゆく大 おもはさりしを―おもはさりしをとてなむ

たへいりにける神

差 ①むかしおとこわつらひて心地しぬへくおほえければ―まことにかきりになりける時不群丹 ②つゐにゆく―

つひに行不 おもはさりしを―おもはさりしをとてなむたゑいりにけり不―思はさりしをとてなむたゑいりに

けり群丹

昔男惱而心地可死所念者

終爾行道與者豫而聞師賀與昨日今日與波不思乎

2 1

定家本に見えずして他本に見ゆる章段

あめのいみしうふりくらしつとめてもなをいみしうふるにある人のかりやりし
ふりくらしつるあめのをとつれなき人の心ともかな返し
やゝもすれは風にしたかふあめのをとたえぬ心にかけすもあらなん 大島本
3 2 1

天 此段ナシ

武 此段ナシ

流 此段ナシ

古 此段ナシ

大 ③やゝもすれは―やゝもせは神

差 此段ナシ

眞 此段ナシ

むかし女をぬすみてなんゆくみちにみつのあるところにてのまんとやとふにう
なつきければつきなともくせさりければてにむすひてくはするてのほりければも
とのところにかへりゆくにかのみつのみしところにて

おほはらやせかひのみつをむすひつゝあくやとひし人はいつらはといひてき
にけりはれ〜 皇太后宮越後本

天 此段ナシ

武 此段ナシ

流 此段ナシ

古 此段ナシ

大 此段ナシ大 ①ぬすみてなんぬすみて神 のまんとやとふにのまむやと思ふに神 ②ゐてのほりけれ

は―きてのほりにければ神 ③きにけり―きへにけり神 ④はれ〜―あはれ〜神

差 ①むかし―昔をとこありけり不―むかしおとこ有けり群丹 ぬすみてなんぬすみて不群丹 ゆくみちに―

いてゆくみちにて不―ゐてゆく道にて群丹 のあるところにて―ナシ不群丹 のまんとやとふに―のまむと
とふに不群丹 ②つきなともくせさりければ つきなむともくせねは不群丹 ぐはす―のます不群丹 ③こ

のほりければ きてゐてのほりにけり不群丹 もとのところにかへりゆくに―をむなはかなくなりければ

もとの所へゆくみちに不群丹 ④みつ―し水不群丹 ⑤せかひのみつを―せかゐの水を群丹 むすひつゝ―

むすひあけて不群丹 あくやとひし―あくやといひし不―あくやといひし群丹 人はいつらは―人はいつ

ら不群丹 きにけり―きゑかゑり不―きゑかゑり群丹 ⑥はれ〜―あはれ〜といへとかひなし不群丹

小式部内侍本

①むかし―むかしおとこ小 ぬすみてなんぬすみて小 のまんとやとふに―のまんととふ

に小 ②つきなともくせさりければ―ナシ小 くはす―のます小 ゐてのほりければ―きてゐてのほりけり

小 もとのところにかへりゆくに―おとこなくなりければもとのところにかへりゆくに小 ④せかひのみ

つを―せかゐの水を小 あくやとひし―あくやといひし小 といひてきにけりはれ〜―ナシ小

昔男女乎盗而往道爾水有所爾而夫將吞哉與問爾領拜計禮波結而爲吞然將而往爾率爾
慕將成壯士本所江還爾彼水飲志所爾而

大原哉堰之志水尾結上而飽哉與問志人者筭等

眞 ①率爾―女率爾内經九―卒爾天

むかしおとこ女をきふし物いふをいかおほえげんおとこ
こゝろをそわりなき物と思ひぬるかつみる人やこひしかるらん 皇太后宮越後本

天 此段ナシ

武 此段ナシ

流 此段ナシ

古 此段ナシ

大 此段ナシ大

塗 此段ナシ

小式部内侍本

①物いふを―物をいひてなを小 ②かつみる人や―みるものからや小 こひしかるらん―こひ
しかるへき小

眞 此段ナシ

いまの長願寺といふ所にすみけるその人いちになんいてたりける女くるまのあり
けるにいひつきにけりとかくをかしきことなんいひつきて女すみかはいつくそと
いひければかくなんいひたりける

わかいゑは雲井のみねしちかけれはをしふともこん物ならなくにおとこ
かりそめにそむる心しまめならはなとか雲井をたつねさるへきといひてわかれ

1
2
3
4
5

にけり 皇太后宮越後本

天 此段ナシ

武 此段ナシ

流 此段ナシ

古 此段ナシ

大 此段ナシ

塗 此段ナシ

眞 此段ナシ

むかしおとこある人にしのひてあひかよひければかのをとこにあるひと
なかそらにたちる雲のあともなく身のはかなくもなりぬへきかな

皇太后宮越後本

1
2

天 此段ナシ

武 此段ナシ

流 此段ナシ

古 此段ナシ
大 此段ナシ
塗 此段ナシ
眞 此段ナシ

むかしありけるいろこのみける女あきかたになるおとこのもとに

いまはとてわれにしくれのふりゆけはことのはさへそうつろひにけるかへし

人を思ふ心のはなにあらはこそかせのまに／＼ちりもみたれめ 皇太后宮越後本

3 2 1

天 此段ナシ
武 此段ナシ
流 此段ナシ
古 此段ナシ
大 此段ナシ
塗 此段ナシ

小式部内侍本

①いろこのみける いろこのみ小 あきかたになる あきかたになりける小 ②われにしく

眞 此段ナシ
れの わか身しくれに小 かへし かへしきのさねふん小 ③心のはなにこゝろこのはに小

むかしおとこの京にあひしりたる人とふらひにきたるにともたちのもとに
はせうそこをばせてうらみてふみをはやらさりける人のもとに
春の日のいたりいたらぬさとはあらしさけるさかざるはなのみゆらん

皇太后宮越後本

3 2 1

天 此段ナシ
武 此段ナシ
流 此段ナシ
古 此段ナシ
大 此段ナシ
塗 此段ナシ

小式部内侍本

①ともたちのもとには ともたちのもとに小 ②せうそこをばせて せうそこをして小 ③ふみ
をはやらさりける人のもとに ④ふみをこせたりけるひとに小

眞 此段ナシ

をなしおとこ女のうゐもきけるにさしをこゝろさしてよみてやれる

あまたあらはさしはせすともたまくしけあけんをりく思ひてにせよ

小式部内侍本

天 此段ナシ

武 此段ナシ

流 此段ナシ

古 此段ナシ

大 此段ナシ

差 此段ナシ

眞 此段ナシ

むかしおとこえあふましかりける人をこひわたりて

わかやとにまきしなてしこいつしかもはなにさかなんよそへてもみむ

2 1

小式部内侍本

天 此段ナシ

武 此段ナシ

流 此段ナシ

古 此段ナシ

大 此段ナシ

差 此段ナシ

眞 此段ナシ

①えあふましかりける—えうましかりける神 こひわたりて—こひわひて神 ②はなに—はるに神 よそへてもみむ—よそへつゝみむ神

むかしおとこすゝろなるみちをたとりゆくにするかのくにうつつをやまくちにいた
りてわかいらゝとするみちにいとくらうほそきにつたかへてはしけり物こゝろほ
そくおもほへてすゝろなるめをみる事と思ふにすきゆくにさしあひたりかゝるみ
ちにはいかてかいまするといふをみればみし人なりけり京にその人のもとにとて

4 3 2 1

ふみかきてつく

なかそらにたちぬる雲のあともなく身のいたつらになりぬへきかなとてなんつ
けゝるかくておもひゆくに

するかなるうつみの山のうつゝにもゆめにも人にあはぬなりけりとおもひゆき
けり 小式部内侍本

天 此段ナシ

武 此段ナシ

流 此段ナシ

古 此段ナシ

大 此段ナシ

塗 此段ナシ

眞 此段ナシ

むかしおとこすゝろなるところにゆきて夜あけてかへるに人／＼いひさねきけれ
は

2 1

つきしわれはあらはんこともしらすしてねてくるわれを人やみつらん

小式部内侍本

3

天 此段ナシ

武 此段ナシ

流 此段ナシ

古 此段ナシ

大 此段ナシ

塗 此段ナシ

眞 此段ナシ

むかしありはらの行平といふ人みまそかりけり女のもとに

おもひつゝをれはすへなしむはたまのよるになりなはわれこそゆかめをんな
こぬ人をいまもやくるとまちしきのなこりにけふもねられさりけり

小式部内侍本

3 2 1

天 此段ナシ

武 此段ナシ
 流 此段ナシ
 古 此段ナシ
 大 此段ナシ
 塗 此段ナシ
 眞 此段ナシ

むかしおとこありけりわりなきことを思てあるところへいひやりける
 ゆふつくよあか月かたのあさかけにわか身はなりぬきみをこふとてとありけれ
 といとかたくなりけり 小式部内侍本

3 2 1

天 此段ナシ
 武 此段ナシ
 流 此段ナシ
 古 此段ナシ
 大 此段ナシ

①あるところへある所に神 ②きみをこふとてこひのしけきに神 とありけりといとかた

くなりにけりナシ神

塗 此段ナシ
 眞 此段ナシ

むかし物おもふおとこめをさましてとのかたをみいたしてふしたるにせさいのな
 かにむしのこゑなきければ

3 2 1

かしかましくさはにかゝるむしのねやわれたに物をいはてこそ思へ 小式部内侍本

天 此段ナシ
 武 此段ナシ
 流 此段ナシ
 古 此段ナシ
 大 此段ナシ
 塗 此段ナシ
 眞 此段ナシ

①めをさましてめをさまして神 ②むしのこゑむしのこゑく神 ③くさはにかゝるものもせにすたく神 物を物は神

むかしいろこのむ人ありけりをとこもさまかはらすもろこゝろにていろこのむ女
これをいかてえんと思ふに女もねうしわたるをいかなるをりにかありけんあひみ
けりおとこも女もかたみにおほえけれとわれもいかてすてられしとこゝろのいと
まなく思ふになを女いてゝいなんと思ふこゝろつきて

いさゝくらちはありなんひとさかりなれなはうきめみえもこそすれとかきつ
けてなんいきけるをゝとろきてみればなけはいとねたくて

あさゝめにちりぬるさくらなからなむのとけき春のなをもたつめりといへとも
かひなし 小式部内侍本

1 2 3 4 5 6 7 8

天 此段ナシ

武 此段ナシ

流 此段ナシ

古 此段ナシ

大 此段ナシ

此段ナシ大 ①もろこゝろにておなし心にて神 女女を神 ②これをかれを神 えんと思ふにえて
しかなとおもひたるを神 ねうしわたるをねむしわたるを神 をりおり神 あひみけりあひにけり神
③おほえけれとこふみやれは神 ④思ふに女もふになむありける神 つきてありて神 ⑤ありなん

ちりなむ神 なれなはありへは神 うきめみえもこそすれひとにうきめみへなむ神 かきつけてかま

て神 ⑥いきけるをいける神 をとろきてみればなけは男きてみればなし神 いとねたくていと

ねたくてをりけり神 ⑦あさゝめにいさゝめに神 といへともかひなしナシ神

塗 此段ナシ

眞 此段ナシ

むかしすき物ともあつまりてものゝなをよみけるにかはたけあるおとこ

さよふけてなかはたけゆくひさかたの月ふきかえせ秋の山風 小式部内侍本

1 2

天 此段ナシ

武 此段ナシ

流 此段ナシ

古 此段ナシ

大 此段ナシ

塗 此段ナシ

眞 此段ナシ

むかしおとこはるかなるほとにゆきたりけるにつくしのつとひとのこひたりける
にいろかはやるとて

みやこよりこかてくれはつともなしたけのをかはのはしのみぞあるところのな
ゝるへし 小式部内侍本

4 3 2 1

天 此段ナシ

武 此段ナシ

流 此段ナシ

古 此段ナシ

大 此段ナシ大 ⑤みやこよりこかてくれは―つくしより爰までくれと神 たけのをかは―たちのをかは神

塗 此段ナシ

眞 此段ナシ

むかし色このみたへにし人のもとより

おもひつゝぬれはや人のみへつらむゆめとしりせはさめさらましを 神宮文庫本

2 1

天 此段ナシ

武 此段ナシ

流 此段ナシ

古 此段ナシ

大 此段ナシ

塗 此段ナシ

眞 此段ナシ

勘

物

底本に存する勘物

一行間に存するもの

河原大臣歌也左大臣源融寛平七月八月薨七十三於在中將非幾先達如何(みちのくのノ歌ノ註) 四 ⑩

高子元慶元年正月爲中宮卅六(二條のきさきノ註) 一六 ⑧

昭宣公(ほりかはのおとゞノ註) 一六 ⑤

或説云鹽尻壺鹽といふ物あり其尻似此山此語之習故好卑詞寂蓮殊信用此説先人命縱雖爲鹽事
凡卑も不可用之心えすとてありなん往年有尋問人答慥不知由云々(しほしりノ註) 二六 ②

桑子蠶也(くはこノ註) 四一 ④

東國之習家ヲクタト云家鶏也(くたかけノ註) 四一 ⑦

貞觀十一年二月貞明親王爲皇太子于時高子爲女御依春宮母儀號也去年十二月廿六日誕生高子
年廿七(春宮の女御ノ註) 八四 ①

淳和天皇(西院のみかとノ註) 九七①

崇子内親王母橋船子正四上清野女承和十五年五月十五日薨(たかいこノ註) 九七②

賀陽親王桓武第七母夫人多治比氏三品治部卿貞觀十三年十月八日薨七十八(かやのみこノ註)

一一一①

清和天皇鷹犬之遊漁獵之娛未嘗留意風姿甚端嚴如神性(水のおノ註) 一五九③

恬子内親王(文德天皇の御むすめノ註) 一七四④

春宮母儀也(春宮のみやすん所ノ註) 一九〇①

文德天皇(たむらのみかとノ註) 一九二①

女御從四位下藤多賀幾子右大臣良相女嘉祥三年女御天安二年十一月十四日卒(たかきこノ註)

一九二②

安祥寺五條后順子建立寺也(安祥寺ノ註) 一九二②

常行西三條右大臣良相一男貞觀六年正月十六日參議八年十二月十六日右大將卅一(ふちはらのつ

ねゆきノ註)

一九二⑦

業平貞觀七年二月右馬頭天安卒女御法事如何若後追善賦(右のむまのみみなりけるおきなノ註)

一九三⑧

人康親王仁明第四四品彈正尹號山科宮貞觀元年五月入道同十四年薨四十二(山しなのせんしのみこ

ノ註) 一九六⑥

貞觀八年三月廿三日行幸右大臣良相百花亭(三條のおほみゆきノ註) 一九六⑩

貞數親王清和第八母中納言行平女延喜十三年薨四十二(さたかすのみこノ註) 二〇二④

源融嵯峨第十二源氏母正五位下大原金子貞觀十四年八月廿五日任左大臣元大納言五十一仁和

三年從一位寬平元年轝車七年八月薨七十三(左のおほいまうちきみノ註) 二〇五①

惟高文德第一母從五位上紀靜子名虎女四品號小野宮(これたかのみこノ註) 二〇九①

貞觀十四年七月出家(御くしおろしたまうてけりノ註) 二一九⑨

伊登内親王貞觀三年九月薨(はゞノ註) 二二四①

昭宣公基經貞觀十四年八月廿一日右大臣左大將卅七(ほり河のおほいまうちきみノ註) 二六〇①

貞觀十七年(四十の賀ノ註) 二六〇①

業平十九年任中將不審(中將なりけるおきなノ註) 二六〇②

忠仁公天安元年二月十九日太政大臣五十五四月九日從一位二年十一月攝政清和外祖(おほきおほ

いままうちきみノ註) 二六一 ①

業平貞觀六年三月右少將七年右馬頭十九年正月左中將(中將なりけるおとこノ註) 二六三 ②

藤原良近貞觀十二年正月右中辨十六年轉左中辨(ふちはらのまさちかノ註) 二六六 ②

敏行母紀名虎女(ふちはらのとしゆきノ註) 二七八 ②

或本不可有之云々多本皆載之不可止(むかし仁和のみかとせり河にノ註) 二九一 ①

二 卷末に存するもの

業平朝臣 三品彈正尹阿保親王(平城天皇之子)五男母伊登内親王桓武第八皇女母藤南

子(從三位乙叡女)

年月日 任左近將監

承和十四年正月補藏人嘉祥二年正月七日從五位下貞觀四年正月七日從五位上五年二月十

日左兵衛權佐六年三月八日右近少將七年三月九日右馬權頭十一年正月七日正五位下十五

年正月七日從四位下元慶元年正月十五日左近權中將十一月廿一日從四位上二年正月十一

日相摸權守三年十月藏人頭四年正月十一日美濃權守同廿八日卒

親王 平城第三母正五位下蕃良藤繼女承和九年十月薨贈一品

行平卿 阿保親王一男

天長三年仲平行平守平業平賜姓在原朝臣承和七年正月藏人十二月辭退廿日從五下廿四十

年二月侍從十三年正月從五上任左兵衛佐五月右近少將仁壽三年正五下齊衡二年正月四位

因幡守四年兵部大甫天安二年二月中務大甫四月左馬頭三年正月播磨守貞觀二年六月内匠

頭八月廿六日左京大夫四年正月信乃守同月從四上五年二月大藏大甫六年正月十六日備前

權守三月八日兼左兵衛督八年正月正四位下十年五月兼備中守貞觀十二年二月十三日參議

五十三廿六日左兵衛督十四年八月廿一日藏人頭左衛門督十月十四日別當十五年從三位大

宰帥元慶元年治部卿六年正月中納言六十五年正三位民部卿仁和元年按察仁和三年四月

十三日致仕寛平五年薨

紀有常

承和十一年正月十一日右兵衛大尉嘉祥三年四月二日左近將監四月藏人五月十七日兼近江

權大掾仁壽元年七月廿六日兼左馬助十一月甲子從五位下二年二月廿八日兼但馬介三年正月十六日右兵衛佐四年正月十六日兼讚岐介轉左兵衛齊衡二年正月從五位上同十五日左近少將天安元年九月廿七日兼少納言二年二月五日兼肥後權守貞觀七年三月九日任刑部權大輔九年二月十一日任下野權守十五年正月七日正五下十七年二月十七日任雅樂頭十八年正月七日從四位下十九年正月廿三日卒年六十三

二條后 中納言左衛門督贈太政大臣長良女母紀伊守綱繼女貞觀八年十二月女御宣旨九年正月八日正五位下

貞觀元年十一月廿日從五位下五節舞妓

貞觀十年十二月廿六日生第一皇子廿七帝御年十九一年二月立爲皇太子十三年正月八日從三位元慶元年正月三日即位日立爲中宮卅六年正月七日爲皇太后宮寬平八年九月廿一日停后位延喜十年十二月薨六十九天慶六年五月追復后位

河原左大臣融 嵯峨第十二源氏

承和五年十一月廿七日正四位下元服日六年壬正月乙酉侍從八年正月相摸守九年九月己亥

近江守十五年二月右近中將兼美作守嘉祥三年正月七日從三位五月右衛門督仁壽四年八月兼伊勢守齊衡三年九月任參議右衛門督伊勢守如元

なそへなく

萬葉集第十八 ほとゝさす今夜こよなきわたれ燈をつくよになそへなすらへ也そのかけをみむ

六帖歌 いへはえにふかくかなしきふえ竹のよこ糸やたれとゝふ人もなし

宋玉神女賦 素質之醜實モトヨリ號志解泰而體閑ニシテヤイシヤヒカナリ

曹子建洛神賦 瓊姿艷逸クワイシ儀靜ニシテヨツホヒシツカニイヘヒカナリ體閑

みやひ みやひか也といふ詞 其心みやひをかはずなといふはなさけといふ同心事歟

附

錄

校異を出さざる異體字並に通用字の表

己々
己々

三畫

土土

互切
牙功

四畫

勻勻

去
去
左
右

五畫

令
今

局
月
折
析
辰
辰

七畫

佐
佐
侘
侘
努
督

所
可
事
支

八畫

承
業
姉
姊

來
未
河
川
京
京

九畫

兒
兒
迎
迎
往
往

美
羨
袂
袂
前
前

十畫

契
契
怒
怒
怨
怨

桑
乘
悅
悅

被
被
留
留

流 流 紐 紉 宵 霄 眠 眠 時 眈 逃 迓 眨

十一畫

勒 勒 勤 勤 停 停 將 將 華 萃 將 將 將

差 着 乘 乘 書 昏 悒 挹 叟 叟

鹿 鹿 野 野 率 率 庵 菴 鹿 鹿 廡 廡

欲 欲 蛤 蛤 烏 烏

望 聖 條 条

十二畫

最 寂 疎 疎 惡 惡 推 推 雁 鴈

殖 殖 斐 斐 裁 裁 備 備 菟 兔 鬼 鬼 備 脩 脩

十三畫

著 著
零 零
置 置
隔 隔
塞 塞
瓶 瓶

經 經
達 達
搓 搓
襖 襖
愆 愆

十四畫

爾 爾
鄙 鄙
歌 歌
籌 籌

裘 裘
態 態
遠 遠
聞 聞

賓 賓
圖 圖
疑 疑
遙 遙
僻 僻

貌 貌
對 對
塵 塵
寢 寢

十五畫

熱 熱
盡 盡
嬉 嬉

賢 賢
潛 潛
節 節

十六畫

獨 狎
蕭 蕭
操 操
衛 衛

十七畫

雖 雖
隱 隱
聲 吉
禮 礼
糝 糝

叙 叙
遷 遷
隨 隨
餘 余

還 還
彌 弥
齋 齋
鶴 鶴
鞞 踏
踏 踏

叢 叢
雞 雞

十八畫

舉 拳
藏 葳

櫛 櫛
離 离

十九畫

邊 邊
邊 邊
麓 麓

籌 籌
議 議

二十畫

懸 縣

二十一畫

覽 覽 覽 覽

譽 譽

鶯 鶯 鶯

髮 髮

謝 謝 謝

竈 竈

二十二畫

聽 聽

二十四畫

鬱 鬱 鬱 鬱

鹽 塩

二十五畫

額 額

二十六畫

躑 躑

二十七畫

鑽 鑽

伊勢物語諸本章段對照表

6	5	4	3	2	1	段	諸本
ま し か り 女 の え う を	む か し お と こ あ	む か し お と こ 有	む か し お と こ あ	む か し お と こ 有	む か し お と こ 有	底 本	諸 本
同	同	同	同	同	同	本 福 天	定
同	同	同	同	同	同	本 田 武	家
同	同	同	同	同	同	本 布 流	本
同	同	同	同	同	同	本 古	
同	同	同	同	同	同	本 名 眞	
同	同	同	同	同	同	本 島 大	大 島
同	同	同	同	同	同	本 庫 文 宮 神	本
同	同	同	同	同	同	本 籠 塗	